

# 官報

號外

昭和二年二月十六日 水曜日

## 內閣印刷局

### 第五十二回衆議院議事速記第十三號

昭和二年二月十五日(火曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第十二號

昭和二年二月十五日  
午後一時開議

質問

- 一 三黨首妥協ノ條件ニ關スル質問(清瀨一郎君提出)
- 二 和議法中改正ニ關スル質問(加藤十郎君提出)
- 三 小作爭議ニ關スル質問(福井甚三君提出)

- 第一 會計検査院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 公益質屋法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第五 銀行法案(政府提出) 第一讀會
- 第六 貯蓄銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第七 農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第九 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第十一 北海道農地特別處理法案(丸山浪彌君外六名提出) 第一讀會ノ續(前會ノ續)

第十二 政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關スル法律案(尾崎行雄君提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十三 政治結社加入勸誘方法ノ制限ニ關スル法律案(關直彦君提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十四 議員ノ職務ニ關スル法律案(曾田義一君提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十五 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(林田龜太郎君提出) 第一讀會

第十六 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(小池仁郎君外六名提出) 第一讀會

第十七 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(廣瀨德藏君外二名提出) 第一讀會

第十八 治安警察法中改正法律案(田崎信藏君提出) 第一讀會

第十九 治安警察法中改正法律案(樋口秀雄君外二名提出) 第一讀會

第二十 治安警察法中改正法律案(安藤正純君提出) 第一讀會

第二十一 營業收益税法中改正法律案(湯淺凡平君提出) 第一讀會

第二十二 清涼飲料税法中改正法律案(湯淺凡平君提出) 第一讀會

第二十三 市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(湯淺凡平君提出) 第一讀會

第二十四 不在地主税法案(清瀨一郎君外一名提出) 第一讀會

第二十五 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(竹原樸一君外十六名提出) 第一讀會

第二十六 議院法中改正法律案(鷺野米太郎君外一名提出) 第一讀會

第二十七 議院法中改正法律案(小川平吉君外二十六名提出) 第一讀會

第二十八 特別都市計畫法中改正法律案(關直彦君外四名提出) 第一讀會

第二十九 商法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會

第三十 移住組合法案(津崎尚武君外九名提出) 第一讀會

第三十一 產業組合中央金庫法中改正法律案(由谷義治君外五名提出) 第一讀會

第三十二 造林助成法案(川崎安之助君外十一名提出) 第一讀會

第三十三 鑛業法中改正法律案(砂田重政君提出) 第一讀會

第三十四 大正九年法律第五十六號中改正法律案(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)(佐々木平次郎君外十五名提出) 第一讀會

○議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

會計検査院法中改正法律案

大正九年法律第五十三號中改正法律案

(關税法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)

(以上二月十二日提出)

非訟事件手續法中改正法律案

(以上二月十三日提出)

一 今十五日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

外國官廳ノ用地トシテ貸付スル國有財産ニ關スル法律案

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

牧野法案

提出者 八田 宗吉君

(以上二月十日提出)

國防會議設置ニ關スル建議案

提出者 蟻川五郎作君

大分徳山間聯絡航路鐵道省經營ニ關スル建議案

提出者 小島 七郎君

徳山港ヲ第二種港編入ニ關スル建議案

提出者 小島 七郎君

橫山金太郎君

宮城縣ニ國立米穀倉庫設置ニ關スル建議案

提出者 小島 七郎君

提出者 村松龜一郎君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

提出者 菅原 英伍君

淡水魚族増殖施設ニ關スル建議案  
提出者 高井 商二君 兼松寅太郎君

井上敬之助君 兼松寅太郎君  
琵琶湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案  
提出者 兼松寅太郎君 高井 商二君

井上敬之助君 高井 商二君  
貴生川加茂間鐵道速成ニ關スル建議案  
提出者 高井 商二君

岸和田港修築費國庫補助ニ關スル建議案  
提出者 兼松寅太郎君 長田 桃藏君

消防組經費國庫補助並消防組員優遇ニ關スル建議案  
提出者 井坂 豊光君

大日本聯合青年團國庫補助ニ關スル建議案  
提出者 秋田寅之介君

空中窒素工業ニ關スル建議案  
提出者 秋田寅之介君

齋藤藤四郎君 土井 權大君  
松本 眞平君

兵庫縣警察費國庫下渡金附額ニ關スル建議案  
提出者 土井 權大君

土井 權大君 廣岡宇一郎君  
原 惣兵衛君 若宮 貞夫君

井上 虎治君 藤井忠兵衛君  
砂田 重政君

醫師ノ國家試驗制度ニ關スル建議案  
提出者 宮島幹之助君 山谷徳治郎君

加藤鏡五郎君 吉津 度君  
土屋清三郎君

(以上二月十日提出)  
中關徳佐間鐵道敷設ニ關スル建議案  
提出者 兒玉 右二君 藤田 包助君

不良鹽田整理ニ關スル建議案  
提出者 山下 谷次君

石川縣船倉島ニ燈臺設置ニ關スル建議案  
提出者 佐藤 實君

(以上二月十四日提出)  
一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

人口食糧政策ニ關スル質問主意書  
提出者 小橋藻三衛君

鐵道運輸ニ關スル質問主意書  
提出者 伊坂秀五郎君

北海道拓殖ニ關スル質問主意書  
提出者 松實喜代太君

(以上二月十日提出)  
對支顧問及之カ改善ニ關スル質問主意書  
提出者 兒玉 右二君

(以上二月十五日提出)  
一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ  
議員成田榮信君提出對支外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

(以上二月十四日受領)  
議員清瀨一郎君提出三黨首妥協ノ條件ニ關スル質問ニ對スル答辯書

議員福井甚三君提出小作爭議ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
(以上二月十五日受領)

對支外交ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和二年二月一日

提出者 成田 榮信  
對支外交ニ關スル質問主意書

日支兩國共存共榮ノ目的ハ我カ日本帝國ノ國是ナリ然ルニ我カ外務當局ノ外交ハ却テ其ノ根本ヲ誤レルノ疑アリ之レ數箇條ニ互リテ政府ノ所見ヲ質ス所以ナリ

一支那ニ於ケル情報機關ヲ統一スルノ必要ナキヤ

一支那カ英國ニ對スル條約無視ノ行動ハ總テ我カ日本帝國ニ向テモ同一ノ行動ニ出ツルハ明ナリ之ニ對スル對策如何

一支那ノ文化事業ニ多大ノ經費ヲ支出スルニ拘ラス支那至ル所ニ於テ反感アリ寧ロ中止シ他ノ方法ヲ採ルノ意思ナキヤ

一外務大臣ハ前議會ニ於テ露國ノ蒙古北滿地方ニ共產主義ヲ扶植シアリトノ實跡ナシト聲明セラレタルカ今尙前言ヲ主張セルカ

一大正十三年一月「カラハン」ト孫文トノ秘密條約アリ露國共產主義ヲ認ムトノ條約ニ對スル政府ノ所見如何

一奉天票暴落ハ我カ滿洲在留民ノ經濟ニ大影響セリ其ノ對策如何

一南北滿洲ノ商工業對策如何  
右及質問候也

昭和二年二月十四日  
内閣總理大臣 若槻禮次郎

衆議院議長 谷義三殿  
衆議院議員 成田榮信君提出對支外交ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)  
衆議院議員 成田榮信君提出對支外交ニ關スル質問主意書ニ對スル答辯書

一、支那ノ事態ニ關シ正確ナル情報ヲ得ムカ爲ニハ政府ノ諸機關ハ互ニ連絡ヲ保テ銳意協力シツツアリ其ノ間ニ不統一ノ弊アルヲ認メス

一、支那ノ第三國ニ對スル條約無視ノ行爲ハ當然帝國ニ對シテモ同一轍ニ出ツルモノト推斷スルコトヲ得ス若シ帝國ニ對シ條約無視ノ行爲アル場合ニハ時宜ニ應ジ適當ノ措置ヲ執ル用意アルコト再三政府ノ議會ニ於テ聲明セル通ナリ

一、對支文化事業ニ關シ支那國內ニ於テ今猶多少ノ誤解ヲ懷ケルモノアルヘシト雖大體ニ於テ漸次一般ノ認識ヲ得ルニ至リツツアルモノト認ム本事業ハ日支兩國共通ノ利益並東方全般ノ福利ヲ増進スル大目的ヲ有スルニ顧ミ之ヲ中止若クハ變更スルノ意思ナシ

一、外務大臣ハ前議會ニ於テ露國ノ蒙古北滿地方ニ共產主義ヲ扶植シアリトノ實跡ナシト聲明シタルコトナシ政府ハ自國並自國民ノ權利利益ヲ擁護スルノ外安リニ支那ニ於ケル第三國ノ行動ヲ批判スルノ地位ニ在ラス

一、「カラハン」氏ト故孫文氏トノ間ニ如何ナル協定アリシヤハ政府ノ關知スル所ニ非ス

一、奉天票暴落ノ結果滿洲ニ居住スル内外人ノ經濟上多大ノ影響ヲ受ケルモノアルハ明瞭ナル事實ナリ然レトモ奉天票暴落ニ對スル根本的巨濟策ハ之ヲ東三省當局ノ財政整理ニ俟ツ外ナク日本トシテハ斯ル根本的巨濟策ノ速ニ講セラレムコトヲ希望スルモノナルモ其ノ實行ハ外部ヨリ之ヲ強要シ得ヘキ事項ニ非ス

一、政府ハ滿洲ニ於テ能ク治安秩序ノ維持セラレ我居留民カ安シテ經濟的活動ニ從事スルニシテ障ナカラムコトヲ希望スルモノニシテ之カ爲將來ニ於テモ既往ニ於ケルカ如ク政府ノ權能ノ及フ限リ其ノ目的ノ實現ヲ期ス固ヨリ經濟的活動ハ主トシテ當業者ノ努力ニ待ツヘク政府自ラ之ヲ企畫スヘキモノニ非スト雖我當業者ノ正當ナル企業ニ對シテハ政府ハ必要ナル便宜及保護ヲ與フルニ注意シ門戶開放及機會均等ノ主義ト兩立スル方法ニ於テ商工業ノ發達ニ貢獻セムトス

右及答辯候也  
昭和二年二月十四日  
外務大臣 幣原喜重郎

三黨首妥協ノ條件ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和二年二月二十七日

提出者 清瀨 一郎

本年一月二十日帝國議會停會ヲ命セラルルヤ若槻總理大臣ハ政友會總裁田中義一君、政友本黨總裁床次竹二郎君ヲ招致シテ私的交渉ヲ遂ケラレタル結果右兩黨議員ヨリ提出セラレタル政府不信任ノ決議案ハ撤回セラレタリ右首相及二黨首ノ會見ハ我カ國政界ノ重大事ナルニ拘ラス其

ノ經緯明ナラス世間ノ疑感ハ此ノ妥協條件ノ奈何ニ集中セリ此ノ件ニ關シ公ニセラレタルモノハ本月二十五日立憲政友會本部ノ名ニ於テ發表セラレタル「中間報告」アルノミ同報告書ニハ先ツ同黨カ不信任案ヲ提出スルニ至リタルハ朴烈、綱紀、不景氣ノ三問題ニ付現内閣ハ昭和ノ宏猷ヲ翼賛シ大政ヲ補弼スルノ重任ニ堪ヘスト認メ諒閣中ナルニ拘ラス已ムヲ得ス之ヲ提出シタルモノナルヲ説キ之ヲ承ケ

「若槻首相カ誠意ヲ以テ兩黨提出ノ不信任案カ止ムナキ事由アルコトヲ諒解シ深甚ナル考慮ヲ拂ハルル以上最早此上論議ヲ重ネ表決ヲ爲スノ必要アルマイ」ト謂ヘリ仍テ茲ニ若槻首相ニ對シ左ノ一事ヲ質問ス

總理大臣ハ果シテ兩黨提出ノ不信任案カ已ムナキ事由アルコトヲ諒解セラレタルヤ  
右及質問候也

昭和二年二月十五日

内閣總理大臣 若槻禮次郎  
衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員清瀨一郎君提出三黨首妥協ノ條件ニ關スル質問ニ對スル答辯書

〔別紙〕

衆議院議員清瀨一郎君提出三黨首妥協ノ條件ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
去ル一月二十日本官ガ政友會總裁及政友本黨總裁トノ會見席上ニ於テ兩總裁及政友ノ茲ニ至リタルニハ已ムヲ得ザル事情アリ政府ニ於テモ之ヲ諒トセラレタシト述ベラレタルハ兩黨ニ於テ夫レ々々理由ノ存スル所ナルヲ以テ之ヲ諒トセラレタシトノ意ナリト解ス不信任案中ニ記載セラレタル事項ニ付テハ政府ハ政府ノ所信アリ其事項ノ相當ナルコトヲ承認シタルニアラス

右及答辯候

昭和二年二月十五日

内閣總理大臣 若槻禮次郎

衆議院議員福井甚三君提出小作爭議ニ關スル質問ニ對スル答辯書

提出者 福井 甚三

小作爭議ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
提出者 福井 甚三  
小作爭議ニ關スル質問主意書  
小作爭議ニ對スル政府ノ所見如何  
右及質問候也

昭和二年二月十五日

内閣總理大臣 若槻禮次郎  
衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員福井甚三君提出小作爭議ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員福井甚三君提出小作爭議ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
一、小作爭議ハ經濟上ノ理由ニ基因スルモノ多キモ社會運動ノ進展、思想ノ變遷ニ伴ヒ深刻ノ度ヲ加ヘ其ノ影響スル所頗ル廣汎ナルモノアルヲ以テ政府ハ從來深甚ノ注意ヲ拂ヒ農村生活ノ安定ノ爲各般ノ農事改良、耕地ノ擴張改良、共同施設ノ獎勵其ノ他農業經營上ノ改善獎勵等一般的施設ヲ實施シ以テ小作農家經濟生活ノ向上ヲ期スルト共ニ小作制度改善其ノ他小作問題ノ對策ニ付テハ曩ニ設置シタル小作調査會ノ答申ニ基キ小作法及永代小作整理ニ關スル法制ヲ定メ小作關係ヲ公正ニ規律セムコトヲ期シ之カ準備ヲ急キツツアリ  
二、小作爭議ノ調停ニ付テハ大正十三年ニ小作調停法ヲ制定シ爭議當事者ノ協調和解ヲ促シ又小作官ヲシテ調停法外ノ調停ニ當ラシメ以テ相當顯著ナル效果ヲ齎シツツアルモ更ニ其ノ實績ヲ舉クル爲調停法改正ノ準備ヲ爲シツツアルト共ニ關係官吏會員ノ必要ヲ認メ之ニ要スル經費ヲ來年度豫算ニ計上シタリ  
三、自作農ヲ保護シ且小作農ヲシテ自作地ヲ有セシムルハ小作爭議ノ根本的解決策トシテ緊要ナル施設ナルヲ以テ政府ハ曩ニ自作農保護ノ爲地租免除ノ制ヲ立テ且自作農創設維持ノ爲簡易生命保險積立金ヲ融通シ且其ノ利子補給ヲ行ヒテ之ヲ助成シツツアリ今後ニ於テモ之カ擴張改善ヲ期シ來年度ニ於テハ之ニ關スル增加經費ヲ豫算ニ計上シ又國家ノ補助ノ件ヲ資金ヲ以テ自作農地ヲ購入シタル場合ニハ登録稅ヲ免除スルコトトシ之ニ關スル法律案ヲ本議會ニ提出セリ  
四、其ノ他尙將來ニ於テハ從來ノ施設ヲ一層努力實行スルト共ニ地主小作人ノ團體其ノ他各般ノ小作制度ニ付テハ小作調査會ノ答申等ヲ參酌シテ能ク限リ適切ナル對策ノ實現ニ努ムコトヲ期ス

右及答辯候也

昭和二年二月十五日

農林大臣 町田 忠治  
司法大臣 江木 翼  
內務大臣臨時代理 遞信大臣 安達 謙藏

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕  
一去九日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ  
輸出絹織物取締法案(政府提出)委員  
委員長 吉村 伊助君  
理事 谷口字右衛門君 上原 好雄君

大正十二年法律第三十五號中改正法律案(船員最低年齡法)(政府提出、貴族院送付)委員  
委員長 橋本 喜造君  
理事 來栖 七郎君 宮島幹之助君  
不良住宅地區改良法案(政府提出)委員  
委員長 大田信治郎君  
理事 有馬 賴寧君 兒玉 實良君

一去九日朝鮮事業公債法改正法律案外三件委員神村吉郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中山貞雄君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一去十日辭任シタル常任委員左ノ如シ  
第二部豫算委員 牧野 良三君  
第五部豫算委員 中野 寅吉君  
第六部豫算委員 宮本 逸三君  
一去十日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ  
土地貸賃價格調査委員會法案委員  
高木 正年君 金田平兵衛君  
山本 勝次君 山田 道兄君  
齋藤太兵衛君 村上 國吉君  
藤井 敬慎君 八田 宗吉君  
宮崎三之助君 植原悅二郎君  
山本 芳治君 古林 新治君  
高草美代藏君 山内 範造君  
折原巳一郎君 東郷 實君  
池田 龜治君 岡田 溫君

一去十日朝鮮事業公債法改正法律案外二件委員石塚三郎君高山長幸君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中野寅吉君秋田寅之介君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ  
一去十二日若槻內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ  
大藏參事官 中野 正剛

大藏省所管事務政府委員被仰付  
一昨十四日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ  
第二部選出 豫算委員 伊坂秀五郎君(牧野良三君補闕)  
第五部選出 豫算委員 石塚 三郎君(中野寅吉君補闕)  
第六部選出 豫算委員 磯部 保次君(宮本逸三君補闕)

一昨十四日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ  
土地貸賃價格調査委員會法案(政府提出)委員  
委員長 折原巳一郎君  
理事 山田 道兄君 古林 新治君  
東郷 實君

一昨十四日震災手形損失補償公債法案外一件委員佐々木平次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ馬場義典君ヲ議長ニ於テ選定セリ

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮議致スコトガアリマス、朝鮮事業公債法改正法律案外二件ノ委員長ヨリ、本日本會議中委員會議ノ請求ガアリマシタ、之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可致スコトニ致シマス、尙ホ齋藤珪次君病氣ニ付、二月十四日ヨリ二月十七日マデ、佐々木平次郎君公務ニ依リ海外旅行ニ付、二月十四日ヨリ三月二十四日マデ、右兩君ヨリ請暇ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可致シマス、本日ノ日程ニ掲ゲマシタ質問ノ中、第一、第三ニ付キマシテハ政府ヨリ答辯書ヲ受領致シマシタ、仍テ日程ヨリ之ヲ省キマス、尙ホ質問ノ第二ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマシタ、仍テ之ヲ延期致シマス、是ヨリ議案ノ日程ニ入リマス、日程第一、會計検査院法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、山川政府委員

第一 會計検査院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會  
會計検査院法中改正法律案  
第二條中「副検査官專任十八員」ヲ「副検査官專任二十員」ニ改ム

附則  
本法ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
○政府委員(山川端夫君) 只今上程ニナリマシタ會計検査院法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ申上ゲタイト思ヒマス、本案ハ検査院ノ副検査官ノ定員ガ現在十八名アルノヲ、二名ヲ増加シテ二十名ト致シタイトデアリマス、會計検査院ニ於テ施行致シマスル會

計ノ實地検査ハ、會計検査ノ手段トシテ極メテ重要ナモノデアリマス、會計監督ノ實效ヲ擧ゲントスルニハ、成ベク頻繁ニ此實地検査ヲ履行スルコトガ必要ト認メルノデアリマス、殊ニ近頃各廳ノ事務ガ複雑ノ加ヘ來、タ結果、其必要一層切ナモノアルコトヲ認ムル次第デアリマス、是等ノ事情ニ基キマシテ、會計検査院ニ於テハ從前カラ施行致シテ參リマシタ所ノ實地検査ヲ、尙ホ一層前ニ申上ゲマシタ目的ニ副フヤウニ、適切ニ實行致シタイト云フコトヲ計畫致シテ居ルノデアリマス、其爲ニ茲ニ副検査官ヲ二名増員セントスル次第デアリマス、本案ハ極メテ簡單ナル法案デゴザイマスカラ、何卒御審議ノ上御協賛ヲランコトヲ希望致ス次第デアリマス

○議長(粕谷義三君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉  
○砂田重政君 本案ハ政府提出、計理士法外一件ノ委員ニ併託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第三、公益質屋法案ノ第一讀會ヲ開キマス、俵政府委員

第三 公益質屋法案(政府提出) 第一讀會  
公益質屋法案  
第一條 市町村又ハ公益法人ハ本法ニ依リ公益質屋ヲ經營スルコトヲ得

公益法人公益質屋ヲ經營スル場合ニ於テハ業務所ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ  
第二條 本法ニ依ル公益質屋ニ非ザレバ其ノ名稱中ニ公益質屋タルコトヲ示ス

ベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ  
第三條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ市町村又ハ公益法人ニ對シ公益質屋ノ設備ニ要スル經費ノ二分ノ一以內ヲ補助ス

第四條 貸付金額ハ一口ニ付二十圓、一世帯ニ付百圓ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ生業資金トシテ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ  
第五條 貸付利率ハ一月ニ付百分ノ一二五ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情アル地方ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ  
第六條 貸付金ニ對スル利子ニシテ一錢未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ其ノ全額一錢未滿ナルトキハ之ヲ一錢トス  
第七條 公益質屋ニ於テハ其ノ質契約ニ關シ元金及利子ノ外何等ノ名義ヲ以テスルモ質置主ヨリ金錢其ノ他ノ利益ヲ受クルコトヲ得ズ  
第八條 流質期限ハ質契約成立ノ日ヨリ四月未滿ノ期間内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得ズ四月未滿ノ期間内ニ於テ之ヲ定メタルトキハ其ノ期間ヲ四月トス  
第九條 流質期限到來前ニ於テ質物ノ交換又ハ質物ノ一部ノ受戻ヲ爲シタルトキト雖モ利子ノ計算及流質期限ニ付テハ質契約ノ變更ナキモノト看做ス  
第十條 質置主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一部辨濟ヲ爲スコトヲ得  
第十一條 流質物ハ競争入札ニ依リ之ヲ賣却スベシ  
特別ノ事情アル場合ニ於ケル流質物ノ處分ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
第十二條 流質物處分前ニ於テ質置主ガ

元金、利子及流質期限經過後質契約ガ存續シタリトセバ支拂フコトヲ要スベキ利子ニ相當スル金額ヲ支拂ヒタルトキハ流質物ハ之ヲ返還スベシ

第十三條 流質物ノ賣却代金ヨリ元金及利子ニ相當スル金額並ニ命令ヲ以テ定ムル手数料ヲ控除シタル殘餘金ハ之ヲ質置主ニ交付スベシ  
第十四條 前條第一項ノ規定ニ依リ交付タル各流質物ニ對スル代金ノ計算ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 質屋取締法第二條乃至第八條、第十條乃至第十七條及第二十條ノ規定ハ公益質屋ニ之ヲ準用ス  
質屋取締法第十二條ノ規定ハ第十二條ノ流質物ノ返還及第十三條第一項ノ殘餘金ノ交付ニ之ヲ準用ス  
第十六條 本法ニ違反スル質契約ニシテ質置主ニ不利ナルモノハ其ノ不利ナル部分ニ限り之ヲ爲サザルモノト看做ス

第十七條 公益法人ノ經營スル公益質屋ノ監督上必要アルトキハ地方長官ハ其ノ業務ニ關スル諸般ノ報告ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ檢シ及業務又ハ會計ヲ檢閱スルコトヲ得  
第十八條 第二條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ過料ニ處ス  
非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第十九條 公益質屋ヲ經營スル公益法人ノ理事又ハ從業員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス  
一 第十五條ノ規定ニ依リ準用スル質屋取締法第二條乃至第四條、第五條第一項第二項、第六條、第七條第一

項

項

項、第八條第一項、第十四條又ハ第  
十七條ノ規定ニ違反シタルトキ

二 第十五條ノ規定ニ依リ準用スル質  
屋取締法第十五條ノ場合ニ於テ虛偽

ノ陳述ヲ爲シ又ハ故意ニ物品若ハ帳  
簿ヲ毀損シ失シタルトキ

第二十條 本法中町村ニ關スル規定ハ町  
村制ヲ施行セザル地ニ於テハ町村ニ準

ズベキモノニ之ヲ適用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
本法施行ノ際現ニ市町村又ハ公益法人ノ  
經營スル公益質屋ハ本法ニ依リ公益質屋

ト看做ス  
市町村又ハ公益法人ノ經營スル公益質屋  
ニ於テ本法施行前ニ爲シタル質契約ハ本  
法ニ拘ラズ仍其ノ效力ヲ有ス

〔政府委員俵孫一君登壇〕

○政府委員(俵孫一君) 只今上程ニナリマ  
シタ公益質屋法ノ提出ノ理由ヲ簡單ニ説明  
申上ゲマス、庶民金融ニ關スル社會的施設

ノ普及發達ヲ圖リ、國民生活ノ安定向上ヲ  
期シマスルコトハ、現下ノ社會各般ノ事情

ニ鑑ミマシテ、最モ緊急ナル事柄デアリマ  
ス、而シテ我國ニ於テ庶民金融ニ關シマシ

テハ、質屋ト云フモノガ古來廣ク利用サレ  
テ居ル最モ重要ナル機關ノ一ツトナリテ居

ルノデゴザイマス、現時ノ質屋營業ノ實情  
ヲ見マスルト云フト、其金融ノ方法ハ少額

所得者ニ對スル金融ト云フ社會政策的見地  
ヨリ見マシテ、遺憾ト爲スベキ點ガ少クナ

イヤウニ思ハレルデアリマス、是等實情  
ニ鑑ミマシテ、近時市町村社會事業團體等

ニ於キマシテハ、公益質屋ノ經營スル者ガ  
段々アルニ至ラタノデアリマス、併シ此公

益質屋ノ現在アリマス所ノモノハ、未ダ其  
施設ガ比較的少ク、經營ノ方法モ亦區々ニ

岐レマシテ、其社會的施設ノ目的ヲ達成ス  
ル上ニ於キマシテ、尙ホ不十分ナル點ガアル

ヤウニ考ヘラレマス、仍テ公益質屋ニ關  
スル制度ヲ確立致シマシテ、公益的機能ヲ

少額所得者ノ生活ノ實情ニ照シマシテ、最  
モ急務ト申サナケレバ、ナラヌノデアリマ

ス、併ナガラ質制度ニ付キマシテハ、國民  
ノ間ニ多年ノ間慣行ノ存スルモノガアリマ

シテ、之ヲ只今急激ニ變更スルコトハ、却  
テ公益質屋制度ノ圓滿ナル發達ヲ期スル所

以テナイト考ヘルノデアリマス、就キマシ  
テハ公益質屋ニ關スル新シキ制度ヲ樹立致

シマスニ付キマシテハ、其形態大綱ヲ從來  
ノ質制度ニ採リマシテ、而モ公益的機能ヲ

發揮スル上ニ於テ遺憾ナカラヌヤウ二期シ  
マシテ、以上ノ少額所得者ノ生活ノ安定ト、

福祉ノ増進トヲ圖ルヤウニ致スコトガ、目  
下ノ機宜ニ適シタ策デアルト信ズルノデア

リマス、是ガ本案ヲ提出シマシタ所以デア  
リマス、尙ホ本法律案ノ立案ニ付キマシ

テハ、曩ニ金融制度調査會ニ於テ調査決定  
セラレテ居ル、彼ノ公益質屋制度ノ要綱ヲ

參酌致シマシテ、其制度ノ運用ニ關シマシ  
テ成ベク必要ナル各般ノ事項ヲ定メテ次第

デアリマシテ、願クバ審議ノ上デ御  
協賛ヲ與ヘラレンコトヲ切ニ御願申シマス

○議長(粕谷義三君) 本案ニ對シテハ質疑  
ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス、伊

坂秀五郎君

〔伊坂秀五郎君登壇〕

○伊坂秀五郎君 私ハ本案ニ對シテ極メテ  
簡單ニ御質問ヲ申上ゲタイト存ジマス、本

案提出ノ理由ハ只今提出者ノ御辯明ノ如  
ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ

ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ  
ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ

ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ  
ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ

ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ  
ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ

ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ  
ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ

ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ  
ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ

ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ  
ク、社會政策ニ準據シテ之ヲ御出シニナ

是ハ社會政策ト云フ美名デアリマスルガ、  
例ヘバ住宅ヲ建設セントスルモ相當ノ資力

ヲ持テ居ル者デナケレバ、此政府ノ所謂  
社會的政策ノ均霑ニ浴スルコトハ出來ナ

イ、若クハ小農保護ノ事デモ矢張多少ノ資  
力ガナケレバ、小農保護タル社會政策ノ均

霑ニ浴スルコトハ出來ナイト云フヤウナ工  
合デ、眞ノ細民ヲ保護スルコト云フ實ヲ舉

グコトニ付テハ、甚ダ其效果ノ疑ハシイモ  
ナルコトヲ私遺憾ニ思ウテ居ル者デアリ

マス、即チ所謂社會政策ナルモノハ、一部  
ノ供給生活者デアルトカ、或ハ多少ノ資力

ヲ持テ居ル中産階級ノ者ノ保護ニ任ズルモ  
デアラハ、眞箇細民ノ社會的政策ノ實現

ヲ期スルコトハ、甚ダ以テ今日マデ其實效  
ガ舉テ居ナイモノデアルト私ハ思フノデ

アリマス、本案ニ付テ之ヲ見マスルモ、本  
案ノ第四條デアリマスルガ、之ハ一口ノ金

ガ二十圓ト云フコトニ制定セラレテ居  
ル、元來此公益質屋ナルモノガ、眞ノ社會

的政策カラ、之ニ依リテ現レタモノデア  
ラバ、モト此金額ヲ安クナサル必要ガ

ナイノデアラウカト云フコトヲ私考ヘル者  
デアル、二十圓ト云フ此金ハ、之ヲ質屋ニ

依リテ得ント致シマスナラバ、是ガ擔保物  
タル質草ハ恐ラク數十圓ノ價值ノアルモノ

ヲ持テ行カナケレバ、二十圓ト云フ金ヲ  
得ルコトハ困難ダラウト私ハ思フ、現ニ全

國ノ質屋ガ取扱テ居ル所ノ一口ノ金額ガ、  
ドレ位ノモノデアルト云フコトヲ調査ヲ

致シマスルト、大體七圓程度ノモノニナ  
テ居ルヤウナコトヲ私承知致シテ居リマ

ス、又會テ金融制度調査會等ニ於テモ、此  
公益質屋ニ關スル議論ノ問題ガ、一口ノ金

額ヲ五圓位ニ致シタラドウダト云フヤウナ  
コトヲ審議ガ大ニ盡サレタ、而シテ此金融

制度調査會ノ決定ハ、一口五圓デア  
ルコトヲ聞イテ居ル、然ルニ今回政府ガ

出サレタノハ一口二十圓ト制定セラレテ、  
茲ニ御出シニナラタノデアリマスガ、斯ノ

如キコトハ眞ニ是ハ細民ヲ救済スルコト云  
フコトニアラズシテ、相當ノ質草ヲ持テ居

ル中産階級ニ寧ロ便宜ガ講セラレテ、眞ノ

細民ト云フモノハ其便宜ヲ受クルコトハ却テ  
稀薄デナイカト、斯様ニ私思フノデアリマ

ス、(拍手)之ヲ一口二十圓ト云フモノヲ政  
府ニ於テハ、モウ少シク低下セラレテ、

眞ノ所謂社會政策ノ實ヲ舉ゲラル、ト云  
ウヤウナ御考ハナイモノデアラカドウカ、又

左様ニ致シマスルナラバ、現今ノ此質屋、  
所謂今日マデ社會組織ノ中ニアル庶民金融

機關ニ相當貢獻ヲ致シタル質屋ニ、一  
時ニ多大ノ苦痛ヲ與ヘズシテ、彼等ノ損害

ノ程度ヲ大ニ緩メルト云フヤウナ——一面  
ニ於テ之ヲ緩和スルコトガ出來ルト思フ、

斯様ナ見地ニ立テテ政府ハ一口ノ金額ヲ、モ  
ウ少シク低下セラル、ト云フ御意思ハナイモ

ノデアラウカ、却テ其方ガ社會政策ニ  
資スル所以デアリカト信ズルガ故ニ、此事

ヲ一應御伺シマス(拍手)

〔政府委員俵孫一君登壇〕

○政府委員(俵孫一君) 只今伊坂君ノ此一  
口ノ金額二十圓ト云フモノヲモウ少シク下  
ルト云フ政府ノ意思ハナイカト云フ御尋

デアリマス、之ニ付キマシテ今回提出シタ  
法案ガ、或ハ從來ノ質屋營業者ヲ撲滅スル

ガ如キヤウナコトニ當リハセヌカ、斯ウ云  
フコトノ意味ノ御尋モアッタノデアリマス、

曩ニモ提案ノ理由ヲ説明申上ゲマシタ如  
ク、從來ノ質屋ノ制度ト申シマスルモノ

ハ、是ハ極メテ下層階級ノ人々ノ有用な機  
關デアリマスルカラ、政府ハ此提案ニ依

テ毫モ之ヲ撲滅スルコト、其營業ニ妨害ス  
ルトカ云フコトノ意思ハ無イノデアリマ

ス、唯、曩ニモ申上ゲマシタ通り、從來ノ私  
營質屋ノ制度ノ儘デハ、未ダ極メテ少額

ノ下層階級ノ生活者ニ、金融ノ途ヲ付ケル  
ト云フ譯ニ至ラナイ、是ガ今回公益質屋法

ヲ提出致シマシタ譯デアアルノデアリマス、  
ソコデ此二十圓ニ付テ如何ナル根據アリ

ヤ、乃至又之ヲ低下スル所ノ意思ナキカト  
云フ御尋ニ對シテハ、實ハ社會局ニ於キマ

シテハ、東京市ノ一部ノ下層階級ノ方面ニ  
於ケル所ノ生活ノ狀態ヲ調べマシタノデア

三圓位ガ先ヅ平均ノ生活費デアリノデアリマス、之ヲ一週間ニ致シマスルト十四圓九十何錢、約十五圓、尙又軍事救護法ノ給與額ニ付テ、東京府ガ支給シテ居ル所ノ金額ヲ見マスルト、是亦一週間ノ給與ガ約十六圓八十錢ニ當リテ居ルノデアリマス、現今物價騰貴デ中ニ細民ト雖モ、サウ安イ生活費デアハ生活出來能ハヌノデアリマス、約二十圓ト申シマスル金ハ、先ヅ斯ウ云フ細民階級ノ一週間ノ生活費、二十圓位ハドウシテモナクテハナラヌ、斯ウ云フコトガ二十圓ノ金額ヲ定メマシタ基礎ニナツタノデアリマス、又例ヘバ實費診療所ノ疾病ノ場合ト一病氣ノ場合ニ於テ、實費診療所ニ、ド一位一體其手術若クハ藥價ノ費用ガ掛ルカト云フト、是レ以テ二十圓位ナケレバ、一寸シタ手術モ出來ズ、一寸シタ入院料モ支拂ガ出來ヌト云フ状態デアリノデアリマス、色々此二十圓ニ定メマシタ根據ガアリマスガ、大體申上テマスルト只今申上ゲマシタ通り、細民階級ニ約ソマア二十圓位ノ融通ガナケレバ、其生活ヲ助ケルト云フ足シニナラヌト云フコトガ、此二十圓ニ決定シタ基礎デアリマス、而シテ金融調査會ニ於キマシテ、五圓デハナカッタカト云フコトデアリマスガ、此金融制度調査會ニ於テハ二十圓ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此金融制度調査會ノ二十圓ニ重キヲ置イテ居ルコトハ一ツノ理由デアリマス、先ヅ政府ハ此程度ノモノガ目下ノ細民階級ノ金融ノ途トシテ最モ適當デアラウ、斯ウ考ヘルノデアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 質疑ノ通告ハ取消サレマシタ、仍テ質疑ハ終リマシタ、日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○砂田重政君 本案ハ十八名ノ特別委員ヲ議長ニ於テ指名セラレシコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕  
○議長(粕谷義三君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五ヨリ第九マデハ關聯シタ議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕  
○議長(粕谷義三君) 御異議ハナイト認メマス、仍テ日程第五、銀行法案、第六、貯蓄銀行法中改正法律案、第七、農工銀行法中改正法律案、第八、北海道拓殖銀行法中改正法律案、第九、非訟事件手續法中改正法律案、右各案ヲ一括シテ其第一讀會ヲ開キマス、片岡大藏大臣

第五 銀行法案(政府提出) 第一讀會 銀行法案

第一條 左ニ掲グル業務ヲ營ム者ハ之ヲ銀行トス

一 預金ノ受入ト金錢ノ貸付又ハ手形ノ割引ト併セ爲スコト

二 爲替取引ヲ爲スコト

營業トシテ預金ノ受入ヲ爲ス者ハ之ヲ銀行ト看做ス

第二條 銀行業ハ主務大臣ノ免許ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ

第三條 銀行業ハ資本金百萬圓以上ノ株式會社ニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ

但シ勅令ヲ以テ指定スル地域ニ本店又ハ支店ヲ有スル銀行ノ資本金ハ二百萬圓ヲ下ルコトヲ得ズ

前項但書ノ規定ニ依リ地域ノ指定アリタル場合ニ於テ其ノ地域ニ本店又ハ支店ヲ有スル銀行ニシテ資本金二百萬圓未滿ノモノハ指定ノ日ヨリ七年ヲ限リ前項但書ノ資本金ニ依ラザルコトヲ得

第四條 銀行ハ其ノ商號中ニ銀行ナル文字ヲ用フベシ

銀行ニ非ザルモノハ其ノ商號中ニ銀行タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第五條 銀行ハ擔保附社債信託法ニ依リ

擔保附社債ニ關スル信託業ヲ營ミ又ハ保護預リ其ノ他ノ銀行業ニ附隨スル業務ヲ營ムノ外他ノ業務ヲ營ムコトヲ得ズ

第六條 銀行ハ左ノ場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

一 商號ヲ變更セントスルトキ

二 資本金ヲ變更セントスルトキ

三 支店其ノ他ノ營業所又ハ代理店ヲ設置セントスルトキ

四 本店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ變更セントスルトキ

五 支店以外ノ營業所ヲ支店ニ變更セントスルトキ

第七條 銀行ハ代理店主ヲシテ其ノ代理事務ニ關シ代理店ノ出張所其ノ他ノ從タル營業所又ハ復代理店ヲ設ケシムルコトヲ得ズ

銀行ノ代理店主ハ其ノ代理事務ニ關シ代理店ノ出張所其ノ他ノ從タル營業所又ハ復代理店ヲ設ケルコトヲ得ズ

第八條 銀行ハ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ヲ配當スル毎ニ準備金トシテ其ノ利益ノ十分ノ一以上ヲ積立ツベシ

第九條 銀行ノ營業年度ハ一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄トス

第十條 銀行ハ營業年度毎ニ業務報告書ヲ作成シテ之ヲ主務大臣ニ提出スベシ

第十一條 銀行ハ營業年度毎ニ主務大臣ノ定ムル様式ニ依リ貸借對照表ヲ作成シテ之ヲ公告スベシ

第十二條 銀行ノ監査役ハ銀行ノ業務及財産ノ狀況ニ關スル調査ノ結果ヲ記載シタル監査書ヲ每營業年度二回作成シテ之ヲ本店ニ備ヘ置クベシ

第十三條 銀行ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人ガ他ノ會社ノ常務ニ從事セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十四條 銀行ノ合併ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ効力ヲ生ゼズ

第十五條 銀行ガ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ商法第七十八條第二項ノ規則ニ依リ必要ト認ムルトキハ營業ノ免許

定ニ依リテ爲スベキ催告ハ預金者ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ要セズ

第十六條 銀行ガ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ商法第七十八條第二項但書ノ期間ハ一月迄之ヲ下スコトヲ得合併ニ因ル株式併合ノ場合ニ於テ商法第二百二十條ノ二但書ノ期間ニ付亦同ジ

第十七條 銀行ガ合併ニ因リテ貯蓄銀行法第一條第一項ノ業務ニ屬スル契約ニ基ク權利義務ヲ承繼シタル場合ニ於テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ニ關スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ妨グズ

貯蓄銀行法第九條、第十條及第十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十八條 銀行ノ休日ハ祭日、祝日、日曜日其ノ他銀行ノ營業所所在地ニ行ハルル一般ノ休日ニ限ル

銀行ガ天災其ノ他避クベカラザル事變ニ因リ臨時ニ休業スルトキハ直ニ其ノ旨ヲ公告シ地方長官ニ届出ツベシ

第十九條 銀行ガ預金ノ拂戻ヲ停止スルトキハ直ニ其ノ旨ヲ公告シ事由ヲ具シテ主務大臣ニ届出ツベシ

第二十條 主務大臣ハ何時ニテモ銀行ヲシテ其ノ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ監査書其ノ他ノ書類帳簿ヲ提出セシムルコトヲ得

第二十一條 主務大臣ハ何時ニテモ部下ノ官吏ニ命ジテ銀行ノ業務及財産ノ狀況ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十二條 主務大臣ハ銀行ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ業務ノ停止又ハ財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 銀行ガ法令、定款若ハ主務大臣ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スベキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ業務ノ停止若ハ取締役、監査役ノ改任ヲ命ジ又ハ營業ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第二十四條 主務大臣ハ業務ノ停止ヲ命ゼラレタル銀行ニ對シ其ノ整理ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ營業ノ免許

ヲ取消スコトヲ得

第二十五條 銀行業ノ廢止又ハ銀行ノ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十六條 銀行ガ其ノ目的ヲ變更シ他ノ業務ヲ營ム會社トシテ存續スル場合ニ於テハ銀行ニ關スル事務ヲ管理スル主務大臣ハ其ノ會社ガ預金債務ヲ完済スルニ至ル迄財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得合併ニ因リ銀行ニ非ザル會社ガ銀行ノ預金債務ヲ承繼シタル場合亦同ジ

第二十七條 銀行ガ營業ノ免許ヲ取消サレタルキハ之ニ因リテ解散ス

前項ノ場合ニ於テ清算人ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ裁判所之ヲ選任ス其ノ清算人ノ解任亦同ジ

第二十八條 前條ノ場合ヲ除クノ外裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ清算人ヲ選任シタルトキハ裁判所ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第二十九條 裁判所ハ銀行ノ清算事務及財産ノ狀況ヲ検査シ、財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他清算ノ監督ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十條 銀行ノ清算、破産又ハ強制和議ノ場合ニ於テ裁判所ハ銀行ノ検査監督ニ從事スル官吏ニ對シ意見ヲ求メ又ハ検査若ハ調査ヲ囑託スルコトヲ得

第三十一條 銀行ノ清算、破産又ハ強制和議ノ場合ニ於テ銀行ノ検査監督ニ從事スル官吏ハ裁判所ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第三十二條 本法施行地外ニ本店ヲ有スル銀行ガ本法施行地内ニ支店、出張所又ハ代理店ヲ設ケ銀行業ヲ營マントスルトキハ各營業所毎ニ代表者ヲ定メ第二條ノ規定ニ依リ免許ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタルトキ

ハ該營業所ハ本法ノ適用ニ付之ヲ銀行ト看做ス此ノ場合ニ於テハ第三條乃至第六條、第八條、第十二條乃至第十七條、第二十五條及第二十七條乃至前條ノ規定ニ拘ラズ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第一項ノ免許ニ付テハ主務大臣ハ特ニ必要ナル制限ヲ附スルコトヲ得

第三十三條 主務大臣ノ免許ヲ受ケズシテ銀行業ヲ營ミタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條 左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人、清算人又ハ本法施行地外ニ本店ヲ有スル銀行ノ本法施行地ニ於ケル代表者ヲ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 業務報告書又ハ監査書ノ不實ノ記載、虚偽ノ公告其ノ他ノ方法ニ依リ官廳又ハ公衆ヲ欺罔シタルトキ

二 本法ニ依リ検査ニ際シ帳簿書類ノ隠蔽、不實ノ申立其ノ他ノ方法ニ依リ検査ヲ妨ゲタルトキ

第三十五條 左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人、代理店主(代理店主法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他法人ノ代表者又ハ外國會社ノ代表者)、清算人又ハ本法施行地外ニ本店ヲ有スル銀行ノ本法施行地ニ於ケル代表者ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但シ其ノ行為ニ付刑ヲ科スベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 第五條乃至第八條又ハ第十三條ノ規定ニ違反シタルトキ

二 第十七條ニ於テ準用スル貯蓄銀行法第九條ノ規定ニ違反シタルトキ

三 本法ニ依リ銀行ニ備ヘ置クベキ書類ノ備付若ハ主務大臣ニ提出スベキ書類ノ提出ヲ怠リ、之ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ又ハ之ニ不實ノ記載ヲ爲シタルトキ

四 本法ニ定メタル届出若ハ公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不實ノ届出若ハ公告ヲ爲シタルトキ

五 第二十二條、第二十三條、第二十六條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ主務大臣又ハ裁判所ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

六 本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

第三十六條 第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

第三十七條 銀行ガ本法ニ依リ爲スベキ公告ハ新聞紙ニ依ルベシ

附則

第三十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十九條 銀行條例ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ營業ノ認可ヲ受ケタル銀行ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ第四十條及第四十一條ノ定ムル制限ニ從ヒ本法ニ依リテ免許ヲ受ケタル銀行ト看做ス

舊法ニ依リテ爲シタル認可、處分其ノ他ノ行為ハ本法中之ニ相當スル規定アリ場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十條 前條第二項ノ銀行ニシテ株式會社又ハ外國銀行以外ノモノハ本法施行後七年ヲ限リ仍其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

商法施行前ニ設立シタル合資會社ニシテ舊法ニ依リ營業ノ認可ヲ受ケタル銀行ガ本法施行後七年内ニ其ノ組織ヲ變更シ又ハ合併ニ因リ株式會社ト爲リタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

第四十一條 第三十九條第二項ノ銀行ノ資本金ニ付テハ本法施行後七年ヲ限リ第三條第一項本文ノ規定ヲ適用セズ第三十九條第二項ノ銀行ノ合併ニ因リテ設立シタル銀行ノ資本金ニ付亦同ジ

命令ヲ以テ定ムル人口一萬未滿ノ地ニ本法施行ノ際現ニ本店ヲ有スル資本金

二十五萬圓未滿ノ銀行ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ期間經過後更ニ三年ヲ限リ第三條第一項本文ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第四十二條 本法施行ノ際現ニ第五條ノ業務以外ノ業務ヲ營ム銀行ハ本法施行後三年ヲ限リ仍其ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得

第四十三條 第三十九條第二項ノ銀行ノ本法施行ノ際現ニ有スル本店及支店以外ノ營業所又ハ代理店ハ本法施行後一年内ニ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ存續スルコトヲ得ズ

前項ノ認可申請書ハ本法施行後三月内ニ主務大臣ニ提出スベシ

第四十四條 本法施行ノ際現ニ銀行ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人ニシテ他ノ會社ノ常務ニ從事スル者ハ本法施行後一年ヲ限リ主務大臣ノ認可ヲ受ケズシテ引續キ其ノ會社ノ常務ニ從事スルコトヲ得

第四十五條 第三十九條第二項ノ銀行ニシテ株式會社又ハ外國銀行以外ノモノノ業務廢止ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四十六條 本法中取締役ニ關スル規定ハ第三十九條第二項ノ銀行ニシテ株式會社又ハ外國銀行以外ノモノニ付テハ其ノ營業主(營業主法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員)ニ之ヲ準用ス

第六 貯蓄銀行法中改正法律案(政府提出)

貯蓄銀行法中改正法律案

貯蓄銀行法中左ノ通改正ス

第十六條第一項第三號ヲ削ル

第十七條 削除

第二十一條第一項中「銀行條例」ヲ「銀行法」ニ改メ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

銀行法第十五條又ハ第二十六條ノ規定ノ適用ニ付テハ第一條第一項第四號ノ規定ニ依リ給付金ハ之ヲ預金ト看做ス

第二十二條中「命令ノ定ムル所」ニ依リ營

業稅額ノ「其ノ納付スヘキ營業收益稅額」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七 農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

農工銀行法中改正法律案

農工銀行法中左ノ通改正ス

第五十二條中「明治二十三年法律第七十二號銀行條例」ヲ「銀行法」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

北海道拓殖銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第三十四條中「明治二十三年法律第七十二號銀行條例」ヲ「銀行法」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

非訟事件手續法中改正法律案

非訟事件手續法中左ノ通改正ス

第三十七條ノ二 第二百二十九條ノ三及ヒ第二百二十九條ノ四ノ規定ハ裁判所カ法人ノ清算人又ハ第三十六條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲スヘキ者ヲ選任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十一條ノ六中「第一百二十八條」ヲ「第一百二十八條、第二百二十九條ノ三及ヒ第二百二十九條ノ四」ニ改ム

第三百三十六條ノ末尾ニ「銀行ノ清算ノ監督亦同シ」ヲ加フ

第三百三十七條ノ末尾ニ「裁判所カ銀行ノ清算ノ監督ニ付キ爲シタル命令ニ對シ亦同シ」ヲ加フ

第三百三十八條ノ四ヲ第三百三十八條ノ五トシ第三百三十八條ノ三ヲ第三百三十八條ノ四トシ第三百三十八條ノ二ヲ第三百三十八條ノ三トシ同條中「清算人」ヲ「清算人又ハ前條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲スヘキ者」ニ改ム

第三百三十八條ノ二 裁判所ハ特ニ選任シタル者ヲシテ銀行ノ清算事務及ヒ財産ノ狀況ヲ検査セシムルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣片岡直温君發壇) 只今上程ニナリマシタ法案ニ對シテ、一括シテ説明ヲ致シマス、先ツ銀行法案ニ付テ申上ゲマスガ、凡ソ一國産業ノ發達ハ、金融機關ノ整備ト其機能ノ發揮トニ俟ツベキモノガ頗ル多ク、現狀ハ、其組織脈絡必シモ整ヘリト云フコトヲ得ザルノミナラズ、時勢ノ進運ニ副ハナイモノモ亦少クナイノデアリマス、今ヤ我國財界ノ整備恢復ヲ促シ、産業ノ進歩發展ヲ圖ルノ必要最モ痛切ナルモノガアル時ニ際シマシテ、金融制度ヲ整備改善スルコトハ最モ緊要ノ事デアルト信ズルノデゴザイマス、併ナガラ金融制度改善ノ業タル洵ニ複雑至難ノ事業デアリマシテ、其方策ノ如何ハ我國財政經濟ニ及ボス影響頗ル大ナルモノガアリマスルカラ、濫ニ其速成ヲ求ムベキデアリマセズ、宜シク各種金融ノ制度並ニ實際ニ付キ周到ナル調査ヲ遂ゲ、其缺陷及弊害ノ存スル所ヲ明ニシ、以テ實行上萬遺漏ナキヲ期サナケレバナリマセズ、仍テ政府ハ昨年九月關係各廳ノ官吏並ニ學識經驗アル民間ノ人士ヲ以テ組織スル、金融制度調査會ヲ設置致シマシテ、爾來周到精密ナル調査研究ヲ遂ゲシメ、以テ適切ニシテ且ツ實行ノナル成案ヲ得ルニ努メテ居ルノデアリマス、而シテ政府ハ別ニ大藏省內ニ金融制度調査準備委員會ヲ設ケマシテ、隨時關係各方面ノ民間人士ヲモ臨時委員トシテ其意見ヲ徵シ、金融制度調査會ニ付議スベキ事項ノ準備調査ヲ行ハシメマシテ、以テ本事業ノ完全ニ遺漏ナカラシメンコトヲ期シテ居ルノデアリマス、此所ニ提出致シマシタル銀行法案ハ、以上述べマシタ手續ニ從ヒマシテ、金融制度調査會ニ於テ非常ナル熱誠ト努力ヲ以テ、我國普通銀行制度ノ改善ニ付キ、周到精密ニ調

査決定サレマシタ趣旨ニ基キマシテ、立案ヲ致シタルデアリマス、抑、我國普通銀行ハ開設既ニ久シキニ涉リマシテ、其發達モ概シテ顯著ナルモノガアリマス、最近ニ於ケル全國普通銀行ノ數ハ千四百二十四行、其公稱資本金ハ二十三億九千万圓、預金ハ八十八億萬圓ヲ擁シテ居ルノデアリマス、各種産業ニ涉リテ一般ノ金融ノ任ニ當テ居ルノデアリマスガ、其現狀ヲ見マスルノニ、我國經濟界ノ進展ニ適應シテ、能ク主要金融機關タルノ機能ヲ發揮セリト云フヲ得ザルモノガアルノミナラズ、其經營モ亦屢々慎重ヲ缺キ、爲ニ破綻ヲ惹起シテ、一般財界並ニ多數預金者ニ損害ヲ及ボスコトモ少カラザルモノガアリマス、仍テ今其通弊トスル所ヲ矯正スルコトガ爲ニハ、第一ニ銀行資力ノ充實ヲ圖ルコト、第二ニ堅實ナル經營ヲ助長スルコト、第三ニ預金者ノ利益ヲ保護スルコト、第四ニ銀行監督ノ周到ルコト、第五ニ不當ノ競争ヲ防止スルコト、第六ニ銀行整備ノ進捗ヲ圖ルコト、其他ニ關シマシテ是ガ改善ノ方策ヲ講ゼネバナリマセズ、元來普通銀行ノ業務ノ廣汎ニシテ多様ナル性質上、改善ノ方策トシテ必要已ムヲ得ザルモノ、外、成ベク法規ヲ以テ之ヲ律スルコトヲ避クルノ方針ヲ執リマシテ、本法案ニ於キマシテモ銀行業ノ經營主體ヲ株式會社ニ限リ、其資本金ヲ法定スルコト、シ、或ハ他業ノ兼營ヲ禁止シ、法定積立金ノ割合ヲ増加シ、其他銀行ノ監督ヲ嚴重ニシ、又預金者保護ノ爲ニ必要ナル諸規定ヲ設ケマシタルハ、皆以上ノ趣旨方針ニ依リテモ、デゴザイマス、隨テ普通銀行ノ整備改善ニ付キマシテハ、本法案ニ規定セラレマシタモノ、外、或ハ群小銀行ノ合同ヲ獎勵シ、預金支拂準備ノ内容ヲ改善シ、資金運用ノ偏倚ヲ避ケシメ、貸付金ノ固定ヲ防止スル等、幾多施設スベキ事項ガアリマスルガ、是等ハ法規ヲ以テ律スルコトヲ適當トセザルモノ、又ハ法規ヲ以テシテハ其目的ヲ達スルコトノ困難ナルモノガアリマスノデ、是等ニ付キマシテハ前ニ申述ベマシタ金融制度調査會ニ於テ決定シタ

ル普通銀行制度ノ改善ノ要項ニ基キ、政府ノ方針トスル所ヲ一般ニ指示シテ、行政ノ實際ニ當リ、適宜當業者ヲ指導監督スルコト、致シマシタ次第デゴザイマス、尙ホ本法案ノ目的ヲ達成シ、我國普通銀行ノ指導監督ヲ全カラシムル爲ニハ、是ガ検査監督ノ機關ヲ充實スルコトノ緊要ナルヲ認メマシテ、之ニ要スル經費ヲ豫算ニ計上致シタルデゴザイマス、尙ホ現在我國普通銀行ノ標準スル法規デアリマスル所ノ銀行條例ハ、明治二十三年ノ制定ニ係リマシテ、其後數次ノ改正ヲ見タルデアリマスルガ、今回ノ改正條項ハ甚ダ多クデアリマスルガ爲ニ、此際寧ろ銀行條例ナルモノヲ廢シマシテ、新ニ銀行法ヲ制定スルヲ便利ナリト認メマシテ、本法案ヲ提出シタル次第デゴザイマス、終リニ一言申上ゲテ置キタイコトハ、金融制度ノ整備改善ヲ爲サントシ、金融機關ノ全般ニ互ニ其改善策ヲ研究スルコトヲ要シマシテ、隨テ普通銀行制度ノ改善モ亦其他ノ制度ノ整備改善ト相俟テ、初メテ完備セシムルコトヲ得ルノデアリマスルガ、是等各種事項ニ關スル成案ノ完了スルヲ待テ、初メテ同時ニ總テノ方策ヲ確立セント致シマスルナラバ、最モ急務ヲ要スルモノト云ヒマシテモ、長ク其實行ノ期ヲ得ザルヲ慮リマス、仍テ政府ハ緊急ヲ要シ、且ツ是ガ分難實行スルモ支障ナキモノハ其成案ヲ得ルニ從ヒマシテ、順次提出スル心算デアリマス、此法案ヲ提出致シマシタルモノ、此趣旨ニ係ルニ外ナラナイノデアリマス、次ニ現行ノ貯蓄銀行法、農工銀行法及北海道拓殖銀行法中ニハ、銀行條例ノ規定ヲ引用シタルモノガゴザイマスルガ故ニ、此點ニ付テ銀行法ノ制定ニ付キマシテ、是等ノ法律中改正ヲ要シマスルヲ以テ、之ニ關シテ貯蓄銀行法以下三法律案中改正案ヲ提出シタル次第デゴザイマス、尙ホ營業收益稅法ノ制定ニ付キマシテ、貯蓄銀行法ノ規定中、字句ノ改正ヲ要スル廉ニ付テモ併セテ提案シタル次第デゴザイマス、何卒



御審議ノ上速ニ御協賛アランコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 日程第九ニ付テ一 本田政府委員

(政府委員本田恆之君登壇)

○政府委員(本田恆之君) 非訟事件手続法中改正法律案ノ提出理由ヲ御説明申上デマス、今回銀行法ノ制定ニ依リマシテ、銀行ノ清算事務ハ裁判所ノ監督ニ屬スルコトニ規定ガナリテ居リマスカラ、右監督ニ任ジマスル裁判所ノ管轄、其他之ニ必要ナル所ノ規定ヲ設クル必要ガアルノデアリマス、非訟事件手続法中ニ、右銀行法改正ノ結果トシテ當然ナクレバナラヌ規定ヲ設ケマシタ次第デゴザイマス、宜シク御審議御協賛ヲ願ヒマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ質疑ヲ許シマス、神崎勳君

(神崎勳君登壇)

○神崎勳君 只今付議サレテ居リマス所ノ銀行法ニ付キマシテ、少シク政府ノ御趣意ノアル所ヲ伺ヒテ見ヤウト思フノデアリマス、近來ノ金融機關ニ於ケル銀行ナルモノハ、如何ニカシテ改善シナクレバナラナイト申シマス所以ノモノハ、是ハ國民ノ聲デアリマス、政府ハ茲ニ見ル所ガアリマシテ、先般來種々御調査ヲ遂ゲラレマシテ、本日は提案ヲ見マシタコトハ、最モ時宜ニ適シタ所ノモノト考ヘルノデアリマス、併シ一般國民ノ如何ニカシテ銀行ヲ改善シナクレバナラナイト云フ希望ヲ、此法案ニ於キマシテ達スルコトガ出來ルデアリマセウカ、本月初メテ拜見致シマシタノデアリマスカラシテ、速斷シテ如何デアルト云フコトハ、或ハ間違タ申分カモ知レナイノデアリマスガ、併シザツト讀ンデ見マシタ所、一般國民ノ期待ニ副ウテ居ラナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、一般金融事業ニ從事シテ居リマス所ノ者、若クハ一般國民ノ、銀行ノ改善ヲ叫ビ居ル所ノ者ハ、ドンナモノデアアルカト申シマシタナラバ、現在ノ銀行ヲシテ眞ニ産業ノ機關タラシメ、若クハ現在ノ銀行ヲシテ一

層信用アラシムルト云フコトガ希望デアアルノデアリマス、然ルニ本案ヲ拜讀致シマシテモ、只今又大藏大臣ノ御説明ヲ拜聽シマシテモ、政府ニ於キマシテハ、唯、單ニ監督ヲ嚴重ニサレルト云フ外更ニ見ル所ハナイト思フノデアリマス、政府ノ監督ヲ嚴重ニスルト云フコトノミデアリマシテ、銀行ノ健全ナル發達ヲ求ムルコトハ決シテ出來ナイノデアリマス、政府ノ提案サレマシタ所ノ御趣意ハ、唯、單ニ彼ノ破綻セントスル銀行ノミヲ見テ、本案ヲ提出サレタモノデアリハシマイカト思フノデアリマス、今回提案サレマシタ法律ト、前ノ銀行條例トヲ比ベテ見マシテ、銀行ヲ育テル所ノモノハ何一ツモ區別ハナイト思フノデアリマス、一體銀行ノ健全ナル發達ヲ希望スル所ハ如何ナルモノデアリマセウカ、産業ノ機關トナル所ノモノハ如何ナルモノデアアルカト申シマシタナラバ、申上ゲルマデモナク金利ノ引下ナケレバナラヌト思フノデアリマス、金利ノ引下ハ近來中央ニ於テ行ハレテ居ルノデアリマス、地方ニハ只一厘モ影響シテ居ラナイノデアリマス、金利ノ引下ガ行ハレナクカッタナラバ、確ニ銀行ノ健全ナル發達ヲ期スルコトガ出來マセウカ、併シ金利ノ引下ナルモノニ於キマシテハ、銀行ガ損失ヲ受ケルノデアリマスカラ、容易ニ實行ガ出來ナイノデアリマスカラ、若モ政府ガ之ヲ實行サレヤウト致シマシタナラバ、銀行ノ優遇スルト云フ途ヲ講ジナカッタナラバ、其目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、優遇トハ如何ナルモノデアリマセウカ、今日地方ノ小銀行ニ於キマシテハ、銀行ハ其負擔ニ非常ニ苦シク居ルノデアリマス、是ハ大藏省ガ疾ニ御承知デナケレバナラナイト思フノデアリマス、地方ニハ到處ニ産業組合若クハ信用組合ノ如キモノガアリマシテ、是ハ全クノ無稅デアリマス、此間ニ立チマシテ五十萬圓若クハ百萬圓ノ銀行ガ、ドウシテ金利ノ引下ガ出來ルデアリマセウカ、若モ政府ガ銀行ノ健全ナル發達ヲ致サウト思ヒマスナラバ、銀行ノ優遇ト云フコトニナケレバナラヌト思フノ

デアリマス、又銀行ヲシテ眞ニ産業機關ト致サウト思ヒマスナラバ、銀行ノ金利ノ引上ト云フコトデナカッタナラバ、何モ得ル所ハナイト思フノデアリマス、私ガ改メテ政府ニ御尋シタイト申シマスノハ、政府ニ於キマシテハ最高ノ金利ニ於キマシテ決定ハ出來ナイデアリマセウカ、近來ハ高利貸ト云フヤウナ方面ヲ見マシテモ、澤山ノ高利ヲ取リテ居ルノデアリマスカラ致シマシテ、若モ政府ガ之ヲ徹底的ニヤルヲ致シマスルニハ、金利ノ公定ト云フコトヲ定ムルト同時ニ、又幾多ノ優遇ヲ講ジナケレバナラナイト思フノデアリマス、斯ノ如キニ出デナカッタナラバ、眞ニ銀行ノ健全ナル發達ハ出來ヌノデアリマス、ソレカラ又第二ハ銀行ノ信用ナル所ノモノハ如何デアリマセウ、唯、單ニ政府ノ御取締ヲ嚴重ニスルノデアリマセウカ、ソレデハ地方ノ銀行ニハ預金ハ集ラズシテ、中央ノ支店銀行ニ悉ク集テシマフノデアリマス、我ガ福國縣ノ如キニ於キマシテモ、二三千萬圓ト云フ銀行ガアルノデアリマスガ、預金ハ悉ク中央ノ支店銀行ニ集テ居ルノデアリマス、是ハ如何ナル譯カト云ヒマスレバ、地方ノ銀行ニハ信用ガナイノデアリマス、信用ガナイノデアリカラ、中央カラ出張所若クハ支店ヲ出シタモノニ悉ク集テシマフノデアリマス、政府ハ此點ニ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、政府ガ小サナ銀行ノ取付ノ時分ニ斯ウ云フコトヲスル、此銀行ニハ斯ウ云フ程度マデハ補助スルト云フヤウナ、何か其處ニ補助ヲ講ジナカッタナラバ、地方ノ小サイ銀行ニハ預金ガ集ラヌノデアリマス、斯ノ如キコトヲセズシテ、唯、三十萬圓五十萬圓ノ銀行ヲ百萬圓以上ト致シマシテ、何ノ得ル所ガアリマセウカ、三十萬圓五十萬圓ノ銀行ガ、百萬圓以上ト致シマシテ、ラト申シマシテ、ソレガ健全ニナルト云フコトハ何處ニモ見ルコトハ出來ナイノデアリマス、我ガ九州方面ニ於キマシテモ、百萬圓、五百萬圓ト云フヤウナ銀行ハ多々減

亡サレテ居ルノデアリマス、單ニ銀行ガ百萬圓以上ノ銀行ニサレタナラバ、銀行ハ安全デアラウト云フヤウナコトハ、全ク實際ノ銀行業ニ通ジナイ、私ハ詰ラナイ議論デアリハシマイカト思フノデアリマス、政府ハ尙ホ進ンデ地方銀行ノ信用ノ高マルヤウニ、政府ガ如何ノ方法ニ依リマシテ之ヲ保證スルコト及銀行ノ優遇致シマシテ金利ノ高低ヲ決メルコト、此二ツニ付テノ御意見ガ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ又此法案ニ付テ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、銀行ノ定義ト云フコトガ第一條ニ在ルノデアリマスガ、第一條ニ預金ノ受入ト金錢ノ貸付ヲ銀行業ト看做スト云フコトニナリテ居ル、是ハ私ハ海ニ困リタ問題デアラウト思フノデアリマス、預金ノ受入ト金ヲ貸スト云フコトハ、普通ノ人ガ常ニヤツテ居ルノデアリマス、之ヲ銀行ト看做スト云フコトニナリマシタナラバ、如何ナルモノデアリマセウカ、併シ之ヲ銀行ト看做シマシテモ罰金ガナカッタナラバ宜イノデアリマスガ、第三十三條ニ於キマシテ、銀行ノ認可ヲ得ズ致シテ銀行業ヲ行シタモノハ、五千圓以下ノ罰金ニ處スルト云フ規定ガアルノデアリマス、此第一條ノ一號カラ見マシタナラバ、人ノ金ヲ預タ、若クハ貸シタト云フコトニナリマシタナラバ、如何ナル者ニ於キマシテモ、五千圓以下ノ罰金ニ處セラレルト云フコトニナルノデアリマス、銀行業ト云フモノハ斯ノ如キ單純ナモノデハナカラウト思フノデアリマス、唯、人カラ金ヲ預リマシテ、人ニ金ヲ貸シタト云フヤウナモノガ銀行デアリマセウカ、モト銀行ニ於キマシテハ、錯綜セル所ノ仕事ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、此第一條ニ依リマシタナラバ、五千圓以下ノ罰金ヲ受クル所ノモノハ非常ニ澤山ニナルノデアリマス、政府ハ如何ナル御考デアリマセウカ、之ニ付テ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、ソレカラ次ハ又二十三條デアリマス、是モ非常ニ問題デアリマス、從來ノ銀行ニ於キマシテ、定款ナドト云フモノハ僅ナコトデモ定款ヲ犯スコトガアルノデア

官報號外 昭和二年二月十六日 衆議院議事速記録第十三 銀行法案外四件 第一讀會

リマス、政府が御承知ノヤウニ定款ト云フモノハ極ク澤山ノ簡條ガアリマシテ、銀行家ガ定款ヲ犯スト云フコトハ常ニアルコトデアリガ、若モ定款ヲ犯シタラバ、營業ノ免許ヲ取上ゲルト云フ規定ガアルノデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ銀行業ハ安シクテスルコトガ出來ルノデアリマセウカ、銀行業ヲ管ムト云フコトハ容易デナイノデアリマス、僅ニ定款ノ一部ヲ犯シタト云フ廉ヲ以テマシテ、營業ヲ停止スルト云フヤウナ權力ヲ政府ガ持テ居リマシタラバ、多少考ノアル者デアラナラバ、銀行ニ寄付ク者ハナイノデアリマス、政府ハ如何ナル考カラ、斯ノ如キ過重ナル法ヲ御設ケニナルノデアリマセウカ、之ヲ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、ソレカラ又二十五條ニ於キマシテハ、解散ノ場合ニハ政府ノ認可ヲ受ケナケレバナラナイ、是非非常ニ私ハ困タ問題ト思フノデアリマス、銀行ヲ設立スル場合ニハドンナモノデアリマセウカ、營業期間ノナイト云フ銀行ハ天下ニ只一ツモノナイノデアリマス、銀行ヲ設立スル場合ニ於キマシテハ、必ズヤ年限ガ附シテアルノデアリマス、十年若クハ二十年、十年若クハ二十年ニ於キマシテ營業シヤウト云フコトガ、最初ノ出發ノ際ニ定メテアルノニ、其場合ニ於キマシテ、政府ガ認可セナカクナラバドウナルノデアリマセウカ、政府ハ如何ナル御考デスウ云フヤウナコトヲ御規定ニナタナラバデアリマセウカ、如何ナル銀行デモ存續期間ノナイモノハナイノデアリマス、然ルニ今度ノ此法案ニ於キマシテ、銀行ノ解散ナルモノハ政府ノ認可ヲ受ケネバナラヌト云フコトニナリマス、全ク銀行ハ行詰テシマウノデアリマス、斯ノ如キ點ニ付キマシテ、ドウカ政府ハ御意見ノアル所ヲ御述ヲ願ヒタイノデアリマス

〔國務大臣片岡直温君登壇〕

○國務大臣(片岡直温君) 只今ノ御質問ハ數箇條ニ分レタノデアリマス、銀行ノ改善ヲ要求シテ居ルガ、地方銀行ノ信用ヲ高メ且ツ維持スルヤウナ優遇ノ方法ガナク

レバ、改善ノ目的ヲ達シ難イト云フコトガ第一ノ御質問デアッタカト存ジマス、是ガ爲ニハ政府ガ或ル程度ノ保證ヲ爲セバ頗ル宜イガト云フ御言葉モアッタノデアリマス、政府ガ何ノ事業デモ保證ヲスルト云フリマセウカ、又他面ニハ唯、依頼心ヲ起シテ確乎不拔ノ所信ヲ以テ業務ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ、自ラ沮喪スルノデアリマセウカ、銀行ノ如キモノモ或ル程度ノ保證ヲ與ヘルト云フコトハ、別種ノ特殊ノ法律ヲ設ケマシタ場合ハ免モ角、今日ニ於テモ非常ニ多クイ銀行ニ向テ、左様ナコトノ實際行ハルベキモノデモナシ、又スベキモノデモナイ、併ナガラ銀行業務ハ信用ヲ以テ立タナケレバナラヌノデアリマス、ソレ故ニ今度ノ改正ニ於キマシテモ、餘リニ資本ノ小サイモノノハ信用ヲ得且ツ之ヲ維持スルコトガ困難デアリマスカラ、資本金ニ對シテ相當ノ制限ヲ置ク、併ナガラ其制限ヲ直ニ實行セラレテハ中々困難ナ場合ガアルノデアリマスカラ、茲ニ相當ノ猶豫期間ガ置イテアリマス、或ハ積立金ヲ増サセル、是モ法規ヲ以テ強ユルト云フガ如キコトモ、信用ヲ厚カラシメント欲スル趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、或ハ銀行ノ常務ニ從事スル者ハ、成ベク銀行本位ニ一身ヲ處シテ賞ヒタイ、他業ヲ兼テ所謂萬屋式ヲヤルト云フコトヲ矯正シタイト云フコトモ此法ノ精神、即チ信用ヲ高メヤウト云フノデアリマス、併ナガラ地方ノ狀況必シモ一樣ナラズ、サウ本業務ニ對シテ適當ナ人が餘リアルト云フ状態デモナイト存ジマスカラ、處ニ依テハ取除法ヲ設ケテ置カナケレバ實際上ニ差支ガ起ルト存ジマシタカラシテ、左様ナ場合ニ於テ、銀行ノ常務ハ他ノ會社ノ常務ヲ兼ルト云フ場合ニハ特ニ大藏大臣ノ認可ヲ要スト、斯ウ云フヤウニ致シタイ、是モ亦信用ヲ高メル所以デアリマス、又地方ノ預金中央ニ吸收セラル、畢竟信用ガナイカラデアアル、是ハ仰セノ通りデアリマス、是ハ成ベク地方ノ預金ハ、其地方ニ融通セラレルヤウニナリタイモノト思フテ居リマス、

甚シキニ至テハ、數年來其一府縣ノ預金ノ半分以上ハ、他地方ニ持出サレテ居ルト云フヤウナ土地サヘルノデアリマス、又甚シキニ至テハ、其地方ニハ本店ヲ有スル銀行ガナクシテ、各地ノ支店バカリデアアル、斯ウ云フ譯デアルカラ、其地方ノ預金ナルモノハ支店ニ依テ吸收セラレテ、其處デ投資セラレズシテ本店へ行キ、他ノ支店ニ行クト云フヤウナコトニナルノデアリマス、是ハ漸次矯正シタイト思フノデアリマス、是ハ唯、理窟デハ行カナイノデアリマス、法規デ以テ左様ナコトヲスルト云フコトハ、是ハ出來ナイ、政府モ其積リニナリ、其地方ノ人モ亦其積リニナテ、サウシテ本店ヲ有スル銀行ガ無イヤウナ所ニハ、本店ヲ一他ノ本店ノ多イ所ノモノヲ移轉セシムルトカ、或ハ其地方ニ於テ合同シテ相當ノ資力ヲ有スル銀行ヲ作ルトカト云フコトニシナケレバナラヌト思ヒマス、是ガ即チ信用ヲ得セシムル方策デアッテ、法規ノ外ニ斯様ナ手段ヲ以テ地方ノ發達ヲ期セナケレバナラヌト存ズルコトハ、マダ外ニモ澤山アリマス、而シテモウ一ツノ御意見トシテ、金利ヲ引上ゲナケレバ、銀行ノ立ツ瀬ガナイ、是ハ私ガ聽違ヒデアッタカモ知レマセヌ、聽違ヒデアルトスレバ、御話スルコトガ自ラ間違ヒマスガ、併シ私ハ左様ニ承クノデアリマス、金利モ矢張金融ノ極ク緩慢ナル時ニ下リ、梗塞スル時ニ上ルノデアリマシテ、此高低ハ其地方ノ商取引、産業ノ状態ニ依テ變遷ヲスルモノデアアル、是ハ自然デアリマス、其自原ノ原則ヲ外シテ、法規デ以テ一定スルト云フガ如キコトハ、私ハ却テ宜シキヲ得テ居ラヌト思フノデアリマス、モウ一ツ政府ハ監督サヘスレバソレ良クナルモノト思ウテ居ルヤウデアアルト云フ御言葉モアッタヤウデアリマスガ、固ヨリ監督モ今日ノ所デハ必要デアリマス、監督ノ不行届ノ所カラ十分ニ預金者等ヲ保護シ能ハザル憾ミモアルノデアリマス、ソレ等ノモノハ豫算ノ御協賛ニ依テ補フコトガ出來マスガ、是ダケヲヤリサヘスレバ宜イト云フヤウニ

考ヘテ居ルト仰セラレマスノハ、大キナ間違デアッテ、是ハ法文ノ全體ヲ御讀ミ下サリ、私ガ先刻此所デ御說明申上ゲタ所ヲ御斟酌下サレ、尙且ツ他ノ金融機關モソレゾレ相當ニ充實ヲ圖ラナケレバイカヌ、ソレニ對シテハ既ニ機關ヲ持ヘテ其順序ヲ履ミツ、アル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ所ト對照シテ御考慮下サイマシタラバ、監督サヘ嚴ニスレバ宜イト云フ趣旨デアリマス、ソレカラ次ニ解散ノ場合ニ於テ認可ヲ受ケナケレバナラヌ、是非非常ニ困ルト云フコトデアリマス、此解散ノ場合ニ於テ認可ヲ要スルト云フコトハ、銀行ガ例ヘバ少々前ニナテ來テ、面倒デアルト思フタ時ニ、預金者其他ノ方ニ對シテ相當ノ義務ヲ果サズシテ、解散サヘスレバ總テノ法規ノ制裁ヲ免レルト云フ手段ニ陥ルヤウナコトニ致シマシテハ、ソレコソ非常ニ地方ノ迷惑デアリマシテ、今日ノ一番困難ヲスル所ノモノハ、此預金者ガ銀行ノ取附其他ノ爲ニ營業停止トナリ、預金者ニ損失ヲ掛ケルト云フガ如キコトハ、屢々見テ居ルコトデアリマス、此預金者等ヲ澤山持テ居ルコトデアリマス、此漸次隨意ニ支拂ヲスレバ宜シト云フテ、監督モ指揮モ受ケナクシテ、自由ニ爲スト云フガ如キコトヲ許ス譯ニハ決シテ、參ラヌト思フ、是ハ矢張總テノ義務ノ決濟ノ濟ムマデノ間ハ、相當ノ監督ヲシテ行カナケレバナラヌ、其監督ヲスルノ必要アリヤ否ヤト云フコトヲ認メル爲ニハ、勝手ヲ許サヌヤウニシテ、認可權ヲ持テ居ルト云フコトノ必要ガアルト存ジマス

○議長(粕谷義三君) 次ハ原夫次郎君

〔原夫次郎君登壇〕

○原夫次郎君 只今上程セラレタル法案ハ幾ツモアッテ、中々大問題ガ之ニ伏在致シテ居ルノデアリマス、就テハ巨細ナ點ハ何レ委員會デ御尋致シタイト考ヘルノデアリマスガ、先ツ主ナル所ダケヲ一點ダケ御尋致シタイト思フノデアリマス、此銀行條例ヲ廢止致シテ、茲ニ銀行法ヲ制定シヤウト云フ政府ノ提案ハ、大體先程來大藏大臣ノ

提案ノ理由ニ依テ、又質問應答ニ依テ略推測ガ出来タノデアリマスガ、從來此銀行ハ金融機關ニ任ジテ、随分預金者ニ迷惑ヲ掛ケテ居ルコトモ公知ノ事實デアアル、大藏省ハ之ニ向テ、不斷ノ努力ヲ拂ヒ、是ガ検査ヲ爲シ、一般預金者ニ迷惑ヲ掛ケナイト云フ心持ハ、誠ニ當然ノ事デアアルノデアリマス、本年度ノ豫算ニ於キマシテモ、吾ハ銀行検査ニ關スル増額ニ協賛致シタノデアリマスガ、從來大藏當局ノ遣方ハ、銀行ヲ検査スルト云フコトニ付テ、色々世間ニ非難ガアルコトヲ吾々ハ耳ニ致シテ居ル、例ヘバ或ル黨派關係ノ激烈ナル地方ニ在リマシテ、甲ノ銀行ヲ検査セズシテ、乙ノ銀行ヲ検査スル、或ハ時期ヲ擇ンデ、或ハ時期ニ検査ヲセズシテ、非常ニ切迫致シテ居ル年末ニ是ガ検査ヲ爲ストカ、色々手加減ヲ加ヘルガ爲ニ、銀行業者ヲシテ非常ニ迷惑ヲ感ゼシムルノミナラズ、又地方預金者ノ非常ナル騷ギヲ捲起ス、斯ウ云フヤウナ實例モ耳ニ致シテ居ルノデアリマスガ、是等ハ人ニ依テ制度ガ運用セラレルノデアリマスカラ、之ヲ彼此レ今此處デ申スノデアリマセヌケレドモ、今般御提案ニナツテ居ル銀行法ノ刑罰法規ノ所ヲ見ルト云フト、三十四條ニハ銀行業務ノ報告書又ハ監査書ノ不實ノ記載ガアルトカ、或ハ虛偽ノ公告トカ、其他ノ方法ニ依テ偽ヲ書イテアルト云フ場合、竝ニ本法ニ依テ検査ノ際ニ帳簿書類ヲ隱蔽シタトカ、或ハ不實ノ申立ヲ致シタトカ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ、茲ニ取締役トカ、監査役、支配人、其他ノ代表者ヲ一年以下ノ懲役トカ、或ハ千圓以下ノ罰金ニ處スルト云フ、エライ大キナ刑罰法規ガ茲ニ制定セラレテ居ルノデアリマス、所ガ其前條ヲ見マスト、主務大臣ノ免許ヲ受ケナイデ銀行業ヲ營ンダ者ハ、僅ニ五千圓以下ノ罰金ニ處スル、免許ヲ受ケナイデ營業ヲ致シタル所ノ者ハ、五千圓ノ罰金ニ處セラレ、然ルニ唯、考課狀ヲ偽ラシタトカ、或ハ營業ノ内部ノ事ヲ書キ損タトカ、或ハ故意ニ無諱誇張ヲ致シタ報告ヲシタトカ云フヤウナコトニ

依テ、片ノ端カラ支配人デモ取締役デモ一年以下ノ懲役ニ處セラレト云フ規定ヲ設ケルト云フコトハ、現在ノ商法ノ規定ヲ見マシテモ、又刑法ノ方面ヲ見マシテモ、斯ル重大ナル罰則制裁ヲ以テ全國ノ銀行ニ臨ムト云フヤウナ必要ハ、何處ニ存スルノデアリマスカ、從來ノ検査ノ遣方ニ依テ、斯ル罰則ヲ設ケナケレバナラナイト云フ、何處ニ必要ガアルノデアアルカ、餘リニ是ハ他ノ法規ト飛離レタ、大キナ刑罰制裁ヲ以テ銀行業者ニ臨ムト云フ點ハ、他ノ法規ト權衡ガ取レナイデヤナイカ、如何ナル必要ガアルノデアアルカ、此點ニ向テ政府當局ノ御說明ヲ願フテ置キマス、尚ホ細カイ點ハ委員會デ御尋スルコトニ致シマス(拍手)

○國務大臣(片岡直温君) 只今ノ原君ノ御質疑ニ御答申上ゲマスガ、實ハ法律論ハ私ヨリモ原君ノ方ガズト上手デアアル、私ハ餘リ法律ニハ精シクハアリマセヌガ、併シ銀行業其モノハ他ノ一般ノ經營事業ト同一ニ視ルベキモノデナイト云フコトダケハ、是ハ原君モ御異論ハアルマイト思フ、ソレカラ隨分検査ヲ行ヒマス場合ニ於テ、或ハ帳面ヲ別ニ拵ヘテ置イテソレデ検査ヲ濟シテ、他ノ犯罪事項カラ家宅搜查ノ結果、本當ノ帳面ガ出テ来ルナドト云フ程ニ、謀テ以テ惡イ事ヲスル者スラアルノデアリマス、今此處デ御述ニナリマシタヤウト云フガ如キモノヲ、片ノ端カラ取押ヘテ以テ罰スルナドト云フコトハ、他ノ法律ノ規定ノ場合デモ恐ラクアリマス、此銀行法ニ於キマシテモ、サウ實際ヲ離レタ事ハ致サズ積リデアリマス、併ナガラ是ハ仰セノ通り、委員會ニ於テ篤ト御意見モ拜聴致シマセウシ、立案ノ趣旨モ篤ト申上ゲタイト思ヒマス(拍手)

○議長(相谷義三君) 次ハ森田金藏君(森田金藏君登壇)  
○森田金藏君 只今上程ニナツテ居リマス銀行法案ニ付キマシテ、極ク簡單ニ大藏大臣ニ御尋シテ置キタイト思フノデアリマス、今大臣ガ提案ノ說明中ニモ是ハ準備調査ヲ餘程シタモノデアアル、各調査委員ニ諮問シテ之ヲ出シタモノデアアル、又銀行ノ數、或ハ從來ノ通弊ヲ改善スル方法トシテ、以前ノ銀行條例ヲ廢メテ此銀行法案ヲ提出シタト云フ御說明デアリマシタガ、私共ノ見ル所ニ依リマスト、是ハ主客顛倒シテ居ル所ノ法案デハナカラウカト思フノデアリマス、其理由ハ第三條ニ「銀行業ハ資本百圓以上ノ株式會社ニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ」斯ウ定メテアルノデアリマス、銀行ハ株式會社ガ百圓以上デナケレバナラヌ、金ニ制限シテサウシテ信用ガ保テルト御考ニナツテ居ルノデアリマセウカ、私共ノ見ル所ハ資本ガ多イカラト云フ決シテ信用ヲ増スベキモノデハナイ、五十一議會ニモ御承知ノ如ク、朝鮮銀行或ハ臺灣銀行ト云フヤウナ、大資本ヲ擁シテ居ル銀行ハ、國民ニ一億二千萬圓モ戻拭ヒテサセルヤウナ結果ヲ來シタノデアリマス、(拍手) 故ニ資本金ノ大ナルヲ以テ信用ノ基本トスルト云フコトハ非常ニ間違デハナカラウカ、私共ノ見ル所デハ是ハ人物ニ基本ヲ置カナケレバナラヌト思フ、殊ニ百萬圓ト云フ銀行ハ、都會デハモウ小銀行デアアルケレドモ、地方デハ是ハ大銀行ニナル、地方デ産業ヲ實際助ケテ居ルモノハ小銀行デハナカラウカ、其小銀行ハ地方ニ於ケル其人ノ人格及資産、又在來ノ爲シ來テ所ノ其行ヒニ依テ多クノ人ガ之ヲ信用シテ、サウシテ又貸スノモ對人信用デアアル、小資本ヲ小サナ營業者或ハ工業者、或ハ農業者ニ融通スルコトガ産業ヲシテ最も多クノ人ノ力ニ依テ發達セシムル所ノ大ナル原因ヲ成シテ居ルモノデハナカラウカト思フ、故ニ私ハ此百萬圓以上ト制限サレトコトハ、金ノ多キヲ以テシテ居ルノデアリマシテ、人物其者ヲ見ナイ、即チ人格ヲ認メナイ所ノ法律案デアアルカラ、主客顛倒シテ居ルト私ハ考ヘルノデアリマス、大臣ハ其邊ニ付テ如何ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、私共ノ多少知ツテ居ル所ニ依レバ、地方ニ於テハ十萬、二十萬、三十萬ト云フヤウナ小資本ヲ擁シ

テ堅實ニ營業ヲ爲シテ居ル銀行ハ、餘リ破綻ヲシタ例ガ少イ、所ガ地方デ百萬圓以上ニナツタヤウナ銀行ガ多ク破綻シテ居ル例ガ多クアルノデアリマス、私ハ資本ト云フモノハ大キクナクテモ、健實ナ遣方デ、健實ナ人格者ガ營業ヲスルナラバ、之ヲ許サヌト云フヤウナ事ヲ法律デ定メルト云フコトハ、今日ノ人心ヲ善導シテ行ク上カラ云フテモ、是ハ主客顛倒シテ居ル所ノ法案デハナイカト思フノデアリマス、丁度私ガ考ヘテ見マスノニ、御承知ノ如ク加奈陀「サン」生命ノ如キモノハ、永イ履歷ヲ持テハ居リマスケレドモ、元ト六十萬圓ノ資本金デアアル、今日ハ幾億ノ資産ヲ持テ、信用ヲ唯、加奈陀ダケデハナイ、全世界ニ及ボシテ居ルノデアアル、ソレハドウ云フ事デアアルカ、加奈陀政府ガ之ヲ宜シキニ適フ保護ヲ加ヘ、歴代ノ保險會社ノ社長其人ガ人格者ガ之ニ居ル爲ニ、即チ斯ノ如キ結果ヲ成シテ居ル、法律ヲ以テ資本ヲ定メテシマフト云フヤウナ事ハ、非常ニ間違タ考デハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、地方ノ産業ヲ考ヘル時ニハ、斯ノ如キ事ヲ以テ制限ヲシテ法律ニ定メルト云フコトハイケンナイ、寧ロ人格ヲ認メテ、相當ナル人ガ相當ナル事ヲ爲スト云フコトニ御監督ナルコトガ、本當ノ銀行ヲシテ發達セシムル方法デアリマスマイカ、大臣ハ此邊ニ付テ如何ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、私ノ見ル所デハドウシテモ是ハ却テ地方銀行ニ大キナ資本ヲ無理ニ持タセヤウトシマス、或ハ地方ニハ株ヲ多ク持ッタ人ガ矢張何處デモ同ジコトデ、重役ニナリタガリマスカラ、其弊ヲ起シテ要ラザル澤山ナ人ヲ使フテ、或ハ調査、或ハ色々ナ名ヲ附ケテ、ソレガ爲ニ弊害ヲ醸シテ、遂ニハ破綻ヲ多クナラシメルヤウナ虞ガアルト思フノデアリマス、ドウカ之ニ付テ御明答ヲ願ヒタイ、人間ヲ無視シテ資本ヲ重ズルト云フコトハ非常ニ間違デアル

○國務大臣(片岡直温君) 只今ノ森田君ノ御質疑ニ御答申上ゲマス、此銀行法案ナ

○國務大臣(片岡直温君) 只今ノ森田君ノ御質疑ニ御答申上ゲマス、此銀行法案ナ

○國務大臣(片岡直温君) 只今ノ森田君ノ御質疑ニ御答申上ゲマス、此銀行法案ナ

ルモノハ主客顛倒致シテ居ル、其理由ハ資本ニ制限ヲ致シテ人格ヲ無視シテ居ル、寧ろ人格ノ方ガ先デナクテヤナラヌ、資本ハ決シテ大ナルヲ要セヌ、此御趣旨ノ下ニ御質疑ヲ蒙ラナクテアリマスガ、大體ノ精神ハ私モ森田君ト違ヒマセヌ、人格ノ重ンズベク、人間ヲ選バナクテレバ何事ヲシテモ宜シキヲ得ナイト云フコトハ、單リ銀行バカリデナイ、何ノ事業デモ皆然リデアリマス、單リ事業バカリデアリマス、役人ニシテモ亦然リデアリマセウ、併ナガラ法規ノ上デ如何ナル人間ガ人格ヲ有スルカト云フガ如キ定メ方ハ、私ハ作ラウトモ考ヘテ見マセヌガ、中々作り惡イモノデアルト思フ、現ニ人間ヲ專業ニ從事セシメナクレバイカストシテ、銀行ノ常務ニ從事スル者ハ他ノ事業ヲ兼ルコトヲ得ズ、他ノ事業ノ常務ヲ兼ルナクテレバナラヌ場合ニ於テハ、大藏大臣ノ認可ヲ要スル、即チ人間ニ重キヲ置イテ居ルコトハ此處ニ現レテ居ル筈デアリマス、決シテ主客顛倒デアリマセヌ、ソレカラ資本ハ勘定ノ外ニ置イテ宜シイ、少クテモ宜シイト云フ御話デアリマスガ、銀行ハ固ヨリ信用ヲ以テ立ツモノデアリマシテ、人間モ信用ノ一ツデアリマ

生命デアリマシタカ、其他ノ生命保險ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、生命保險ト銀行トハ少シ違ヒマス、生命保險ハ保險料其モノニ既ニ豫定利率ト云フモノガ定メテアル、其豫定利率ヲ包含シタモノガ保險料トナツテ居ル、ソレ故ニ營業費ノ範圍ヲ超サヌヤウニ、眞ニ慎重ニ一寸刻ミニ行キマスレバ、大キクナルト云フコトハ自然デアリマス、唯、皆遣リ損フノハ、一足飛ニ早ク成功シヤウト云フ所ニ過チヲ生ジテ居ルノデアリマス、銀行業ノ如キモ御説ノヤウニ、大資本ヲ拵ヘテ俄ニ勸誘シタモノハ失敗ガ比較的多イ、是モ事實デアリマス、ソレハ成功ヲ焦セルカラデアリマス、凡ソ物事ハ順序ノアルモノデアリマシテ、一足飛ニ成功シタモノハソコニ無理ガ起ル、其無理ガ必ラズ破綻ノ因ニナルト云フコトハ、是ハ何ノ業デモ同ジコトデアリマス、故ニ別ニ主客顛倒モ致シテ居ラズ、森田君ノ御趣旨ハ之ニ含マツテ居ルモノト御承知下サツテ宜シイノデアリマス(拍手)

○森田金藏君 簡單デアリマスカラ此席カラ一言申シテ置キタイト思ヒマス——今大藏大臣ハ主客顛倒ト云フコトヲ非常ニ重ク仰シヤイマシタガ、此所ニ第三條ニ百万圓以上トハキリ定メテアリマスカラ、地方ノ狀況ニ依リテハ、或ハ之ヲ少クスルト云フ御考ハナイカト云フコトヲ敷衍スル爲ニ申上ダタノデアリマス、デアリマスカラ、此問題ニ付テハ必ラズ百万圓以上デナクテバ許サヌト云フ御考デアアルカ、ナイカト云フコトヲ伺フテ置ケバ、又委員會ニ於テ質問ノ仕様がアラウト思ヒマス

要ガアリマス、併ナガラ之ヲ急激ニ履行致サウト云フコトハ、又ソコニ無理ガ起リマスカラ、相當ノ猶豫期間ガ與ヘテアリマス、新ニ許可ヲ得ントスルモノニ向ツテハ、此法規ノ命ズル以外ニハ許サヌ積リデアリマス

ガ、斯ウ云フ點ニ付テハ大藏當局ハ如何ナル御考ヲ持テ居ラレルカ、伺テ置キタイ、是ガ私ノ御尋スル趣旨デアリマス、ト云フノハ今申ス如ク、此貯蓄銀行ガ今日迄全國ノ國民ヲ騙カシテ、非常ナ損害ヲ與ヘテ、是ガ爲二十年二十年ト云フ間苦心シテ貯蓄ヲシテ、サウシテ子孫ノ爲ニマダ現在生活シテ居ル非常ナ場合ノ貯蓄ハ全然倒サレテシマッタト云フヤウナ事柄ハ、實ニ此社會問題ノ大ナルモノデアリマスルカラ、是等ノ點ニ付テ大藏當局ハドウ御考ヘニナシテ居ルカ、此機會ニ承テ置キタイノデアリマス、仍テ本員ハ右様ノ趣旨ニ於テ此法律ヲ如何ニ作リマシテモ、其精神ガ惡イ結果ヲ齎スヤウデハ、折角法律ノ改正ヲ致シテモ、其效果ハ何モノナト信ジマスガ故ニ、敢テ御尋スル次第デアリマス

〔國務大臣片岡直温君登壇〕

○國務大臣(片岡直温君) 只今ノ田崎君ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、從來出張所トカ、代理店トカ云フモノヲ其銀行ノ自由ニ任セ過ギテ、今日ハ種々ノ弊害ヲ見テ居リマス、ソレ故ニ是等ノ弊害ヲ矯正センガ爲ニ、現在ノ代理店ノ如キモノノ尙ホ繼續シテ行カウト云フ積リデアレバ、一年以内ニ認可ヲ得ナケレバナリマセヌ、新ニ設ケマスル場合ニ於テモ認可ヲ得ナケレバナラヌノデアリマス、是ハ御尋ノ趣旨ト同ジ精神ヲ以テ從來ノ弊害ヲ矯正シヤウト云フ精神ニ外ナリマセヌ

○田崎信藏君 簡單デアリマスカラ此處カラ——只今大藏大臣ノ御答辯ヲ承ルト、本員ノ質問致シマシタ趣旨ト、政府當局ノ御提案ノ法律ノ趣旨ト合致シテ居ルト云フコトデアリマス、私ノ御尋シマシタ次ノ問題ハ、當局ノ御答辯ガナイノデアリマス、此法律上ノ何等責任ガナイト云フテ、此銀行

ニ限テ顧問トカ相談役ト云フヤウナモノヲ爲シ得ナイ、サウ云フコトヲ此處ニ現ハスコトハ出來ルカ出來ナイカ御尋シタノデアリ、其爲ニ隨分地方民ガ——今日迄ノ金額ノ總計ハ詳シク知リマセヌガ、今日十年ノ間ニ我ガ日本現在ニ先ツ二億圓近ク國民ガ損害ヲ致シマシタ、其損害ノ爲ニ死者ヲ出シマスルコトハ、一銀行ガ破産致シマスル度ニ、四五十人ノ人ガソレガ爲ニ死ンデ居ル、斯ウ云フ状態デアリマス、ソレハ顧問トカ相談役ト云フヤウナ、前官ノ待遇ヲ受ケルヤウナ立派ナ人ガ斯ウ云フ事ニ關係シテ居ル如クニ知ルノデアリマス、サウシテ代理店主ニ對シテ何カ法ノ制裁ヲ加ヘルコトガ出來得ナイカ、ソレヲ序ニ御答辯ヲ願ヒタイ

〔國務大臣片岡直温君登壇〕

○國務大臣(片岡直温君) 先刻ノ御尋ニ對シテ落シマシタコトハ甚ダ失禮デアリマス、顧問トカ相談役トカ申シマスル者ハ、或ハ信用ヲ土臺ニスベキモノ、事業ニ往々見ルノデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り商法ノ上ニ於テ何等ノ責任モ何モ認メタモノデハナイ、斯ウ云フ者ガアルガ爲ニ、世ノ中ノ人ガ信用スルト云フガ如キコトハ、實ニ遺憾千萬デアリマス、成程軍人ノ古イ肩書ヲ有スル人、官歴ノ多少ノ肩書ノアル者ガ休職罷職ノ後ニ信用ガアルカ否ヤハ知りマセヌガ、サウ云フ者ヲ失張利用シテ居ルト云フガ如キ通例ハアルノデアリマシテ、

斯ウ云フ事ハ實ハ絶無ニナランコトヲ私ハ祈ルノデアリマス、商法ハ明ニ相當責任者ヲ定メテ居ル、其商法ノ認メナイ者ヲ法ガ禁ジテ居ラスカラ、斯ナ者ヲ持テ來ルナド、云フヤウナ違方ヲ何時迄モ其跡ヲ斷タヌヤウナコトハ、甚ダ私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、併ナガラ之ヲ現ニ商法ニ於テ

モ認メテ居ラスモノヲ、今度ノ銀行法ニ限テ顧問、相談役ハ一切イケヌ、斯ウ云フ事ヲ定メルコトモ甚ダ不穩當ヲラウト思ヒマス、ソレ故ニ是ハ行政上ノ處分トシテ、此方ノ弊害ハ相當ノ矯正ヲシテ見ル考デアリマス

○議長(粕谷義三君) 是ニテ質疑ヲ終リマシタ、日程第十、右各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○砂田重政君 委員ノ數ヲ二十七名トシ、議長ニ於テ指名アランコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——只今増田義一君及加藤知正君ノ兩君ヨリ、何レモ成規ノ賛成ヲ得テ、北陸地方雪害救助ニ關スル緊急質問ガ提出サレマシタ、此際日程ヲ變更致スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、順次其提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、増田義一君

(増田義一君外一名提出)

北陸地方ノ雪害救助ニ關スル緊急質問

(加藤知正君提出)

(増田義一君登壇)

○増田義一君 北陸地方、殊ニ新潟縣下デ高田市ヲ中心トスル上越地方ノ大雪ニ至ッテハ、殆ド有史以來未會有ノ事ト思フノデアリマス、大要新聞紙上デ御承知デアリマセウガ、未ダ其真相ヲ盡シテ居ラヌト思フ

位デアリマス、昔シ此下ニ高田アリト云フ立札ガアッタト云フ話ガ殘テ居リマスガ、事實ハ今ヤソレ以上ニ悲慘ナ状態ヲ示シテ居ルノデアリマス、現ニ一月十八日カラ降り續キマシテ、甚シキハ一時間ニ五寸ツツ積リテ居ルノデアリ、終日働イテ屋根ノ雪ヲ落シテ夜休ンデ、朝起キレバ五六尺積リテ居ルト云フヤウナ状態デアリマシテ、甚シキハ二丈ヲ突破シテ居ルト云フヤウナ状態デアリマス、是ガ爲ニ鐵道ハ諸方ニ機關車、客車、貨物車ヲ出シ、ソレガ立往生シ一時ハ數十臺ヲ算スルニ至リタト云フヤウナ状態デアリマス、又旅客ハ三日三晩以上汽車ノ中デ立往生シテ、寒サト飢ヲ凌イデ居タト云フヤウナコトデアリ、ソレハ鐵道從事員デ相當ナ手當ハサレト思ヒマスケレドモ、傳フル所ニ依ルト病人サヘモ出シテ居ルト云フ有様デアリ、又一面ニハ學校ガ潰レタ、人家ガ倒レタ、死傷者ハ數少カラヌ、人畜ノ被害多ク、實ニ稀ナル悲惨ノ状態ト云フコトヲ傳ヘテ居ルノデアリマス、斯ル雪ノ害ニ至ッテハ高田ニ生マレタ私トシテ古老ヨリ聞イタコトモナケレバ、又書イタ記録ノ上ニモ見タコトハナイノデアリマス、之ニ對シテ如何ナル救濟ノ方法ヲ執ッテ居ルダラウカト憂慮ニ堪ヘマセヌ、第一

交通ハ杜絶シテ居リマスカラ、去ル八日以來郵便物ハ一ツモ來ナイノデアリマス、又一時ハ電信電話サヘモ通ジナクッタノデアリマス、電燈モ消エテ居ルト云フヤウナ状態デ、蠟燭モナケレバ石油ノ産地デアリニ拘ラズ、平生ノ用意ハ致シテ居ラスカラ、夜ハ眞暗ノ中ニ暮シテ居ル、處ニ依ッテハ食糧ガ不足デ、去ル十二日ノ調ベデハ、一週間位ノ食糧シカナイト云フ地方モアリマシタ、ソレカラ既ニ數時ヲ經テ居ルノデアリマス、人命ガ危険ナ處ガアリ、食糧ガ不

足アリ、物資缺乏シテ居ルト云フ此悲惨ノ状態ニ對シテ、政府ハ如何ナル救済ノ方法ヲ執テ居ラレドモ、

田ニハ旅團ガアリマス、此旅團ノ中デ何デモ兵隊四百名位ハ除雪工事ニ援助シテ居ルト云フヤウニモ傳ヘテ居リマスケレドモ、ソレモハッキリ致シマセヌ、事實ニ於テハ人夫ガ拂底ナノデアル、隨分鐵道工事ノ爲ニ長野縣其他カラ澤山ノ人夫ヲ送テ居ルヤウニモ傳ヘラレテ居リマスケレドモ、其雪ノ降テ居ル地方デハ人夫ガ足りナイ、ト云フモノハ、各自ノ家ノ屋根ノ雪ヲ下スコトニ毎日疲レテ居ルノデアル、又甚シキニ至テハ老幼婦女子ガ雪下シテ遺テ居ル、ソレハ新聞ニ寫眞ガ出テ居ルノデモ論ヨリ證據デアリマス、如何ニ人夫ガ不足ダト云フコトハ、此事實ガ雄辯ニ物語テ居ルノデアリマス、此處ニ旅團アリ、軍隊ガ擧テカヲ添ヘタナラバ、モント早ク鐵道開通ノ途モアリハシナイカ、

○議長(粕谷義三君) 次ハ加藤知正君一  
加藤君

(加藤知正君登壇)

○加藤知正君 北陸地方ニ於ケル雪害ニ付キマシテノ惨狀ハ、只今同僚増田君カラ詳細御述ベニナリ、且又滿場ノ諸君ハ日々ノ新聞紙ニ依リテ、如何ニ其慘害ノ甚シキカト云フコトハ、御承知ノ事デアリマスルカラ、私ガ此上其慘狀ヲ述ブルヤウナ贅言ハ省キマシテ、茲ニ數項ニ互テ政府當局ノ之ニ對スル御意見ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス、其一ツハ此北陸地方ガ斯ノ如キ未會有ノ大慘狀ハ、古老ノ傳ブル所ニ依リマスレバ此大慘狀ハ、二百六十年來嘗テナカッタ所ノ大慘狀デアルト云フコトデアアルノデアアルガ、此大慘狀ニ對シテ政府當局ハ、之ヲ普通ノ雪害ト御覽ニナルカ、或ハ震災又ハ火山ノ爆發同様ニ特異ノ災害ト御認メニナルノデアアルカ、之ヲ御伺シタイノデアリマス、私ガ特ニ此質問ヲ致ス所以ノモノハ、諸君御承知ノ通り昨年七月ノ二十八日ニ於テ、我が新潟縣ニ於キマシテハ未會有ノ大水害ガアッタノデアリマス、此當時吾々共ハ總理大臣ヲ初メ關係ノ當局大臣、大臣ノオキデニナラヌ所ハ次官ニ御目ニ懸リマシテ具サニ此水害ノ慘狀ヲ御話ヲ申上ゲ、是ハ普通ノ水害トハ違ヒマス、僅カ十分ヤ一時間ノ間ニ襲ヒ來ッタ所ノ此水害——言ハ、山海嘯ノ爲ニ、人家ハ倒壊シ、人畜ノ死傷算ナク、實ニ慘狀ノ極ヲ盡シテ居ルノデアアルカラ、之ニ對シマシテハ十分ナル所ノ御救済ヲ願ヒタイト云フコトヲ御話申上ゲタノデアアル、其當時町田農林大臣ノ如キハ非常ニ御同情ヲ寄セラレ、實ニ氣ノ毒千萬デアアル、自分モ其慘狀ヲ親シク觀察シタイトマデ仰シヤッタ、小山次官ノ如キハ私ニ對シテ此爲ニハ特ニ閣議ヲ開

イテ賞テモ宜シイトマデニ、御同情ノ言葉ヲ寄セラレタノデアリマス、然ルニ我ガ新潟縣知事ガ此水害救済ノ爲ニ、若干ノ低利資金ヲ要求致シマシタ所ガ、政府當局ハ之ニ對シマシテ如何ナル所ノ審議ヲセラレタカハ、私ハ之ヲ聽キマセヌカラ知りマセヌケレドモ、聞ク所ニ依レバ是ハ普通ノ水害デアアル、水害ハ年々アルコトデアラカラシテ、敢テ之ヲ特別ニ取扱フニハ及バヌト云フヤウナ意見ガアッタト云フコトヲ承テ居ルノデアリマス、私ハ此事ヲ承リマシテ實ニ意外ノ感ニ打タレタノデアリマス、アノ水害當時ニ於ケル所ノ慘狀ヲ、各大臣中一人デモ實際ヲ御觀察ニナリマシタナラバ、ヨモヤ斯ノ如キ意見ヲ御吐キニナル方ハ一人モナカッタデアラウト思フノデアリマス(拍手)然ルニ左様ノ御議論ガアッタ爲カドウカハ知りマセヌケレドモ、低利資金ハ段々遅レテ、遂ニ半歲後ノ今日ニ至テ、漸ク我ガ縣知事ガ要求セラレタ幾分ヲ、與ヘラル、ト云フヤウナ状態ニナツテ居リマスルカラ、私ノ間ク所モ或ハ是ハ事實デアハナカッタト云フコトヲ考ヘ、深ク之ヲ遺憾トスル者デアリマス、斯様ナ次第デアリマスルカラ今回ノ此雪害、是ハ私ハ尋常ノ害トハ思ヒマセヌ、所謂天災、二百六十年來未ダ會テ無イ所ノ一大天災、是ハ震災モ同様、或ハ火山ノ爆發モ同様、決シテ輕々ニ看過スコトノ出來ナイ大災厄ト私ハ考ヘルノデアリマスルガ、果シテ政府當局ハ之ニ對シテ如何様ノ御考ヲ御持テデアリマセウカ、私ハ之ヲ安達内務大臣代理ニ御伺致シタク存ジマス、更ニ伺ヒタイノハ鐵道沿線ハ無論ノ事、雪害地方ニ於キマシテハ食糧ガ不足ヲ告ゲテ、此間ノ新聞紙ニモ名立ガ十日間サヘナイトカ、或ハ系魚川モ十日間シカナイトカ、或ハドコ

ソコハ二日間サヘナイト云フ悲惨ナ記事ガ掲載セラレテ居ッタノデアリマス、此慘狀ハ親シク此雪害ニ遭遇致シタ者デナケレバ其真相ハ分リマセヌ、吾々共ハ雪國ニ生レテ居リマスカラ、此記事ヲ見テ洵ニ同情ノ念ニ堪ヘナイ者デアリマス、是ハ恐ラク事實デアリマセウ、然ラバ今日此悲惨事ヲ除クニハ如何様ニ致シタナラバ宜シイカ、之ヲ救済スルノニハドウシタラ宜イカト申シマスナラバ、言フマデモナク食糧供給ノ途ヲ開カナケレバナラヌノデアアル、食糧供給ノ途ヲ開クニハ交通ノ便ヲ開クヨリ外ナイノデアリマス、交通ノ便ヲ開クニ當リマシテハ言フマデモナク、鐵道線路ノ除雪ガ最善最良ノ方法タルコトハ言フマデモナイノデアリマス、然ラバ此際除雪ト云フコトハ如何様ニシタラ宜カラウカ、雪ハドンノ降テ居ル、掘ル後カラ降ル、之ヲ除雪スルト云フコトハ固ヨリ容易デアリマセヌ、併ナカラ此除雪ト云フコトニ對シテハ、要スルニ人的努力ノ數ト量トニ依テ、私ハ解決ガ出來ルモノト思フノデアリマス、然ルニ間ク所ニ依ルト鐵道省ノ之ニ對スル所ノ人夫ノ出シ方ガ足りナイ、高田地方ニ於キマシテハ軍隊モ出動シテ居ル、青年團モ出テ居ル、或ハ消防組モ出テ働イテ居ル、ケレドモ尙且ツ及バナイト云フヤウナ次第デアリマシテ、鐵道省カラ出シタル所ノ人夫ハ其數ガ蓄ニ不足デアアルノミナラズ、甚シキハ其人夫ハ焚火ヲ焚イテ、唯、アツテ居ルト云フ非難サヘアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアアル、マサカトハ思ヒマスルケレドモ、火ノ無イ所ニ煙ノ生ジヤウ道理ガナイ、若シ果シテ是ガ事實デアルトスレバ、是ハ怪シカラヌコトデアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、今朝吾々ノ同僚ガ富山カラ歸テ來マシタガ、其談ノ一節ニ曰ク、

鐵道省カラ行カレタ視察ノ役人デアルカ、或ハ名古屋ノ鐵道局カラ行カレタ役人デア  
ルカハ知ラナイガ、其役人ガ此鐵道線路ノ  
視察ニ行キナガラ、或ル溫泉場ノ料理屋ニ  
上リ込シテ、各驛ノ驛長ヲ集メテ、悠々ト  
シテ酒ヲ呑シテ居タト云フコトヲ聞イテ來  
テ、非常ニ憤慨シテ私ニ話ヲシタノデア  
ル、吾々ハ鐵道省ハ一種ノ伏魔殿デア  
ルトサヘ聞イテ居ル、若シ此様ナ事ガ事實デア  
ルトシマスルナラバ、幾多ノ地方民ガ此害  
害ノ爲ニ苦シメ居ルニモ拘ラズ、驛長ナド  
ヲ相手ニシテ料理屋ニ上リ込シテ居ルトハ  
何事デアリマセウカ、要スルニ是等ハ鐵道  
大臣ノ監督其宜シキヲ得ザル結果デア  
ルト非難サレテモ、是ニ對シ大臣ハ陳辯ノ  
餘地ガナカラウト思フノデアリマス  
(拍手)私ハ敢テ是等ノ事實ヲ以テ、鐵道大臣ノ全責任ナ  
リトハ申シマセヌケレドモ、併ナガラ  
此場合トス様ナ事ガアルト云フコトハ、吾  
々國民トシテ看過スベカラザルコトデア  
ルト思ヒマスルカラ、之ニ對スル所ノ鐵道  
大臣ノ責任アル御答辯ヲ戴キタウゴザ  
イマス、第三ニ於キマシテハ、今回ノ此  
雪害ノ爲ニ糸魚川ト市振ノ間ニアル所ノ  
並木隧道ノ北口ニ、二百間ノ斷崖カラ  
雪崩ガ落チタ、是ガ爲ニ高サ二十五尺  
幅七尺ノ石崖ハ崩レ、尙且ツ六十間餘ノ  
鐵筋混泥土ノ雪圍ヒハ崩壞致シテ二十間  
モ海中ニ吹飛バサレタト云フコトデア  
アリマス、是ガ爲ニ北陸線ハ當分開通ノ  
見込ガナイ、新聞紙ノ記事デアリマス  
カラ、眞偽ハ判リマセヌケレドモ、信越  
線ハ本日若クハ明日中ニ開通スルト云  
フコトデアアルガ、北陸線ハ一箇月間モ  
經タナケレバ開通スル見込ガナイト云  
フコトデアアル、是ハ果シテ事實デア  
ルカドウカ、若シ是ガ事實デア  
ルト致シマスナラバ、由々シキ問題デア  
ル、地方民ノ脅威ト旅客ニ對スル所ノ脅  
威ハ

是ヨリ大ナルモノハナカラウト思フノ  
デアリマス、又吾々ガ鐵道敷設ヲ希望ス  
ルモノハ何ノ爲デア  
ルカ、一ハ交通ノ便利ノ爲メ、一ハ生  
産業發達助成ノ爲メ、一ハ國防上ノ關  
係カラ此鐵道敷設ヲ翹望シテ已マザ  
ルモノデア  
ル、然ルニ今日ハ平和ノ時代デア  
ルカラ、此雪害ノ爲ニ斯様ナ不通ノコ  
トガアリマシテモ、旅客若クハ地方民  
ノ脅威ニ過ギナイトハ申シマスモノ、  
若シ一朝有事ノ際ニ斯様ナコトガアリ  
マシタナラバ、鐵道大臣ハ如何ニシテ  
其責任ヲ全ウスル御考デア  
リマス、  
第四ニ於キマシテハ越後鐵道買收ニ  
付キマシテ、其理由ノ一ツニ鐵道大臣  
ハ何ト仰シヤッタ、越後鐵道ヲ買收シ  
ナケレバ幹線ノ完壁ヲ期スルコトガ出  
來ナイト仰シヤッタノデア  
ル、然ルニ此越後鐵道其モノガ柏崎  
カラ出雲崎ノ間ガ今回ノ雪害ノ爲ニ  
遂ニ機關車ハ動かナカッタト云フコ  
トデア  
ルガ斯ウ云フヤウナ雪害ニ遭遇ス  
ルト、幹線ノ完壁ヲ期スルコトト仰シ  
ヤッタ海岸線ノ越後鐵道ナルモノガ  
何ノ役ニモ立タヌコトニナルガ、是  
デモ此鐵道ヲ買收シナケレバナラヌ  
ト云フ理由ニナルノデア  
リマセウカ、鐵道大臣ノ筆法ヲ以テ致  
シマスナラバ、柏崎カラ長岡ヲ經テ  
新潟ニ至リマスマデノ幹線ノ完壁ヲ  
期スル爲ニ、越後鐵道ヲ買收シナケ  
レバナラヌト云フナラバ、柏崎カラ直  
江津ヲ經テ、富山カラ金澤ニ至ル所  
ノ幹線ノ完壁ヲ期スルニハ、更ニ一  
本他ニ線路ヲ設ケナケレバナラヌコ  
トニナルノデア  
ルガ、是ハ如何ナサル御考デア  
ルカ、此補助線ヲ設ケルニハ現在ノ  
線路以外ニ餘地ガナイカラ、海底  
ニデモ線路ヲ拵ヘナケレバナラヌコ  
トニナルノデア  
ルガ、井上鐵道大臣ハ、此幹線ノ完  
壁ヲ期スル爲ニ海底線ヲ御設ケナ  
サル所ノ御勇氣ガアルカドウカ、恐  
クハ

其御勇氣ハアリマスマイ、然ラバ  
斯様ナ雪害ニ對シマシテ交通全ク杜  
絶致シタ、斯ウ云フ場合ニ於キマ  
シテハ、如何ニシテ完壁ヲ期スル  
ト云フ御考デアリマス、之ヲ一ツ  
御伺申上ゲタイノデア  
リマス、第五ニ於キマシテハ、日々  
ノ新聞紙ノ傳フル所ニ依リマス  
ト、雪崩ガ非常ニ多イ、本日ノ新聞  
ニモ記載シテゴザイマシタガ、西  
頸城郡ノ磯部村大字大洞ニ於テハ  
廣大ナル地滑リガアリマシテ、是  
ガ爲ニ人家六十四戸ノ中ノ二十  
何戸ガ倒壞シタト云フ記事ガアル  
、私ハ地滑リ問題ニ付テ實ニ非常  
ナル所ノ恐怖ヲ感ジテ居ル者デア  
リマス、ソレハ外デア  
リマセヌ、私ノ郷里ニ於テハ來傳  
村ト云フ處ニ有名ナル地滑リガアリ  
マスノデ、此記事ヲ見テ戰慄ヲ禁  
ジ得ナカッタノデア  
ル、今回ノヤウナ雪害ニ遭ヒマス  
レバ今後雪崩或ハ地滑リガ、續々  
アルモノト見ナケレバナラヌ、然  
ラバ是ガ爲ニ鐵道線路ガ何日何時  
ドウ云フ風ニ故障ヲ生ジ、之ガ爲  
ニ其地方ノ交通ガ杜絶シ、人命ヲ  
損ズルヤウナコトガナイトモ限  
ラヌ、之ニ對シマシテ鐵道大臣ハ  
如何ナル所ノ防備ヲ施シ、設備ヲ  
施シテ以テ交通ノ安全ヲ圖リ、旅  
客ノ生命ヲ保障セラレムトスル  
ノデア  
ルカ、此點ニ於テ私ハ鐵道大臣ノ  
責任アル御答辯ヲ戴キタイト思  
フノデア  
リマス(拍手)

(國務大臣安達謙藏君登壇)  
○國務大臣(安達謙藏君) 只今北  
陸地方ノ雪害ニ付キマシテ、其御  
地方ニ關係ノ御兩君カラ最モ痛切  
ナル御質問ガアリマシタガ、此事  
ニ付キマシテハ昨日マデ內務省  
ニ分リマシタ、各方面カラノ報  
告ヲ基礎ニ致シマシテ御答ヲ致  
シテ置キマス、ドウゾ御關係ノ方  
面ノ御方ハ、此報告ヲ冷靜ニ御  
聽キ願ヒタイト云フコトヲ前  
以テ申上ゲテ置キマス、先  
中中央氣象臺ニ就キマシテ此  
度ノ雪害ノ模様ヲ調べマシタ所  
ガ、只今増田君ハ有史以來未  
曾有、又加藤君ハ二百六十年來  
云々ト云フ言葉ガアリマシタ  
ガ、氣象臺ノ報告ニ依リマス  
ト、サウデモナイヤウデゴザ  
イマス、茲ニ其報告ニ基キマ  
シテ先ツ概況カラ御話ヲ致  
シマス、此度ノ雪ハ一月ノ十八  
日ノ午後ニ降り始メマシテ、而  
シテ二月ノ十一日ト十二日ヲ  
除キマシテ、殆ト連日降雪ヲ見  
タモノデア  
リマス、特ニ二月ノ六日、八日、  
九日等ハ其量最モ多ウゴザ  
イマシテ、多イ時ニハドノ位  
雪ガ降リタカト申シマス  
ト降雪量百ミリメートル約四尺  
ノ雪デア  
リマス、是ガ一日ノ一番多ク降  
リタ雪ノ量デア  
リマス、其他ノ日ニ於キマシテハ  
少ナキ時モ二十「ミリメ  
ートル」ト云フ位降リマシテ、其  
積雪ノ量ノ最モ多イ所ハ新潟  
縣ノ東頸城郡ノ安塚村ハ二十  
尺ニ達シテ居ルト云フコト  
デゴザイマス、又十三日ニ高  
田市ノ積雪モ一丈一尺ニ達  
シタ、ソレデ明治二十六年  
ニハ新潟ノ降雪量ガ、新潟縣  
下ニ於キマシテ二丈六尺ニ達  
シタ事ガアルサウデゴザ  
イマス、此明治二十六年ノ二丈  
六尺ニ達シタモノヲ除イテハ、  
近年稀有ノ雪量デア  
ル、斯ウ云フ報告デア  
リマス、ソレデ此降雪ノ範圍ハ  
主トシテ新潟縣ノ西部ト、富  
山、石川、福井ノ四縣ニ互  
テ居リマスガ、第一ガ新潟縣  
デア  
リマシテ、第二ガ富山、福井ト  
ナリマシテ、比較的積雪ノ量ノ  
少ナイ所ガ石川縣ノヤウニ見  
受ケマス、ソレデ此四縣ニ付  
キマシテノ被害ノ大要ヲ御話  
シテ置キマス、新潟縣デア  
ルハ東北部ノ岩越線方面ハ格  
別ナ事ガ無イモノト思ハレマ  
シテ、今日デモ汽車ハ通ジテ  
居  
リマス、被害ノ最モ大ナル方  
面ハ其西部デア  
リマス、即チ高田、直江津ヲ  
中心ト致シマシテ西頸城、中  
頸城、東頸城、刈羽ノ四郡  
デア  
リマス、而シテ其中デモ被害  
ノ多イ所

ハ山間ニ點在シテ居ル所ノ部落、其山間ノ部落ハ山上ヨリ來リマシタ所ノ雪崩ノ爲ニ家屋ノ被害ヲ惹起シテ居リマス、十二日迄ニ分リマシタ死者ガ六十二名、生死不明ノ者ガ二十九名、家屋ノ倒潰シタモノガ百十三戸デアリマス、中、被害ノ最モ甚キ所ハ西頸城郡ノ上早川村、此處デ死傷者四人ヲ出シテ居リマス、又同郡ノ磯部村ガ死傷者十一人、刈羽郡ノ野田村ガ死傷者二十一人、同郡ノ刈羽村ガ死傷者六人、斯ウ云フ工合ニナッテ居リマス、ソレカラ地方住民ノ生活ノ状態ハドウデアルカ、此事ニ付キマシテハ該地方ハ例年降雪ガ多クアリマス爲ニ、所謂冬籠リト云ウテ、相當ノ準備ヲ致シテ居リマスカラ、目下ノ所食糧ノ缺乏ヲ感ズルガ如キ危險ハ無イノデアリマス、唯モ積雪量ノ多クシテ、其降雪ガ長ク續キマスル爲ニ、其雪崩ノ爲ニ家屋ノ倒潰ヲ見タル場合ニ於キマシテ、救助ニ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ救助ノ方法ハドウシテ居ルカト申シマスルト、積雪量ノ最モ大ナル地方ニ對シマシテハ、縣ヨリ警察官及醫師ノ應援隊ヲ派遣致シテ居リマス、且ツ其地方ノ警察官、市町村當局者、青年團、消防組合等ヲ督勵致シマシテ、罹災者ノ救護、危險地帯ノ住民等ノ避難等ニ當ラシメテ居リマス、又物資ノ供給ニ付キマシテハ地方ニ貯藏スル所ノ米ヲ解放セシメマシテ、又赤十字社ノ新潟支部ヲシテ救護材料ヲ送付セシムル等ノ處置ヲ講ジテ居リマス、其他現在デ直江津、富山間ノ電話ガ不通ニナッテ居リマス、尙ホ附近ニ於キマシテ電信モ局部的ニ不通ノ箇所ガアリマス、汽車モ亦直江津ヲ中心ト致シマシテ不通デアリマスカラ不安ヲ感ジテ居リマスガ、ハ鐵道ニ關シマスル事ハ鐵道大臣カラ詳シク御報告致スドラウト考ヘマスガ、既ニ

今日頃ハ信越線ハ全通シタト云フ通知ニ接シテ居ル次第デアリマス、要シマスルニ各地共極力排雪ニ應援シテ居ル、最近ノ新聞紙ニ糸魚川ノ地方ノ住民ガ飢餓ニ瀕シテ居ル、又越前山ノ坑夫ノ千三百名モ飢餓ニ瀕シテ居ル、新潟縣ノ保安課長ハ行先不明デアルトカ、高田區裁判所ノ活動寫眞ノ家ガ倒レタトカ、斯ウ云フコトガ新聞記事ニゴザイマスケレドモガ、是ハ全然事實無根デアリマス、ソレカラ富山縣ハ積雪ノ量ガ平坦地方約七尺、山間地方ガ十尺以上デゴザイマスケレドモガ、其被害ハ新潟縣ノ如ク大キクハナイノデアリマス、昨朝迄ニ達シマシタ所ノ報告ニ依リマスルト、家屋ノ倒潰致シタモノガ七十八、死者ガ四十デアリマス、尤モ此死者四十ト云フ中ノ三十二名ト云フモノハ、一月ノ二十九日ニ彼ノ黒部川ノ水力電氣ノ工場ニ飯場ガアリマス、其處ガ旋風ノ爲ニ吹倒サレマシテ、其三十二名ヲ加ヘテ四十名ニナッテ居リマスカラ、雪害ノ爲ニ死シタ者ハ八名デアリマス、負傷者ガ十八名、山間部デハ積雪ノ量頗ル大ナル爲ニ、豫テ矢張冬籠リノ用意ガアリマスカラ、食糧ノ缺乏ヲ只今訴ヘルコトガナイノデアリマス、唯モ黒部川ノ水力電氣ガ發達致シマシテ、宇奈月ト云フ所ニ温泉場ガアリマス、此處ガ八日間ノ食糧ヨリ外ナイト云フコトハ事實デアリマシタガ、既ニ是モ補給ノ計畫ガ成立シテ居ルト云フ報告デアリマス、救護ニ關シマシテハ各地方ノ各種團體——矢張新潟縣同様各種團體ヲシテ雪除或ハ雪卸シ等ヲ爲サシムル外、目下別ニ必要ハナイト云フ事デアリマス、唯モ縣ニ於キマシテハ萬一場合ヲ顧慮シテ救援或ハ醫藥等ノ準備ヲ整頓シテ居ルト云フ報告デアリマス、石川縣ハ全澤市ニ於キマシテハ師範學校ノ建物ノ一部ガ傾キ、或ハ劇場

ガ倒壊シタト云フヤウナ事ガアリマスガ、金澤市ノ積雪ハ約五尺四寸デアリマス、其他郡部モ大體同様デアリマスガ、山間地方デハ一丈二尺ニ達シタ所モアリマス、最モ積雪ノ少イ海岸地方ニ在リマシテモ、約三尺八寸位ハ積リタト云フコトデアリマス、被害ノ判明シテ居リマスルモノハ、死者ガ十三名、負傷者ガ三十五名、住家ノ全潰シタモノガ五十三戸、半潰シタモノガ三十四戸デアリマス、食料ハ山間部落及農村ニ於キマシテハ自給自足シテ居ルト云フコトデアリマス、市街地ニ於キマシテハ多少物價ノ騰貴ハアリマシタケレドモ、蔬菜類ヲ除イテハ供給上何等ノ支障ガナイ、一般住民ノ生活狀態ハ平素ト變リガナイ、此分ニテハ生活上特ニ救護ノ要ヲ認メズ、斯ウ云フ報告デアリマス、此報告以外ニ石川地方ノ新聞紙ニ依ッテ見マス、物價ノコトニ付テハ米ガ一升ニ付テ一錢程騰貴シタ、炭ガ一俵二圓四五十錢ノモノガ十錢乃至二十錢騰貴シタ、野菜類ハ出廻リガ出來テ最早格別不自由ヲ感ジナイヤウニナッタ、斯ウ云フ記事ヲ私ガ見マシタカラ之ニ附加ヘテ申シテ置キマス、福井縣ニ於キマシテハ福井市附近ノ積雪ハ六尺五六寸、尤モ大野郡ノ山間部ニ於テハ一丈六七尺ニ達シテ居リマス、昨日迄ノ被害ハ倒壊家屋ガ百十四戸、死者ガ五十三名、其大部分ハ山間僻地ニ於ケル所ノ雪崩ノ爲デアリマス、十一日以後ハ福井方面モ降雪ガ殆ド止ミマシテ、人心モ安定シテ居ルト、是ガ新潟ヲ初メ北陸方面ニ於ケル雪害ノ狀況デアリマス、就キマシテ各縣廳ハ此死者又負傷者、倒壊家屋、此邊ノ事ニ付テ目下最善ノ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、今後此死者ニ對シテ、或ハ負傷者ニ對シテドウスルカト云フヤウナコトハ、當局者ハソレトモ案ヲ具シテ申出ル事

ト考ヘマス、其善後策ニ付キマシテハ今後適當ノ處置ヲ執リタイ、斯ウ云フ希望ヲ持テ居リマス、此段御報告致シマス(拍手)  
 ○議長(粕谷義三君) 井上鐵道大臣  
 (國務大臣子爵井上匡四郎君登壇)  
 ○國務大臣(子爵井上匡四郎君) 増田君及加藤君カラ御質問ノ中、鐵道ニ關スル部分ヲ私カラ御答辯申上ゲマス、御話ノ如ク國有鐵道ガ信越、北越、北陸ノ一部ニ於キマシテ、去ル九日以來部分的ニ國有鐵道ガ不通ニナッテ居リマスルコトハ、私ト致シマシテ甚ダ遺憾ニ考ヘマス次第デアリマス、質問者ノ御話ノ如ク、今回ノ降雪ハ實ニ稀有ノ降雪デアアルノデアリマシテ、之ニ對シマシテ國有鐵道ノ降雪ニ對スル設備ガ完全デナカッタコトハ甚ダ遺憾ナ次第デアリマス、又併シ是ハ已ムヲ得ザル次第デアッタラウト考ヘルノデアリマス、鐵道ト致シマシテハ雪ニ對シマシテハ寧ろ積雪ノ量ヨリモ、或ル一定ノ時間ノ中ニ降リマス雪ノ量、降雪ノ密度ト申シマスルカ、其降雪ノ「インテンステイ」ニ關係スルノデアリマス、徐々ト降リマス雪デアリマスレバ、相當除雪ノ設備ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ今回ノ降雪ハ本月ノ八日、九日ニ互リマシテ、一時間ニ五寸モ降リマシタサウデアリマス、降雪ニ對シテ豫防ヲ致シマスル方法ハ、線路ニ對シテ雪除「スノーセツト」ヲ造ッテ置キマスルカ、又「スノーセツト」ガアリマセマ所ハ、之ヲ機械的ノ除雪車、即チ「ラツセル」若クハ「ロータリー」ト二種持ッテ居ルノデアリマスガ、此何レカラ以テ線路上ニ積ミマシタ雪ヲ除ケルノデアリマス、此機械ノ除雪ノ方法ハ前ニ申シマシタヤウナ一時間ニ五寸モ積リマスルヤウナ雪ニ對シテハ、非常ニ效力ガ少イノデゴザイマス、稍、時刻ヲ遅レマス



ト云フト、モウ既ニ斯ノ如キ機械的方法デハ除雪ガ困難ニナルノデアリマス、其爲ニ折角除雪ニ出マシタ所ノ「ラツセル」若クハ「ロータリー」ガ、今回ノ如ク雪中ニ埋没サレト云フ状態ニナルノデアリマス、現在九日ニ不通ニナリマシタ全體ノ區間ハ約八十哩デアリマス、此區間ニ六輛ノ「ラツセル」ト一輛ノ「ロータリー」ヲ以テ除雪シタノデアリマスルガ、是ハ不幸ニシテ其效力ヲ發揮スルコトガ出来ナカッタノデアリマス、殘ル方法ハ人工ヲ以テ除雪スルノデアリマス、増田君カラ御話ノ如ク人夫ヲ得ルト云フコトガ、各自地方ノ人夫ハ自分ノ危險ニ迫ラレテ居ルノデアリマスルカラ、一地方ニ於テ人夫ヲ得ルト云フコトガ非常ニ困難デアリマスコトハ、増田君ノ御話ノ通りデアリマス、ソレデ相當距離カラ人夫ヲ運ンデ、而モ雪ニ對シテ相當經驗ノアル人夫ヲナケレバ用ヲ爲サナイノデアリマス、現在此區間、今不通ノ區間ニ働イテ居リマスル人夫ハ、湯町直江津間ニ二百四十八人、直江津市振間二千八十一人、直江津一本木間二千九百六十三人ト云フ、約五千人ノ人夫ガ此間ニ働イテ居ルノデアリマス、茲ニ私ガ御報告申上ゲ得ルノヲ非常ニ欣幸ニ考ヘマスノデアリマスガ、信越線ハ只今マデノ報告ニ依リマスル上云フト、殆ド全部開通致シマシテ、現在ニ於テ今殘テ居リマスル所ガ直江津ト高田間ノミデアリマス、此間ガ七哩一分デアリマス、是モ本日中ニ必ズ開通致シマスル積リデアリマス、併ナガラ茲ニ申上ゲナケレバナラナイノハ、是ハ人工ガ天然ニ打勝チ得テ結果デハナイノデアリマシテ、幸ニ天然ガ吾々ヲ幸シタ結果デアルノデアリマス、昨日カラ此地方ハ天氣ガ好クアリマシテ、本日ハ雨天ダサウデアリマス、其爲ニ雪ガ溶ケマスルノデ、

ソレニ依ッテ開通ガ豫想以上早ク出来タト云フ状態デアアルノデアリマス、北陸方面ノ今不通ノ區間ハ、直江津カラ市振迄ノ間デアリマス、此中ニ於キマシテハ、親不知、青海間ニ於テ、先程加藤君ノ御話ノ如ク、並木隧道ガ非常ニ丈夫ナ鐵筋混凝土ノ雪覆デアッタノデアリマスガ、ソレガ百尺餘ノ非常ナ雪崩ノ爲ニ壞サレマシテ、海中ニ押出サレタト云フヤウナ状態デアリマス、其爲メ此區間ハ線路ノ排雪ガ終リマシテモ、相當マダ雪崩ガアリマス危險ガアルノデアリマスルカラ、線路ノ排雪ガ出来マシタカラト云ッテ、直グ旅客列車ヲ運轉致シマスノハ、稍、危險ガアルト考ヘテ居リマス、相當雪崩ニ就テノ見込ガ付キマシテ、然後ニ旅客列車ヲ運轉シタイト云フ鐵道省ノ考デアリマス、附加ヘテ申上ゲマスルガ、今回旅客ニ對シテハ、非常ニ迷惑ヲ掛ケマシタノデアリマスルガ、幸ニシテ現在マデ一名ノ負傷者モ出サナカッタコトハ、甚ダ不幸中ノ幸ニ考ヘテ居ル次第デアリマスルカラ、將來ニ於キマシテ、此直江津泊間、殊ニ直江津糸魚川間ニ於テ、雪崩ノ爲ニ旅客列車ニ損害ヲ與ヘタト云フヤウナコトガアリマシテハ、甚ダ遺憾ニ考ヘマスルカラ、此點ハ十分考慮致シマシテ、萬安全ヲ期シタイ考デアリマス、此直江津、市振間デ旅客列車ニ閉籠メラレタ旅客ガアッタノデアリマシタガ、糸魚川ニ一昨日マデ百四十人居ラレタノデアリマスガ、ソレガ昨日天候ガ快晴デアリマシタ爲ニ、石油發動機ノ汽船ヲ泊カラ糸魚川ノ方ニ廻シマシテ、此百四十名ヲ泊ノ方ニ運ンダノデアリマス、今日ニ於テ糸魚川ニ滞在シテ居ルノハ只一人デアリマシテ、是ハ僧侶ダサウデアリマス、總テノ雪害ガ除カレマデ、此僧侶ハ此地點ニ留ルト云フコトデ、故意ニ此所ニ殘ッテ

居ルノダサウデアリマス、現在名立ニ二十名ノ旅客ガ居ルノデアリマス、是ハ本日石油發動機ノ汽船ヲ以チマシテ、泊ノ方ニ運ビマス考デアッタノデアリマスルガ、雨天デアリマスル爲ニ、今日ハ其作業ヲ中止シテ——危險ノ爲ニ中止シテ居リマス、天候ノ回復スルノヲ待チマシテ、此所ニ滞在ノ旅客ハ安全ノ地帯ニ運ビマス、苦ニナッテ居リマス、此不通期間ニ於ケル食糧供給ノ問題デアリマスルガ、是ハ鐵道ノ方デ運ビマシタ量ガ此所ニ出テ居リマスルガ、一々之ヲ御話スルノモ餘リ煩雜カト考ヘマス、鐵道ト致シマシテハ、十分穀類ハ勿論野菜等ノ運輸ニ力ヲ盡シマシテ、此間ニ缺乏ヲ來シマセヌコトヲ十分努メテ居ル次第デアリマス、加藤君ノ御質問中ニ、鐵道ノ職員デ此地方ヲ檢分ニ參シタ者ガ、料理屋デ驛長ヲ呼ビ酒ヲ飲ンデ居タト云フヤウナ御話デアリマシタガ、實ハ其報告ハ私ハ受ケテ居リマセヌノデアリマスガ、斯ノ如キ不心得ノ者ガ一人デモアリマスコトハ、甚ダ私トシテ責任ヲ感ジマス次第デアリマス、十分部下ヲ戒飭致シマシテ、斯ウ云フコトノ無イヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス、色色御注意ニ與リマシテ、私ト致シマシテハ寧ろ感謝スルノデアリマスルガ、本日午前中モ高島君カラ、關山デ列車中ニ閉籠メラレタノデアリマスガ、驛長ノ待遇ガ非常ニ良クナカッタト云フヤウナ御話モ承リマシテ、早速是等ノ事ハ部下ニ傳ヘマシタ次第デアリマス、第四ノ加藤君ノ御質問ニ、北陸ノ此線路ガ斯ノ如キ雪害ヲ受ケルニ拘ラズ、裏日本ノ幹線ノ完壁ヲ期スル爲ニ越後鐵道ヲ買收スルト云フコトヲ私ガ言フガ、然ラバ此北陸親不知ノ附近ニ於テハ、海底ノ鐵道ヲ造ル積リデアアルカト云フ御話デアリマスルガ、只今茲ニ海底ノ鐵道ヲ造ル考ハ持

テ居リマセヌノデアリマス、御話ノ如ク今回ノ雪害ハ實ニ稀有ノ雪害デアアルノデアリマシテ、去ル大正十一年ニ親不知市振間デアリマスルガ、此除雪人夫ヲ乘セマシタ列車ヲ雪崩ノ爲ニ埋メマシテ、百餘名ノ死傷者ヲ作シタノデアリマスルガ、此邊ハ相當ニ設備ヲ致シマシテ、今回ハ害ヲ受ケテ居ラナイノデアリマス、今回ノ並木隧道ガ——並木隧道ト申シマスルガ、此雪除ケヲ非常ニ丈夫ナモノヲ造リマシタニ拘ラズ、雪害ヲ受ケマシタ事ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマスルガ、將來ニ於テ此邊ニ於テ相當ノ設備ヲ致シマシタナラバ——是レ以上ノ雪ニ對シテハドウカ知リマセヌガ、今回經驗致シマシタ雪ニ對シテ耐ヘル位ノ設備ハ、將來ニ於テ致シマス考デアリマス、大體御質問ノ事項ヲ御答致シタト考ヘマス(拍手)

○増田義一君 簡單デアリマスカラ、自席カラ申上ゲマス、只今内務大臣、鐵道大臣ヨリ懇切ナル御説明ガアッテ、被害ノ程度、實況等ハ大體分リマシタ、何分消息ガ十分ナイノデアリマス、新聞モ切レ々々ノ報道デアッテ、東京ニ居ル吾々ハ非常ニ心配シテ居ルノデアリマス、所デ兩大臣ノ御報告中ニハ、軍隊ガ何等應援シテ居ラヌヤウニモ聞エマスガ、新聞デハ高田旅團カラ四百名位ノ兵士ハ除雪ノ手傳ニ出タト云フヤウナコトモアルノデアリマス、アノ非常ニ危險ノ場合ニ、軍隊ガ坐視シテ居ッテ傍觀ノ態度デ居ッテラウカ、殊ニ高田ト脇野田ノ間ハ一番鐵道ガ雪ノ爲ニ困ッテ居ル、脇野田ト云フノハ高田市ノ接壤地デ、高田旅團ノ練習地デ、軍隊ノアル所ニ最モ近イ所デアアル、軍隊ガ非常ニ好意ヲ以テ出動スレバ、アノ場合ニ汽車ノ埋没ヲモット早ク救フコトガ出来タヤウニ思ヒマス、果シテ軍隊ハ何等應援シナカッタノデアアルカ、或ハ非常ナ

好意ヲ以テ努力シテアルカ、其事實ガアリサウナモノデアアルガ、承リタイモノデアリマス

〔國務大臣子爵井上匡四郎君登壇〕

○國務大臣(子爵井上匡四郎君) 鐵道ニ關係致シマシタ部分ニ於テ、鐵道カラ特ニ軍隊ノ出動ヲ申出デタコトハナイノデアリマスルガ、高田聯隊ガ自發的ニ本月十日午前一時三十分ヨリ同八時二十分マデ、兵士百四名ヲ出動サシテ居リマス、又午前八時二十分カラ午後一時マデ百名ヲ出シ、又午後一時カラ同十時マデ五十名、又其後午後十時ヨリ午前二時三十分マデ五十一名ヲ自發的ニ出動サシテ、鐵道線路ノ除雪ヲ援助シテ吳レタ事實ハアリマス

○曾田義一君 尙ホ内務大臣ニ御伺シマス

ガ、公設建物、則チ學校或ハ學校ノ寄宿舎或ハ市街地デアッテ、老幼婦女子ノミデ除雪ノ出来ナイ者ニ對シテ、軍隊ヨリ除雪ノ應援ニ從事シタ事實アリヤ否ヤ一寸伺テ置キマス

〔國務大臣安達謙藏君登壇〕

○國務大臣(安達謙藏君) 此軍隊ノ應援ノコトニ付キマシテハ、縣廳ノ方ノ報告ニハ何モ申シテ居リマセヌ、但シ新聞ノ上ニ於キマシテハ、只今御質問ノヤウナコトヲ承知致シテ居リマス、第九師團ノ方ハ縣廳カラ軍隊トモ連絡ヲ取ッテ、サウシテ相當ナコトヲスル積リデアアル、斯ウ云フコトハ申シテ來テ居リマス、其具體的ノコトハ申シテ來テ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

〔加藤知正君登壇〕

○加藤知正君 只今私ノ間違ヒカモ知レマセヌガ、安達内務大臣代理ハ冷靜ニ聽イテ吳レト云フヤウナ御言葉ガアッタヤウニ考ヘテ居リマス、如何ニ雪ノ事トハ申シナガ

ラ、餘リニ大臣ハ冷ヤカ過ルト考ヘマス、只今數字ヲ御列舉ニナリマシタケレドモ、ソレハエライ舊イ統計ノヤウニ思ハレマス、昨日ノ新聞紙ノ記載ニ依リマスト、十三日ニ鐵道省ヘノ報告ナリトシテ、積雪ニ關スル數字ガ載セラレテ居リマスガ、今安達内務大臣ノ仰シヤッタ積雪量ノ數字トハ大變ナ違ヒデアアル、私ハ時間ヲ省略スル爲ニ一々之ヲ朗讀シマセヌガ、此數字カラ見ルト大變ナ相違デアアル、之ニ依ルト申々容易ナラヌ所ノ積雪量デアアル、又只今安達内務大臣ハ中央氣象臺ノ片々タル一技師ノ言葉ヲ詢ニ有難ク御信ジニナッテ居ラレ、ヤウデアアルガ、併シ其技師ハ矢張吾々ト同様人間デアアル、決シテ三面六臂ノ技師デハアルマイ、吾々ト同様人間ガ交通不便ノ際ニ、ドウシテ新潟縣下全體——北陸地方全體ノ雪ノ深サガ測量シ得ラレタデアラウカ、或ハ電話ナリ電信ナリデ、其報告ヲ取ッテ報告シタモノデアアルト仰シヤルカモ知レマセヌガ、併ナガラ交通全ク杜絶シ、電線モ切レ、電話モ利カナイ、左様ナ状態ノ場合ニ於テ、ドウシテ左様ナ詳細ナル所ノ報告ガ得ラレタデアラウカ、吾々ノ所ニ齋ス報告ニ依ルト、米山山麓ノ或ル村落ノ如キハ三丈八尺モアルト云フコトデアッテ、實ニ未曾有ノ大雪デアアルト云ハネバナラヌ、又慘死者ノ數或ハ崩壊家屋ノ數モ是レ々々デアアルト仰シヤッタケレドモ、昨日ノ新聞紙ノ記載ニ依ルト、死者ハ九十一名、倒壊家屋百二十ト書イテアッテ、大分其數字ガ違テ居ル、高田一市ノミノ倒壊家屋、或ハ是ガ爲ニ被害ヲ受ケタ所ノ家屋ノ數カラ想像シテモ、決シテ斯ノ如キ少數ニハ止マラヌト吾々ハ考ヘルノデアリマス、要スルニハ雪國ニ住ンダ人デナケレバ其真相ハ分ラヌデアリマス、恐ラク安達内務大臣

代理ハ雪國ニ御生レニナラナカッタデアラウト思フ、デアアルカラ左様ナ一技師ノ報告ヲ御信ジニナッテ、冷カニ之ヲ御取扱ヒニナルノガモ知レマセヌケレドモ、是ハ罹災地方ノ人ミノ爲ニハ迷惑千萬ノ話デアリマス、併シソレハソレトシテ私ノ貴方ニ質問致シマシタノハ、之ヲ特異ノ災害ト御認メニナルカ、普通ノ災害ニ御認ニナルノデアアルカ、若シ普通ノ災害ト御認ニナルナラバ已ムヲ得ナイ、是ハ各自ノ見解デアアルカラ已ムヲ得マセヌ、併シ特異ノ災害ト御認ニナリマスナラバ、此度ノ災害ノ爲ニ、例ヘバ地ニリノ如キ斯ウ云フヤウナモノニ對シテハ、地方ノ力デハ到底之ヲ防ギ得ヌト思フノデアリマスルガ故ニ、否ガ應デモ内務省ノ御力ヲ借ラナケレバナラヌ事ニナルノデアリマス、是ガ特異ノ災害ト御認ニナルノト、普通ノ災害ト御認ニナルノトデハ罹災地ノ者ノ受クル取扱ヒニ大變ナ相違ガアルノデアリマススカラ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス、又鐵道大臣ハ私ノ質問ニ對シマシテ、顧ミテ他ヲ仰シヤッテ居ル、一々私ガ申上グルト時間ガ長クナリマスカラ申シマセヌガ、併シ其中一ツ私ガ申上ゲテ置カネバナラヌコトハ、過日私設鐵道買収法案ヲ御提出ニナッタ際ニ、越後鐵道ヲ買収スル理由ノ一ツトシテ、貴方ハ雪害ヲ御擧ゲニナッタ、即チ此鐵道幹線ノ完壁ヲ期スル爲ニハ、ドウシテモ柏崎カラ新潟ニ到ル所ノ此私設鐵道——越後鐵道ヲ買収シナケレバ幹線ノ完壁ヲ期スルコトハ出来ナイト仰シヤッタノデアアル、然ルニ此鐵道ガ今回此大雪ノ爲ニ柏崎、出雲崎間ガ不通ニナッタノデアアル、斯様ナ鐵道ヲ買収シテ、ドウシテ幹線ノ完壁ヲ期スルコトガ出来マスカ(脱線ト呼フ者アリ) 脱線デハナイ、若シ鐵道大臣ノ言葉ヲ以テスルナラバ、貴

方ノ言葉ヲ以テスルナラバ、矢張柏崎カラ直江津ヲ經テ、サウシテ富山ニ到ル所ノ海岸線、之ニモ補助線ヲ設ケナケレバ、所謂鐵道幹線ノ完壁ヲ期スルコトハ出来ナイデアアリマセヌカ、私ハ貴方ニ海底鐵道ヲ御設ケニナルダケノ御抱負ガアラウトハ思ヒマセヌガ、併シ貴方ノ言葉ヲ以テスレバ、論理ハ其處ニ行クト思フ、ソコデ若シ海底鐵道ヲ設ケルダケノ御勇氣ガ無イトスルナラバ、斯様ナ雪害ニ對シテ、今後如何ニシテ此海岸線ノ完全ヲ期サウトナサルノデアアルカ、之ヲ御伺致シタイノデアリマス、尙ホ此外ニモ色々御尋申上ゲマシタガ、敢テ他ヲ顧ミテ御答ガアリマセヌカラ、茲ニ追窮ハ致シマセヌガ、此點ニ付テ御明答アラントヲ希望致シマス

〔國務大臣安達謙藏君登壇〕

○國務大臣(安達謙藏君) 只今加藤君ハ此度ノ災害ガ普通ノ災害カ非常ナ災害カト云フコトデアリマス、近年稀ナル降雪デアリマスカラ、普通ノ降雪トハ違ヒマスカラ、其災害モ普通ノ災害デハナカラウト考ヘマス、併ナガラ其災害ノ程度ハ今現ニ災害ヲ受ケツ、アル所デアリマシテ、茲デ慌テマシテ、此善後策ヲドウスル斯ウスルト云フコトヲ申シマスコトハ早計ト考ヘマス、能ク慎重ニ致シマシテ、其處ガ私ガ先刻冷靜ニト御願ヒシタ次第デアリマス、今後此善後策ガ唯地方ノ縣廳ニ留メテ處理シテ宜シイモノカ、又ハ内務省ガ更ニ々々ソレニ參加シテ善後策ヲ講ズルカ、其邊ノ事ハ今後ノ狀況ヲ審ニ致シタ上ニ考慮スル積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(粕谷義三君) 是ニテ緊急質問ヲ——井上鐵道大臣

〔國務大臣子爵井上匡四郎君登壇〕

○國務大臣(子爵井上匡四郎君) 柏崎以西

ノ今回不通ニシテ居リマス分ニ付キマシテ、海底鐵道ヲ造リマス意思ハ持ッテ居リマセヌ、唯、雪害ノ最モ著シイ部分ニ付キマシテハ、相當ノ設備ヲ致シマスレバ、今回ノ雪害ノ程度ニ對シマシテハ、不通トナラザルヲ得ルヤウナ設備ハ出來得ルト考ヘテ居リマス

○議長(粕谷義三君) 是ニテ緊急質問ヲ終リマシタ、日程第十一、北海道農地特別處理法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

○砂田重政君 本案ノ審議ハ延期セラレテ、日程第十二ヲ上セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ緊急動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ延期致シマス、次ハ日程第十二、政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關スル法律案、日程第十三、政治結社加入勸誘方法ノ制限ニ關スル法律案、日程第十四、議員ノ職務ニ關スル法律案ヲ一括シテ第一讀會ノ前會ノ續ヲ開キマス

第十二 政治運動ノ爲金品供與ノ制限  
ニ關スル法律案(尾崎行雄君提出)  
第一讀會(前會ノ續)

第十三 政治結社加入勸誘方法ノ制限  
ニ關スル法律案(關直彦君提出)  
第一讀會(前會ノ續)

第十四 議員ノ職務ニ關スル法律案  
(増田義一君提出)  
第一讀會(前會ノ續)

○議長(粕谷義三君) 日程第十二ニ對シマシテハ、曩ニ原惣兵衛君カラ質疑ガアリマシタガ、提出者ニ於テ此際御答辯ガアリマスカ

○尾崎行雄君 簡單デアリマスカラ此席カラ：(「登壇」ト呼フ者アリ)原君ノ御質問ハ速記録ヲ拜見ヲ致シテ居リマス、第一、第二、第三ノ三ツニ分ケテアルヤウデアリマスガ、一ツハ刑ノ範圍、總テ此案ハ先日説明ヲ致シマシタ、大體ノ趣旨ニ依ッテ、林田君其他ニ立案ヲ御頼ミ致シタノデアリマスカラ、第二次會ニ起ルベキ質問ニ對シテハ、實ハ私ヨリカ起案者ノ方ガ明瞭ニ御答ガ出來ルガ私ヨリ御答スレバ、第一ノ御質問ニ對シテハ立案者ノ目的ハ：(「登壇」ノ聲起リ聽取シ難シ)網羅シテ罰スル積リデアリマス、若シ其書キ方ガ惡イト仰シヤルナラバ、ソレハ委員會若クハ二次會御修正ヲ希望致シマス、ソレカラ第二ノ刑法第二十五章ノ例ニ從ッテ處斷スルト云フ其理由デアリマス、是ハ矢張公務員ニ準ジテ處斷スルト云フ起案者ノ：(「登壇」ノ聲起リ聽取シ難シ)

○議長(粕谷義三君) 御靜ニ願ヒマス

○尾崎行雄君(續) 入レタモノデアリマス、法律ニ暗イ私ニ於テハ果シテソレデ正シク適用ガ出來ルヤ否ヤ、私ニハ吞込マレマセヌケレドモ、私ノ希望カラ言ハバ、矢張公務員ニ準ジテ處斷スル、ソレガイケナイモノナラバ刑法ニ倣フト言ハナイデ、別ニ明文ヲ掲ゲマシテモ差支ナイト存ジマス、第三ノ官報ニ載セルト云フコトガ無効ニナリハセヌカ、是ハ無効ニナラヌノデアリマス、載セヨト規定シテ載セナケレバ罰スル積リデアリマス

○議長(粕谷義三君) 原惣兵衛君

○原惣兵衛君 只今尾崎君ノ御答辯ハ小聲デアリマシテ、ハッキリ聽ヘナカタノデアリマスガ、殊ニ御耳ガ御遠イヤウデアリマスカラ、何ナラ前ニ寄ッテ聽イテ戴キタイ

ト思フノデアリマス、今私ハ小サイコトハ申シマセヌカ、起算者ノ林田龜太郎君ガ起草シタノデアッテ、十分ニ吞込メナイト云フヤウナ御話ガアッタガ、過日林田君ハ唯、簡單ニ私モ賛成者ノ一人ニナッテ居ルカラ、答辯ヲ致シテモ宜シイノデスト云フ御話デアッタノデアリマスガ假令起算者デアルニ致シマシテモ、大凡立法ヲ爲スト云フ提案者ハ、大ナル確信ト自信ガナケレバイケナイト私ハ思フノデアリマス、先ヅ私ハ細カイトコトハ申シマセヌ、併ナガラ過日尾崎君ノ御提案ノ理由ニ依リ速記録カラ見出シマシタナラバ、私ハ先ヅ三ツアルト思ヒマス、其三ツノ點ニ付キ伺ヒマス、私ハ此政黨自體ノ問題ニ對スル法律案ハ、眞面目ナル吾立法府ニ於ケル議員ト致シマシテ、果シテ法規ノ制定ヲ爲ス所ノ理由アリヤ否ヤ、此根本問題、私ハドウシテモ法律ノ制定ガ困難デアルト云フコトヲ感ジタノデアリマス、隨テ私ハ此三ツノ尾崎君自身ノ御演說中ノ理由ヲ拜借シテ、私ハ法規ノ體裁ヲ爲スコトガ、尾崎君ノ御説明通りデアッタナラバ、出來ナイト思フコトヲ根本問題トシテ、御尋致シテ見タイト思フノデアリマス、凡ソ法律ハ吾々眞面目ニ考ヘテ見マスナラバ、如何ニシテ此法律ヲ制定スルカ、殊ニ罰則規定ニ至リマシテハ、必ず母法ガナケレバナラナイト思フノデアリマス、例ヘバ暴力取締法案ヲ上程スル以上ハ、其根本ノ暴行罪デアイケナイ、多衆聚合シテ此多衆ノ集團ノ力デ暴行ヲ爲スト云フコトヲ、特ニ之ヲ取締ルノダト云フヤウナ場合、所謂刑法ニチヤント暴行罪ノ規定ガアッテ、ソレニ根據ヲシテ、尙ホ多衆集團ノ暴行ハ、モウ一層強ク取締ルノデアルト云フ法律、他ノ罰則規定ノ根本法ト離ルベカラザル所ノ關係ヲ持ッテ居ナケレバナラナイト思フノ

デアリマス、殊ニ普通政治的犯罪ニ付テハ今言ウタ選舉法ト云フモノガアル、ソレ以外ノモノハ過日モ申シマシタ公務員ノ規定デ罰スル規定ガアルノデアリマスカラ、選舉法ノ罰則規定ト云フモノニ離レテ、オヤリニナルト云フノハ如何ナル憲法、並ニ附屬ノ刑法ノ如何ナル範圍ニ根據ヲ爲シテ、此法律ヲ制定セラル、意思デアルカ、如何ナル關係ヲ持ッテ居ルカ、若モ尾崎君カラ言ハレタナラバ、從來ノ刑法罰則規定、凡ソ國アレバ必ず法アリ、必ず罰スルト云フ刑法ノ所謂根本ノ母法ト離レテ、單獨の規定ヲ爲スモノデアルト云フ仰セナラバ、然ラバ先ヅ之ヲ是認致スト云フ假定ノ下ニ、次ニ進ンデ見タイノデアリマス、刑法ニ關係無シニ一ツノ政黨、之ヲ基礎ニ金ヲ與ヘル者ヲ罰スルト云フ單行法規ガ出來上ルモノデアルト假定シテ、私ハ自ラ御述ベニナラレタ所ノ提案ノ趣旨ニ付テ御説明ヲ聽キタイノデアリマスガ、此第一點ニ斯ウ云フコトヲ御述ニナッテ居ラレバ、凡ソ政黨ハ最も公ノ團體デアアル、公明正大ナケレバナラヌ所ノ政黨、立法行政ノ根本ヲ爲ス所ノ政黨ガ何故其收支計算ヲ秘密ニ致シテ置クカ、公ノ團體タルモノハ收支計算ヲ公ニシナケレバナラヌ、例ヘバ下ッテ府縣ノ如キ、或ハ市町村ノ如キ、何レノ團體デモ公ノ性質ヲ持ッテ居ルモノハ、必ず收支計算ヲ秘密ニシテハ居ナイノデアアル、又銀行會社ノ如キ營利會社ニ於テモ、必ず收支計算ハ明ニシテ居ルノデアアル、斯様ナ仰セデアアルノデアリマス、尙ホ進ンデ斯ウ言ッテ居ラレバ、内閣ハ政黨ニ依ッテ組織スル立法行政諸般ノ源デアアル、斯様ニ政黨ハ立派ニ公ノモノデアアルニ拘ラズ、收支計算ヲ爲サナイト仰セニナッテ居ル、成程立憲政治ニ政黨ト云フモノハ事實上存在ヲ致シマス、併シ

ト思フノデアリマス、今私ハ小サイコトハ申シマセヌカ、起算者ノ林田龜太郎君ガ起草シタノデアッテ、十分ニ吞込メナイト云フヤウナ御話ガアッタガ、過日林田君ハ唯、簡單ニ私モ賛成者ノ一人ニナッテ居ルカラ、答辯ヲ致シテモ宜シイノデスト云フ御話デアッタノデアリマスガ假令起算者デアルニ致シマシテモ、大凡立法ヲ爲スト云フ提案者ハ、大ナル確信ト自信ガナケレバイケナイト私ハ思フノデアリマス、先ヅ私ハ細カイトコトハ申シマセヌ、併ナガラ過日尾崎君ノ御提案ノ理由ニ依リ速記録カラ見出シマシタナラバ、私ハ先ヅ三ツアルト思ヒマス、其三ツノ點ニ付キ伺ヒマス、私ハ此政黨自體ノ問題ニ對スル法律案ハ、眞面目ナル吾立法府ニ於ケル議員ト致シマシテ、果シテ法規ノ制定ヲ爲ス所ノ理由アリヤ否ヤ、此根本問題、私ハドウシテモ法律ノ制定ガ困難デアルト云フコトヲ感ジタノデアリマス、隨テ私ハ此三ツノ尾崎君自身ノ御演說中ノ理由ヲ拜借シテ、私ハ法規ノ體裁ヲ爲スコトガ、尾崎君ノ御説明通りデアッタナラバ、出來ナイト思フコトヲ根本問題トシテ、御尋致シテ見タイト思フノデアリマス、凡ソ法律ハ吾々眞面目ニ考ヘテ見マスナラバ、如何ニシテ此法律ヲ制定スルカ、殊ニ罰則規定ニ至リマシテハ、必ず母法ガナケレバナラナイト思フノデアリマス、例ヘバ暴力取締法案ヲ上程スル以上ハ、其根本ノ暴行罪デアイケナイ、多衆聚合シテ此多衆ノ集團ノ力デ暴行ヲ爲スト云フコトヲ、特ニ之ヲ取締ルノダト云フヤウナ場合、所謂刑法ニチヤント暴行罪ノ規定ガアッテ、ソレニ根據ヲシテ、尙ホ多衆集團ノ暴行ハ、モウ一層強ク取締ルノデアルト云フ法律、他ノ罰則規定ノ根本法ト離ルベカラザル所ノ關係ヲ持ッテ居ナケレバナラナイト思フノ

ナガラ是ハ法律上公ノモノデハナイノデア  
 リマス、吾々現實ニ政黨ヲ組織シテ此所ニ  
 アリマスノハ事實デアリマスガ、一箇ノ法  
 律問題トシテ此政黨ガ公ノモノデアルト云  
 フコトハ如何ナル根據ニ依テ仰セシナル  
 カ、此單純ノ事實ヲ捉ヘテ——營利會社  
 ニシテモト仰セシナルガ、營利會社ハ一ツ  
 ノ株式組織、我ガ法律ニ於テ——商法ノ規  
 定ニ於テ公ノ法律ニ基ク團體デアルノデア  
 リマス、市町村ニシテモ府縣會ニシテモ、  
 我ガ行政法規上チヤント存在スル所ノ一ツ  
 ノ公ノ機關デアル、吾々政黨ハ公ノ事實ナ  
 リト云フコトハ實際ニハ認メルケレドモ、  
 法律上何等根據ナク、左様ナ公ノ團體ハ私  
 ハ法律上認メタモノデハナイノデアリマス  
 カラ、此事實ヲ捉メテ公ノ團體ナルガ故  
 ニ此基礎ニ向テ法律的制裁ヲ加ヘルノデ  
 アルト仰セシナツテモ、私ハ法律上ノ問題  
 ノ公ト仰セシナルノカ、或ハ事實上ノ公デ  
 アルガ故ニ、事實上存在スル政黨ト云フモ  
 ノニ科スルノデアルト云フコトハ、凡ソ法  
 規ヲ制定スル時ニハ、法律の根據ガナケレ  
 バ、公ノ團體ト云フモノハ、吾々認メルコ  
 トハ出來ヌト思フノデアリマス、即チ尾崎  
 君ハ恐ラク單純ナル法律ヲ一般ノ現在ノ日  
 本國家ノ行政カラ、政黨アリ、此事實アリ、  
 隨テ之ヲ公ノモノナリト仰セシナルカモ知  
 ラヌケレドモ、法律的見地カラ言フテ、私  
 ハ是ハ公ノモノデハナイ、個人々々ノ關係  
 デアツテ、何等法規ニ根據スルコトノ出來  
 得ナイ斯様ノ團體ヲ捉ヘテ、之ヲ公ノモノ  
 ナリト云フ斷定ハ、此假定ニ基イテ政黨ニ  
 金品ヲ供與スルモノニ付テハ、之ヲ罰スル  
 ノダト仰セシナルコトハ、恐ラクハ尾崎君ハ  
 法律ニハ御憤レニナツテ居ナイモノト見ヘ  
 テ、法律ト實際問題ヲ混同セラレテ居ルノ  
 デアリマスカラ、此罰スベキ根據ノ主體ノ

無イ所ノモノニ向テ、如何ニ犯罪主體ト  
 シテ之ヲ認メヤウトシテモ、私ハ法律ノ根  
 本法制ヲ缺クモノデハナイカト思フテ居ル  
 者デアリマス、次ニ私ハ、現在ハ人ガ惡イ  
 ノデハナイ、其組織ガ惡イノデアル、政黨  
 ガ惡イノデハナイ、政黨ヲシテ秘密ニ金錢  
 ヲ受ケル、秘密ニ之ヲ使ハシメルト云フ現  
 在ノ制度ト云フモノガ惡イノデアル、斯様  
 ニ御述ニナツテ居リマスガ、吾々ハ從來日  
 本語テ制度デアルトカ、社會組織ガ惡イノ  
 デアルト云フコトハ、私ハ現在ノ日本ノ國  
 家ノ組織ノ上カラ云フナラバ、少クトモ資  
 本制度ニ對スル所ノ此私有財產制度ヲ撤廢  
 シテノ社會制度ニ改善ヲシナケレバナラ  
 ナイ、即チ社會主義若クハ「コンミユニズム」  
 ニ變ヘナケレバナラナイト云フ意味カラ、  
 吾々ハ社會組織ガ惡イト云フコトヲ聞イテ  
 居リマシタガ、社會組織ガ惡イト云フ立法  
 理由ハ、此社會組織ト云フ御言葉ハ如何ナ  
 ル意味ニ於テ仰セシナツテ居ルノカ、是ガ  
 此提案ノ、此根本ノ一ツノ御理由ニナツテ  
 居ルヤウデアリマスカラ、其點ヲ第二ニ御  
 伺シタイノデアリマス、最後ニ政黨ノ性質  
 即チ國家人民ノ爲ニ働クト云フ本來ノ性質  
 カラ照シテ、此金ハ世間全體一般ノ公衆ノ  
 零細ノ小財ヲ寄附シテ維持スルト云フノ  
 ガ本來ノ性質デアリマス、一般公衆ノ爲  
 ニ働クモノハ一般公衆カラ小財ヲ集メテ、  
 ソレデ維持シテ居ルノデアリマス、歐米  
 諸國ニ於テソレデ維持シテ居ル政黨ハア  
 ル、又歐米諸國バカリデハナイ、斯ウ云  
 フコトヲ御述ニナツテ其次ニ「是ハ一般公  
 衆カラ小財ヲ集メル、五十錢一圓ノ零細  
 ノ金ヲ集メテ黨費ヲ支辨スルヨリ外ニ立  
 場ハアリマセヌ」ト斯様ニ仰セシナツテ  
 居リマス、私ハ大體此政黨ノ金ヲ政黨ト云  
 フモノガ受ケルノガイケヌト云フ貴方ノ御

趣旨デアツタナラバ、絶對ニ政黨ノ金ハ左  
 様ナル一般國民公衆カラ受ケルモノデナイ  
 ト云フ前提ニ御立チニナルナラバ、理論ハ  
 明カデアリマスケレドモ、尾崎君自身ハ澤  
 山ノ金ハイケナイガ、少數一般國民公衆カ  
 ラ集メル金ハ差支ナイノダト云フテ、政黨  
 ガ金ヲ集メルコトハ御認ニナツテ居リマス、  
 果シテ然ラバ、吾々此少數小財ノ金ハ、可  
 ナリ、一圓ハ小財デアリマセウ、或ハ十圓  
 モ小財デアリマセウ、百圓ニ比例シテ見タ  
 ナラバ、若クハ政黨ガ何十萬圓ノ大資本家  
 カラ何十萬圓ノ金ヲ取ツタナラバ、百圓ニ  
 百圓モ亦小財デアルト謂ハナケレバナラ  
 ナイ、果シテ小財ヲ集メルコトハ御認ニナ  
 テ居ルガ、其小財ノ程度ト云フモノハ如何  
 ナル範圍デアルカト云フコトハ私ハ明カデ  
 ナイ、尙ホ進ンデ言フナラバ、公衆ト仰セ  
 ニナルガ、今ノ財閥ノ存在スルト云フコト  
 ハ、貴方ノ仰セノ如クニ、吾々現在ノ資本  
 制度カラ見テ、私有財產制度カラ見テ、金  
 ヲ持ツテ居ル其連中カラ取ルト云フコトハ  
 イケナイト仰セシナルケレドモ、左様ナル  
 財閥ト云フモノハ、一ツノ裏面ニ於ケル所  
 ノ背景デアツテ、矢張是カラ受ケル金モ一  
 般公衆デアラネバナラヌト私ハ思フノデア  
 リマス、果シテ一圓十圓ノ金可ナリ、百圓ハ  
 イケヌト云フ其程度ガ明ニナラヌノミナラ  
 ズ、是亦現在少數ノ財閥モ國民一般公衆ナ  
 レバ、勞働者ノ五十錢ノ金モ如何ニモ一般  
 公衆デアルトシタ時ニ於テ、左様ナ背景ニ  
 在ル財閥關係デアルト云フ程度ガ如何ニシ  
 テ區別ガ立ツカ、所謂一般公衆カラ政黨ハ  
 金ヲ受ケルト云フコトヲ御認ニナツテ其公  
 衆ノ範圍ト云フコトガ明確デナイ、私ハ此  
 意味カラ見テ、全ク人間生活ノ内面的ノ方  
 面ヲ御探リニナツテ、之ヲ公ノ法律ニ依ツテ  
 制定シヤウト云フコトハ——今言ウタ政黨

ト云フモノハ單ナル事實デアアル、私ハ何等  
 法規ニ基ク所ノ公ノ團體ニアラズ、隨テ斯  
 様ナルモノヲ捉ヘテ公ノモノナリト御假定  
 ニナツテ、之ヲ犯罪ノ主體トシテ罰シヤウ  
 ト云フコトガ相分ラナイト云フ事ト、今言  
 ウタ少數小財ノ金ハ、御集メニナツテ可ナ  
 リト云フガ、此少數小財ノ金ト云ヒ、反面  
 ニ於ケル財閥關係ト云フモノヲ云々シテ、  
 同ジク寄附ヲ受ケナガラ、才前ハ財閥ナル  
 ガ故ニ此金ハイケナイノダト云フ程度ハ、  
 何處デ法律的ニ決メラレルカ、十圓ノ金ヲ  
 賞タノト財閥カラ百圓ノ金ヲ取ツタノト、  
 サウ云フヤウナコトハ取ツタ金ハ法律上ノ  
 見地カラ云ウカラ同等デアラネバナラヌ、  
 此時ニ於テ是ハ一般公衆デアリ、是カラ取  
 ツタ金ハ一般公衆デナクテ少數財閥ナリト云  
 フヤウナ區別ハ、斷ジテ私ハ付ケルコトハ  
 困難デアルト思フノデアリマス、隨テ尾崎  
 君ハ恐ラク社會問題或ハ現實ノ事實問題、  
 之ニ伴フ法律問題、有ユルモノガ減茶苦茶  
 ニ混ガラガツテ、斯様ナル御提案ヲサツタ  
 モノト考ヘルノデアリマス、之ニ付テ此二  
 ツノ點ヲ明確ニ御答辯ニナラナケレバ、所  
 謂本案制定ノ根本趣旨ハ分ラナイノデア  
 リマスカラ、此二ツノ點ニ付テ御答辯ヲ願  
 ヒタイト思フノデアリマス(拍手)

(「登壇」(登壇)ト呼ブ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 登壇ヲ望ミマス

(「尾崎行雄君登壇」)

○尾崎行雄君 御答ヲ致シマスガ、議長ガ  
 御許ニナルカナラヌカラ疑フノデアリマ  
 ス、私ハ大體ニ御質問ト云フヨリカ、私ノ  
 演說ニ對スル御議論ト承ツタ、若シ御質問  
 ト云フ言葉ニ對シテ十分御議論ヲスルコト  
 ヲ御許ニナルナラバ、私ハ結構ノ至リデア  
 リマスカラ、三十分カ一時間御許ヲ得テ、  
 茲ニ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、御質問

デハナイ御議論ニ對シテ——併ナガラソレハ議事規則ニ抵觸シタルコトデアリマスルカラ、御議論ノ中無理ニ質問ト爲シ得ベキダケヲ御答致シマス、議論ハ致シマスマイ私ハスルコトハ便利デアリマス、原君ヲ相手トシテスルコトハ甚ダ名譽トスル所デアリマス、第一ニ法律上政黨ハ……

〔發言スル者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○尾崎行雄君(續) 法律上ノ團體デナイカラ法律ヲ以テ制裁ヲ與ヘルコトガドウトカ、斯ウトカ云フコトデアリマシタガ、私ハ政黨ハ法律上ノ團體ト見テ居ルノデアリマス、ソレヲ御覽ニナラヌト云フナラバ

是ハ御議論デアアル、治安警察法ニ依テ届出ヲシナケレバナラヌ所ノ法律上ノ團體デアアル、他ノ會社ト其他ト少シモ違ヒガアリマセヌカラ、是ハ私ノモノデナイガ故ニ、法律上ノ制裁ガ當然及ブベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ上ハ議論デアリマス、ソレカラ第二ニ組織ガ惡イト言ク

ハ、是ハ私ノ演説ヲ御聽違ヒニナクタクト、思ヒマス、初メ確カ政黨ト云フ言葉ヲ用ヒタノデアリ、政黨其モノガ惡イノデアリ、政黨ニ關スル制度、即チ法律關係ガ惡イカラ、其結果トシテ資金ヲ秘密ニ受取テ、秘密ニ使フコトヲ許シテ居ル、是ガ惡イノデアルト斯ウ申シタノデアリマス、政黨ハ惡イ所デハナイ、出來ルダケ善クスルガ爲ニ私ハ一生ヲ抛テ居ル者デアリマスカラ、社會主義ガドウトカ何ト云フモノト並ベテ御話ニナルト云フコトハ、

全ク私ノ演説ヲ御聽違ヒカ、御讀違ヒニナクタクト、思ヒマス、公ニスルコト云フコトノ組織ニサヘスレバ、今日ノ制度ニ伴フテ起ル所ノ弊害ノ大部分ハ、ソレデ直ルト、私ハ見テ居ルノデアリマス、若シ直ラヌト御

覽ニナルナラバ、是ハ議論デアッテ質問デハナイ、第三ニ公衆カラ受ケル金、或ハ私ノ金ヲドウトカ云フコト、是モ大體ハ御議論ト承リマシタガ、私ノ意味ハ貴方ノ御話ニナル意味デハナイノデアリマス、零細ト云フ言葉ハ使ヒマシタケレドモ、廣ク百万千人ノ人カラ募ル時ニハドウシテモ零細ニナルノデアアル、國民ノ大部分ハ何百万圓何億萬圓ト云フ金ヲ持ッテ居ラヌ人デアリマスカラ、廣ク世間カラ募ル時ニハドウシテモ貧乏人ヲ相手ニシナケレバナラヌ、隨テ入ル所ノ金ハ自然零細ニナルノデアリマス、併ナガラソレガ零細ニナラヌデ一億圓ノ小財、何ノ求ムル所ナク一億圓ノ小財ヲ投ズル者ガアルナラバ、是ハ受ケテ一向差支ナイノデアリマス、唯、御用商人、爲ニスル所アッテ之ヲドウスレバドレダケノ請負ヲ取ルコトガ出來ル、之ヲ出セバソレ

官報號外 昭和二年二月十六日 衆議院議事速記第十三號 恩赦令ニ關スル緊急質問

ダケノ特許ヲ得ラレルト云フヤウナ、法案ニ於テ數ハ擧ゲラレル特別ノ利益ヲ、政府ニ對シ若クハ立法府ニ對シテ求ムル所ノ人カラ取ルノガ惡イト云フコトデアッテ、金額ノ多少デハゴザリマセヌ(拍手)若シ三菱ガ何ノ求ムル所ナクシテ一億圓ノ金ヲ出スナラバ、是ハ黙ッテ御取ニナッテ天下ニ公表シテ、三菱某ガ一億圓ノ金ヲ出シタ、此通リ使フト御公表ニナッテ一向差支ナイノデアリマス、ソレト同時ニ三井ガ僅カ百圓ノ金ヲ出シテ、之ヲヤルカラ此請負ヲサセテ吳レト云フ風ニ言クナラバ、此百圓ガ矢張り有罪ニ扱ヒタイト云フノデアリマスカラ、其點ハ先日ノ演説ニ於キマシテ明瞭ニ申シタ積リデアリマスケレドモ、不幸ニシテ御聽違ヒニナクタクトハ私ノ責デアリマス、ドウソウ向ホ一度速記録ヲ御讀ミテ願ヒタイ(拍手)

○議長(粕谷義三君) 原惣兵衛君

○原惣兵衛君 此處デ御許ヲ願ヒマス

○議長(粕谷義三君) 許シマス

○原惣兵衛君 只今尾崎君ノ御答辯ニ依リマス「政黨ハ公ノモノナリト私ハ考ヘマス」斯様ニ仰セニナリマスルガ、法律ニ依テ居ルモノダト云フ所ノ仰セニ依ッテ、何等ソレ以外ノコトヲ御用ニナッテ居ナイノデアリマス、併ナガラ細イコトハ申シマセヌガ、法律上ノ問題デアリマスカラ、小財ガドウデアルト云フ區別ノ見地ヨリ御尋シタノデアリマス、或ハ政黨自身ガ公ノモノデアリヤ否ヤ、法律上ノ見地カラ根據トハ申シマセヌガ、此御答辯ガナイノデアリマスカラ、私ハ到底満足ノ答辯ヲ得ラレナイモノトシテ、委員會ニ於テ致シマス

○議長(粕谷義三君) 砂田重政君

○砂田重政君 日程第十二、十三、十四、ノ三案ハ一括シテ、林田龜太郎君外一名提出、衆議院議員選舉法中改正法律案外一件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス

○砂田重政君 此際議事日程變更ノ動議ヲ提出シマス、即チ黒住成章君提出ノ恩赦令ニ關スル緊急質問、及三善清之君提出ノ米國提議ノ第二軍縮縮小ニ關スル緊急質問ノ二件ヲ逐次議題ト爲シ、其審議ヲ進メラレシコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 許シマス

○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ動議ニハ成規ノ賛成ガアルト認メマス、此動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス

ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、順次提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——恩赦令ニ關スル緊急質問、黒住成章君

恩赦令ニ關スル緊急質問(黒住成章君提出)

○黒住成章君 恩赦ノ奏請ニ關シマシテ、總理大臣及以下論ジマスル關係所管ノ國務大臣ニ對シ、一二ノ質疑ヲ試ミタイト存ジマス、勿論大權私議ヲ致ス者デハゴザイマセヌ、責任内閣制ノ下ニ於ケル國務大臣ニ對シマシテ、其輔弼ノ責任ニ關シ御尋ヲ致スノデアリマスカラ、以下言葉ノ不足ガゴザイマシテモ、此趣意ニ御聽取リテ願ヒタイノデゴザイマス、諸君、先帝遺ニ御登遐遊バシマシテ、萬民舉ゲテ痛哭措ク能ハザル所デゴザイマス、去ル二月七日大正天皇大喪ノ御儀ヲ行ハセラルニ當リ、廣ク有辜ヲ矜ミ給ヒ、畏レ多クモ恩赦ノ大詔ヲ渙發セラレマシテ、新帝ノ御聖意遠近ニ洽クセラレマシタルコトハ洵ニ恐懼感激ノ至リニ堪ヘマセヌ、而シテ此度ノ恩赦ノ範圍ハ大赦、減刑、復権ニ及ビ、其範圍極メテ廣ク、殊ニ衆議院議員選舉法違反ノ罪及選舉ニ關シ、其罰則ヲ準用スル各般ノ法令違反ノ罪、是等ヲモ赦免セラレタノデゴザイマス、又其資格ヲ回復セシメ給ヒマシタルコトハ、普選ニ直面シタル今日、大御心ヲ拜察シ奉リマシテ、聖恩ノ優渥ナル唯、感泣ニ堪ヘザル次第デゴザイマス、又恩赦中官吏及官吏待遇者並ニ陸海軍懲罰令、其適用ヲ受クル者ニ對シテハ、懲戒又ハ懲罰處分ヲ免除セラレタルノミナラズ、未ダ處分ヲ受ケザル懲罰中ノ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス

旨ノ有難キ恩赦ニ相成テ居リマス、尙ホ宮内職員ノ懲罰免除ト云ヒ、又出納官吏ノ辨償責任ノ免除ト云ヒ、苟モ漏ラズ、如何ニ聖恩ノ無窮、御仁徳ノ洽キカヲ拜察致スニ難カラヌノデアリマス、而シテ今回ノ此恩赦ニ浴シタル者其數無數、復権者ダケデモ優ニ二十万人ヲ超エルト云フコトデゴザイマス、然ルニ甚ダ私ノ了解致シ兼ネマスモノハ、等シク公務ニ従事シ、其任務ニ於テ官吏ニ比シ輕重ノ無イ公吏、此公吏ガ宏大ナル聖恩ノ惠澤ニ浴シテ居ラヌノハ、如何ナル理由ヲ御奏請ニテラヌノデアリマス、又司法ノ三機關ノ一ト致シテ常ニ法律ニ貢獻シ、司法ノ運用ト向上發展ニ竭シテ居リマスル所ノ辯護士ハ如何、又任免ニ依テ進退ヲ致シマスル公證人、言フマデモナク公職デゴザイマシテ、契約ノ成立、效力ヲ確證スル公ノ機關デゴザイマス、是ハ如何ナル理由ヲ御奏請ニテラヌノデアリマス、等シク司法系統デアテ執行機關デアル所ノ執達吏、即チ是ハ官吏待遇トシテ恩赦ガ及ンデ居ルノデアリマス、公證人ニ對シテト其選ヲ異ニセラレタル理由如何、尙又産業、貿易ニ極メテ重要ナル海運ノ任務ニ從事致シテ居リマス所ノ高等海員、此高等海員ニ對シテハ之ヲ遇スル法令常ニ峻嚴デゴザイマス、之ニ對シテモ尙ホ及ンデ居リマセヌノハ如何ナル理由デアるか、是等ハ概ネ職務上ノ懈怠、過失ヨリ招キタル所ノ懲戒、懲罰デゴザイマシテ、是等ニ對シ恩赦奏請ヲ爲サラヌノハ、恩赦令ノ御詔勅ニ鑑ミ、御聖旨ニ背キ奉ル虞ハナシカト、先ヅ此點ニ付キマシテ、總理大臣及各關係國務大臣ヨリ、各是等ニ關シテ奏請ヲセラレザリシ理由ヲ伺ヒタイト存ジマス

〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 此度恩赦ノ御沙汰ガアリマシタニ付テ、是ガ奏請ヲ致シタ其中ニ、只今御舉ゲニナク公吏、辯護士、公證人或ハ航海ニ従事スル人等ノ事柄ガ、奏請ヲ致シテ居ラナイヤウデアるか、ソレハドウ云フモノデアるかト云フ御質問デアリマス、恩赦及懲戒ノ免除ハ、國家ノ大事ニ際シマシテ是迄モ數回行ハセラレタルモノデアリマシテ、之ヲ奏請スルニ付テ其範圍ヲ何處マデニ及ボシテ行クノガ然ルベキカト云フコトハ、頗ル慎重ニ考慮スベキ問題デアリマス、而シテ他ニ重大ナル事態ノ變動ガアリマセヌ限リハ、成ベク先例ニ倣ヒマスコトガ最モ妥當デアルト認メタノデアリマス、只今黒住君ノ御舉ゲニナリマシタ資格ノ上カラ申上ダルト、私モ其資格上ニ付テハ、サウ權衡ヲ失テ居ルモノデアルトモ認メマセヌケレドモ、是迄ノ先例ニ於テハ、ソコマデニ至ラナクテ居ルノガ常ニ行ハセラレテ居ル所デアリマス、今回モ成ベク他ニ事情ガナイ限リハ、先例ニ從フノガ相當デアラウト存ジマシテ、今回御發令ニナリマシタヤウナ範圍ニ於テ、奏請ヲ致シタ次第デゴザイマス、此段御答辯ヲ申上ダマス(拍手)

〔黒住成章君登壇〕

○黒住成章君 只今總理大臣ヨリ簡單ナル御答辯ガゴザイマシタガ、私ノ伺ヒマスル問旨ニハ一向ニ副ハナイノデアリマス、尤モ御答辯ノ中ニ、如何ニモ私ノ數ヘタ公吏等ガ、只今恩赦ニ浴シテ居リマスル官吏又ハ官吏待遇者ト稍、似テ居ルモノデアるか、之ニ吾々ハ區別ヲ認メル程ニモ考ヘヌト云フヤウナ御趣意ノ御話ガゴザイマシタガ、御贊成ノヤウナ、又サウデナイヤウナ、甚ダ其意ヲ解スルニ苦ムノデアリマス、又曰ク、以前ニ行ハレマシタル恩赦ノ例ニ

倣ヒ、而シテ更ニ擴張ヲ致サヌ方針ヲ奏請シタ、斯ウ云フ趣旨ノ御答辯デゴザイマスガ、此度ハ未ダ會テ恩赦ニ浴シタコトノナイ選舉違反ノ罪、即チ衆議院議員選舉法違反ヲ初メ、此罰則ヲ準用スル所ノ各選舉法違反ノ犯罪ニモ及ンデ居ルノデアリマス、蓋シ是等ノ犯罪ヲ奏請ナサレタノハ、時代民心ノ推移ト、又御踐祚直後ニ御發令ニナリマシタル御詔勅ノ趣旨ヲ、總理大臣ハ能ク拜察セラレテ此處ニ出デラレタモノト考ヘルノデアリマス、何モ舊例ニ則リ更ニ擴張スルト云フコトヲ欲セヌト云フ御答辯ハ、理由ニハナラヌト考ヘルノデアリマス、左様ナコトヨリ私ハ先ヅ總理大臣並ニ各大臣ノ官公吏ノ取扱ヲ異ニスル思想ヲ伺ヒタイノデアリマス、言フマデモナク政治ニ、經濟ニ、眞ニ國體ヲ鞏固ニ致シマスルノニハ、地方自治ヲシテ隣佑團結ノ實ヲ舉ゲシメ、サウシテ社會上、經濟上ノ協同力ヲ完全ニスルト云フコトガ第一義デアルコトハ言フマデモナイノデアリマス、地方ヲ離レテ國家ハナイ、地方自治ヲ無視シテ國運ノ興隆ハ私ハ望マレヌト思フ、政府モ亦諸多ノ施設ニ於テ、即チ自治ヲ尊重ナサルト云フコトハ、常ニ兩院ニ於テ總理大臣以下内務大臣ノ御求ニナラテ居ル所デアル、地方自治ノ中心デアテ、サウシテ之ヲ指導シ、執行スベク其行政機能ヲ掌シテ居リマスル公吏ノ任重キコト、私ハ官吏又ハ官吏待遇者ニ比シ優ルトモ決シテ劣ルモノデハナイト考ヘルノデアリマス、殊ニ近年中央集權ノ宿弊ヲ救フガ爲ニ、政治ニ、財政ニ、又産業ニ、漸ク自治ヨリ自治ニ、中央ヨリ地方ヘ、所謂分權推移ノ跡ガ歴々トシテ見エルノミナラズ、又是ハ朝野舉ゲテ熱望致スル所デアリマス、故ニ今日ニ於キマシテハ公吏ノ任重ク、且ツ公吏ニ期待スル所ハ益々大ナリ

ト言ハザルヲ得ナイ、然ルニ恩赦ニ際シテ公吏ノ懲戒、懲罰、赦免ノ奏請ヲ爲サラヌト云フコトハ、獨リ此等罪ニ泣ク公吏ニ於テ心平カナラザル者アルコトハ言フマデモナク、自治體ノ大動脈タル全國數十萬ノ公吏ノ思想上ニ及ボス重大問題デアルト考ヘルノデアリマス、此意味ニ於テ如上公吏以下ノ恩赦不奏請ノ問題ハ極メテ重大デアリマス、即チ聖旨ニ背キ奉ラヌカト質スノデアリマス、今一度公吏等ニ對スル總理大臣ノ不奏請ノ責任感ヲ伺ヒタイト思ヒマス、併セテ内務大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマス

〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 只今黒住君ヨリ地方自治團體ノ事務ニ従事シテ居ル者ノ其職務ノ重要ナコトニ付テ御述ニナリマシタ、是ハ私全然御同感デアリマス、自治行政ガ大ニ舉ルト云フコトハ國家ノ爲ニ大切デアルコトハ固ヨリデアリマス、又是ガ事務ニ従事シテ居リマス公吏ノ公共の努力ト云フモノニ向テハ、私ハ黒住君ト御同様ニ深ク謝意ト敬意ヲ持テ居ル者デアリマシテ、其點ニ付テハ決シテ異ニテ居ナイノデアリマス、ソレナラバ今回ノ恩赦ヲソコニ及ボスノガ當然デアラウト云フ御意見ノヤウデアリマス、或ハサウ云フノモ相當ナ御意見デアラウト思ヒマスガ、前申上ダタ通り今回ハ——今回ニ限リマセズ、是迄ノ恩赦ニ於テハ大體先例ヲ追ウテ居ラセラレルノデアリマス、此度モ矢張大體先例ニ依ルト云フノデ、奏請ハ前ニ申上ダタ範圍ニ止メタノデアリマス、是故ニ公吏其他御指摘ニナリマシタ職務ニ當テ居ル人達ニ對シテ、決シテ同情又ハ敬意ヲ缺クト云フ所以デアリマセヌ、政府ノ趣旨ハ唯、大體ニ於テ大ナル變化ガナイ限リハ、先例ニ從テ奏請シタラ宜シカラウト云フダケノ意味ニ止

テ居ルノデアリマス(拍手)

○黒住成章君 簡單デアリマスカラ此席ヨリ—私ガ再度質問致シマシタ趣旨ニ御答ガナイ、即チ前例ニ依テ新ニ擴張致サヌト云フ御答辯デアリマスガ、選舉違反ノ罪ヲ擴張サレ、而シテ此聖恩ニ浴スベキ者ガ非常多數デアリマス、是ハドウカト云フコトヲ伺ヒマス、尙ホ司法大臣ノ辯護士ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

(國務大臣若槻禮次郎君登壇)

○國務大臣(若槻禮次郎君) 如何ニモ此度ハ選舉法違反ノ者ニ大赦令ヲ及ボサル、コトニナリマシタ、左様ニ奏請ヲ致シマシタ、是ハ私只今申上ゲル事柄ニ大ナル變動ノナイ限リハ先例ニ依ルト申シマシタガ、今回ノ選舉法改正ハ大體選舉權、被選舉權ニ於テモ從來トハ大變ナシ變化デアリマス故ニ、取締ノ規定ノ上ニ於テ餘程變テノデアリマス、此大ナル變化ノアツタ場合ニ、選舉違反ノ者タケハ恩赦ノ特典ヲ蒙ラシメテ、新シイ選舉ニ於テハ總テ法律ニ規定セラレタル資格ノアル者ニハ、成ベク選舉權ヲ行ハセタイト云フ趣旨ヲ含シテ奏請ヲ致シマシタ、是ハ如何サマ先例ニハ依ッテ居リマセヌガ、是ハ事柄ガ大變—此際ハ大ナル變動ヲ來スヤウニ相成ッテ居ルト考ヘマシタ故ニ、左様ニ奏請ヲ致シタノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス(拍手)

(國務大臣江木翼君登壇)

○國務大臣(江木翼君) 御答ヲ致シマス、公證人並ニ辯護士等ニ付キマシテハ、總理大臣ガ總括的ニ御答辯ニ相成リマシタ通りデ、私モ一向意見ガ違ハナイノデアリマス  
○黒住成章君 モウ質問ハ致シマセヌガ少シモ満足シタル御答辯ヲ得マセヌノヲ甚ダ遺憾ニ存ジマス、若槻總理ハ如何ニモ官吏

ノ御出身デ在ラセラルレノデ、官吏ニ對シテハ中ニ能ク御届キニナリマスガ、只今申上ゲマスルヤウナ、非常多數ノ罪ニ泣イテ居リマス公吏ニ對シテハ甚ダ冷淡デアリマス、併ナガラ總理ハ一方ニ於テ政黨ノ總裁デ在ラセラル、ノデアリマスカラ、今後ニ於テ特ニ御留意ヲ願ヒタイ、而シテ私ノ注文ハ今後再ビ恩赦ノ行ハレマスル際ニ於キマシテハ、只今私ガ質問致シマシタル諸多ノ問題ニ付キマシテ、篤ト御考慮ヲ得タイト云フコトヲ註文致シテ置キマス

○訓議長(小泉又次郎君) 次ハ米國提議第二軍備縮小ニ關スル緊急質問—辯明者三善清之君

米國提議第二軍備縮小ニ關スル緊急質問(三善清之君提出)

○三善清之君 諸君私ハ總理大臣、外務大臣、海軍大臣ニ對シテ緊急質問ヲ致スノデアリマス、事外交ニ關スル問題デアリマス故ニ、或ハ私共ノ誤解モアルカモ知レマセヌカラ、ドウカ政府ノ懇切ナル御答辯ヲ煩シタイモノデアリマス、質問ノ要旨ハ、今回米國大統領ノ提案ニ係ル、第二海軍軍備縮小ニ關シテ茲ニ質問ヲ致スノデアリマス、質問ノ要項ヲ單簡ニ四ツニ分チマシテ、米國提案ノ眞意如何、又米國提案ノ内容如何、次ハ軍備會議ノ性質如何、次ハ我が補助艦艇ノ最小限度如何、斯様ナ四ツノ事項ニ分チテ御尋ヲ致スノデアリマス、而シテ私ガ五大強國ノ昨年度ニ於キマスル軍事實費ヲ調査シテ見マス、之ヲ日本ノ圓ニ換算致シマシテ、米國ハ四十四億圓デアリマス、英國ハ十二億圓デアリマス、佛國ハ六億圓デアリマス、伊國ハ五億三千万圓デアリマス、日本ハ四億四千万圓デアリマス、五大強國ノ

中デ日本ハ一番少ナイ、併ナガラ歐洲大戰以後ニ於キマシテ、列國ハ殆ド斯ノ如キ比例ニ於テ、毎年多大ナル軍事實費ヲ支出シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ莫大ナル軍事實費ヲ御互ニ投ジマシテ、軍備ノ競争ヲ致スコトハ、ドウカ避ケタイモノデアルト考ヘルノデアリマス、吾々ハ最モ平和愛好ノ主義ノ者デアリマシテ、世界列強ノ軍備ヲ更ニ大ニ縮小スルコトニ賛成致スニ於テ各ナラザル者デアリマス、費クハ世界ノ列強ガ全然純真ナル平和主義ヲ以テ海軍、陸軍及空軍ノ此三軍ヲ全廢シテ費ヒタイ、而シテ其軍事實費ヲ以テ産業經濟ノ方面ニ轉換セラレンコトヲ切望シテ已マザル者デアリマス、而シテ今回米國大統領ノ提案ノ眞意ガ、果シテ純真ナル軍備縮小主義デアリマスナラバ、先ヅ以テ米國自身ガ華盛頓會議ニ於ケル彼等英、米ノ格位ガ主力艦十割ト云フ、此比率即チ噸數ニ於キマシテハ英米ハ各五十二万五千噸ト云フ、此大軍國主義ヲ先ヅ以テ自ラ之ヲ改メテ、之ヲ半減ニスルカ、若クハ三分ノ一位ニ減少ヲシテ、而シテ比較的弱小國ナル日、佛、伊太利等ニ向ッテ、軍備ノ縮小ヲ交渉サル、コトヲ吾々ハ希望シテ已マナイ、果シテ左様ニ米國ガ致スナラバ、吾々ハ米國ヲ平和ノ神トシテ、此上眞ニ崇拜致スコトニ於テ更ニ躊躇シナイ者デアリマス、左様ナル軍備ガ出來マスコトヲ贊成スルコトニ於テ、更ニ吝ナラザル者デアリマス、而シテ米國ノ上院ニ於キマスル近來歐洲大戰以後ノ狀況ヲ見マスルノニ、海軍、陸軍、空軍、此三軍ノ擴張主義ヲ以テ、毎年軍國ノ氣勢ヲ揚ゲテ居ルノデアリマス、是ハ確ニ其實行ガ出來テ居リマスノデアリマス、而モ吾々聞ク所ニ依レバ、米國ノ愛國婦人會ハ盛ニ此軍備ノ擴張ヲ絶叫シテ居ルノデアリマス、實ニ吾々ハ驚愕ニ堪ヘ

ナイ、日本ニ於テハ—日本ノ愛國婦人會ニ於テハ、左様ナ婦人ハ築ニシタクトモ一人モナイコトハ、世界列強ノ普ク知ル所ノ事實デアリルト信ズルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、而シテ今回ノ米國大統領「クローツ」氏ノ提案ノ内容ヲ見マシテモ、其軍國主義ガ洵ニ明瞭ニ現レテ居ルノデアリマス、即チ米國自身ハ少クとも軍備ハシナイノデアリマス、主力艦十割ト云フコトハ、既ニ曩ノ華盛頓會議ニ於テ決メラレテ、而シテ今回ハ又彼等英米ハ巡洋艦モ十割、驅逐艦モ十割、戰艦艦モ十割ヨリ減セラレタイト云フ提案デアリマス、日本ハ曩ニ既ニ主力艦ヲ六割ニ制限セラレテ居ルノデアリマスガ、更ニ又々今回此提案ニ依ッテ日本ノ巡洋艦ヲ六割ニ、驅逐艦モ六割ニ潜水艦モ六割ニシヤウト云フ、斯様ナ縮小ノ提案ヲ以テ吾々ニ相談ニナツタノデアリマスガ、頗ル蟲ノ好イコトデアルト吾々ハ感ズルノデアリマス、諸君、軍備ナルモノハ單リ海軍ノ縮小ノミデ通用ハ致シマセヌ、今日ハ實ニ空軍ノ世界ニナリツ、アルノデアリマス、而シテ日本ノ空軍ハ殆ド零デアリ、殆ド價值ガナイノデアリマス、而シテ英米其他ノ各國ニ於ケル航空術ノ進歩、發達及ビ其擴張ハ洵ニ偉大ノモノデアリマス、故ニ軍備縮小ト申シマスナラバ、單リ海軍ノミナラズ、陸軍及空軍ノ此三軍ヲ通ジテ各國ガ縮小ヲ實行シナケレバ、眞ノ軍備縮小ハナイト私ハ信ズルノデアリマス、然ルニ單リ日本ノ海軍ノミノ縮小ヲ提出サレタコトハ、決シテ軍備縮小ハナイト私ハ斷言スル、而シテ日、佛、伊ノ如キハ比較的弱小ノ國デアリ、是等ノ國ニ向ッテ彼等英米ノ強大國ガ軍備ヲ強ユルト云フコトガ、抑、非條理千萬デアルト私共ハ考ヘル、ドウカ此點ニ付キマシテ米國案ノ眞意ガ如何デアリカ、斯様ナコ

トヲ政府當局ニ向テ御尋テ致スノデアリ  
 マスカラ、腹藏ナク十分ノ御示ヲ戴キタイ  
 モノデアリマス、次ハ米國ノ提案ノ内容如  
 何、是ハ抑、今回ノ大統領ノ提案ノ内容ヲ  
 見マスレバ、是ハ一千九百二十一年十一月  
 十二日ニ、米國ノ國務長官「ヒューズ」氏  
 ガ、華盛頓會議ニ提出致シマシタ提案ト少  
 シモ變テ居ラス、即チ其當時「ヒューズ」  
 氏ノ提案ハ、斯様デアアル、第一ニ水上補助艦  
 即チ巡洋艦、驅逐艦ニ付テハ米國ハ四十五  
 万噸、英國モ四十五万噸、日本ハ二十七万  
 噸、而シテ水中ノ補助艦即チ潜水艦ハ米國九  
 万噸、英國九万噸、日本五万四千噸ト云フ提  
 案デア、タサウデアリマス、左様致シマスレバ  
 今回ノ英、米、五、五ニ對シテ日本三ト云フ提  
 案ト全ク同様デ、少シモ讓歩シテ居ラス案デア  
 アリマス、右「ヒューズ」氏ノ案ニ對シマシ  
 テハ、華盛頓會議ニ於テ日、佛、伊ガ猛烈ニ  
 反對致シマシテ、更ニ協定ガ成立タナカ、タ  
 モノデアアル、然ルニ又モ今回重ネテ其儘ニ  
 之ヲ提出致スト云フコトハ、實ニ驚クニ堪  
 ヘタル次第デアリマス、其意那邊ニアルカ、  
 吾々ハ窺知ル能ハザルノデアリマス、「ヒュー  
 ズ」氏ノ案ハ、度々華盛頓會議ノ始、タ  
 其翌月ノ十二月二十二日ニ、聯合委員會デ  
 一案ヲ試シタコトガアル、即チ潜水艇ニ付  
 テハ米國ハ六万噸、英國ハ六万噸、佛國ハ  
 四万二千噸、日本ハ三万二千噸、伊太利ハ  
 二万二千噸、斯様ナ立案ヲ試ミタコトガア  
 ルサウデアリマス、然ルニ日、佛、伊三國  
 ハ絕對ニ之ニハ同意シナカ、タノデアリマ  
 ス、日本ハ七万五千噸、佛蘭西ハ九万噸  
 ヲ固執シテ、遂ニ華盛頓會議ニ於テハ、補  
 助艦艇ノ協定ト云フモノハ、成立ヲ致サナ  
 カ、タノデアリマス、由來國防ナルモノハ隣  
 國ノ狀況ト、又ハ自國ノ國境ニ——地理ニ依  
 ルモノデアリマシテ、一律ヲ以テ他國ノ指

國ニ盲從スベキモノデナイコトハ、申ス  
 迄モナイコトデアリマス、此故ニ今回米國  
 ノ提案ノ英、米ノ五、五ニ對シテ日本ノ三  
 ト云フ、此補助艦比率ハ、洵ニ無理ナル協  
 定案デアルト私ハ思フ者デアリマス、眞ニ  
 世界列強ノ軍縮案ナラバ、先刻申上デマシ  
 タ如ク、先ヅ米國自身ガ其主力艦ヲ制限  
 シ、而シテ吾々ニ對シテ米國ガ制限ヲシタ補  
 助艦ノ比率ヲ以テ公平無私ナル提案デナケ  
 レバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ第  
 一次軍縮會議ノ提案ニ何等改善讓歩ヲシナ  
 イト云フコトハ實ニ奇怪デアアル、斯様ナ案  
 デアルト私共ハ思フノデアリマスガ、果シ  
 テ前回ノ案ニ幾分ノ讓歩ヲシ、又内容ヲ改  
 メタカ、斯様ナコトニ付テ政府當局ハ詳細  
 ノ説明ヲシテ戴キタイト思フ、果シテ吾々  
 ノ感ズル如クデアリマシタナラバ、洵ニ橫  
 暴ナル提案デアルト思フ、左様ナ提案ニハ  
 吾々國民ハ決シテ盲從ハ出來ヌ、政府ニ於  
 テハ如何ナル意見ヲ有シテ居ルカ伺ヒタイ  
 ノデアリマス、第三回ハ軍縮會議ノ性質如  
 何、歐洲大戰ノ以後ニ於キマシテ、吾々ハ  
 世界平和ノ主義ニ依リマシテ、國際聯盟ノ  
 規約ニ基キマシテ爾來聯盟國ト致シマシ  
 テ、各國共ニ熱心ニ此軍備縮小主義ヲ以  
 テ、常ニ研究協議ヲ進メツ、アル、而シテ  
 會議ハ公平ニ協同的ニ進ミツ、アルノデア  
 リマス、然ルニ彼ノ米國ガ國際聯盟ノ埒外  
 ニ居ル、米國ハ國際聯盟ノ一人デナイ、其  
 埒外ニ在ル米國ガ國際聯盟ノ軍縮委員會ニ  
 對シテ斯ノ如キ提案ヲ提出シタコトハ、寔  
 ニ不思議千萬デアルト私ハ感ズルモノデア  
 リマス、故ニ米國自身ガ先ヅ一般ノ軍縮ヲ  
 自己ニ行ウテ、而シテ後聯盟各國ニ向ッテ  
 米國ノ軍縮ハ斯ノ如クシタノデアアル、ドウ  
 カ之ニ準據シテ各國共ニ軍縮ヲシヤウヂヤ  
 ナイカ、斯様ナ御相談ナラバ吾々モ敬服ヲ

シ、最モ之ヲ諒トスルモノデアアル、然ルニ  
 今回ノ如キ、相變ラズ強制的提案デアッテ  
 見レバ、寔ニ聯盟國ノ會議ニ對シテマデ干  
 渉的デハナイカ、寔ニ穩當ナラザルモノデ  
 アルト信ズルモノデアリマス、デ、聯盟國  
 ハ非常ナ是ハ迷惑デアアル、斯様ニ感ズルノ  
 デアリマス、之ニ對シテ政府當局ノ詳細ノ  
 御説明ヲ戴キマス、次ハ海軍大臣ノ職掌デ  
 アリマセウガ、我ガ補助艦最小限度、私思  
 ヒマスルノニ、我國ハ四面環海ノ國境デア  
 リマス、而モ今日ノ米國ノ有様ヲ見レバ大  
 海軍國ニシテ、而シテ大軍國主義デアアル、  
 此事ハ米國ノ上院ニ於テ、毎々論議サル、  
 所ニ於テ、明ニ左様ニ吾々ハ感ズルノデア  
 リマス、我ガ補助艦ノ如キハ、今日ノ現有  
 勢力以下ニ制限ヲサレマシタナラバ、國防  
 ハ益、危殆ニ陥ルモノデアルト、甚ダ憂慮  
 ニ堪ヘナイノデアリマス、而モ御承知ノ如  
 ク、曩ノ華府會議ニ於キマシテハ、米國ハ  
 布哇ノ眞珠灣ノ設備ヲ致スコトヲ、協約ニ依  
 リテ許サレマシテ、英國ハ新嘉坡ニ大海軍  
 根據地ヲ築設スルコトヲ、此會議ニ於テ許  
 サレタ、然ルニ日本ハ、日本ノ領土ニ屬ス  
 ル千島諸島並ニ小笠原諸島及奄美大島、琉  
 球諸島、臺灣及澎湖諸島並ニ將來日本  
 ガ取得スベキ太平洋上ノ諸島ニ對シテハ、  
 一切防備ヲ爲スコトナラヌト云フ、是ハ華  
 府會議ノ第十九條ニ於テ明文ガアリマス、  
 寔ニ是ハ吾々不公平ナモノデアルト常ニ感  
 ジテ居ルノデアリマス、斯様ニ手モ足モ換  
 ガレテ居ル我國デアアル、此上更ニ補助艦艇  
 ノ現有勢力ニマデ制限ヲサレマシタナラバ、  
 實ニ我ガ國防ハ成立タヌト感ズル、此點ニ  
 付テ政府當局ノ詳細ナル御答辯ヲ煩シマス  
 (拍手)

御質問ガアッタノデアリマスガ、三善君モ  
 軍備ノ競争ヲ避クルコトハ、洵ニ望マシイ  
 コトデアルト御述ニナリマシタ、私モ亦之  
 ニハ御同感デアアルノデアリマス、軍備ノ競  
 争ヲ避ケルガ爲ニ、公正ニシテ且ツ實際行  
 ハレ得ル、適切ナル軍備制限ノ方法ガアリ  
 マスナラバ、會議ヲ開イテ其方法ノアリヤ  
 否ヤト云フコトヲ發見スルガ爲ニ、意見ヲ  
 交換ヲスルト云フコトハ、政府ハ固ヨリ不  
 同意ノナイ所デアリマス、其意味ニ於テ今  
 回ノ亞米利加ノ提議ヲ受取ッテ、只今考究  
 ヲシテ居ル所デアリマス、唯、事柄ハ極メテ  
 重大デアリマシテ、又之ニ意見ヲ決メマス  
 ニ付テハ、専門的ノ研究ヲ要スルコトデア  
 リマス故ニ、目下政府ハ其研究ヲ致シツ、  
 アルノデアリマス、其上デ帝國政府ノ考  
 ヲ決メル考デ只今居ルノデアリマス、大體  
 ハ左様デアリマス、而シテ三善君ガ問題ヲ  
 四ツニ分ケテ御尋ニナツタ事柄ニ付テハ、只  
 今申上ダテ居リマス通り、研究中デアリマ  
 ス故ニ、悉ク之ニ御満足ノ答辯ヲ與フル  
 コトハ出來ナイカモ知レマセヌケレドモ、  
 之ニ關シテハ外務大臣並ニ海軍大臣カラ答  
 辯ヲ申上ダタナラバ、三善君ノ御質問ノ中  
 ノ若干ノ所ニ説明ヲ與ヘルコトガ出來ルデ  
 アラウト存ジマスカラ、左様ニ致スコトニ  
 致シマス(拍手)

(國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇)  
 ○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 只今三善  
 君ノ御質問ニ對シマシテ、私ガ答へ得ルダ  
 ケノ範圍内ニ付テ御答ヲ申上ダヤウト存ジ  
 マス、第一ニ米國提案ノ眞意如何ト云フコ  
 トヲ御問ニナリマシテ、先ヅ米國ガ華盛頓  
 條約ニ於テ主力艦ニ付テ決定シテアル比率、  
 之ヲ半減カ、若シキ削減ヲ自行ハナケレ  
 バ、米國ノ誠意ト云フモノハ分ラヌデハナ  
 イカ、其定メタ比率ヲ自分デ削減スルコト



ナシニ、今回ノ提案ヲ爲シタ眞意ハ何處ニアルカト云フコトデアリマス、今回ノ米國ノ提案ノ眞意ハ私ガ諒解ヲ致シマス所デハ、造艦ノ競争、軍備ノ競争ヲ避ケタイト云フコトデアリマス、主力艦ニ付キマシテハ「華盛頓」條約ニ於テ、既に比率噸數ト云フモノガ定メテ居リマスルカラ、之ニ付キマシテハ最早競争ト云フコトハ起リ得ナイノデアリマス、補助艦艇ニ付テハ「華盛頓」會議ニ於テ總噸數ノ制限、斯様ナコトヲ規定致スコトガ出来ナカッタノデアリマスカラ、或ハ此補助艦艇ニ付テ、他日造艦ノ競争ト云フコトガ起リハシナイカト云フ虞ヲ懷イタ、此虞ヲ除去セシムル爲メ今回ノ提案ガアツタモノデアリマス、隨テ主力艦ニ付テ米國ガ今日ノ比率ヲ讓歩スルニ非ザレバ、今回ノ提案ハ甚ダ不眞面目デアルト言フテ、應ズルコトガ出来ヌト云フヤウナ理屈ガアラウトハ私ハ考ヘマセヌ、ソレカラ今回ノ米國ノ提案ハ、海軍ノ問題ダケニ言及致シテ居テ、陸軍、空軍ニ付テハ何等ノ提議ガナイ、是ハ甚ダ不公平デアアル、空軍、陸軍、海軍モ同ジク議シナケレバナラヌト云フ御議論ノヤウデアリマシタ、是ハ確ニ御議論トシテハ一ノ御議論デアラウト思フ、併ナガラ海軍ノ問題ハ絕對ノ二分ツコトガ出来ナイカト云ヘバ、私ハ必シモサウハ考ヘナイ、陸軍、空軍ト云フモノハ御承知ノ如ク、性質ニ於テハ移動シ得ル範圍ガ比較的ニ少ナイモノデアリマス、海軍ハ性質ニ於テ移動シ得ル範圍ガ比較的廣イモノデアリマス、例ヘバ歐羅巴ノ或ル一國ニ於テ、非常ナ大ナル陸軍ヲ持シタト假定致シマス、此陸軍ハ數千哩ノ海外ニ中々容易ニ移動シ得ルモノデハナイノデアリマスカラ、歐羅巴ノ一國ガ大ナル陸軍ヲ持シタカラト云フテモ、其他ノ大陸ニ於テ之ニ對抗シテ陸軍ヲ

増大シナケレバナラヌト云フヤウナ結果ハ、必然ニハ起ラテ来ナイノデアリマス、之ニ反シテ海軍ト云フモノハ一軍艦ト云フモノハ到處容易ニ移動シ得ル性質ノモノデアリマスガ故ニ、一國ガ大ナル海軍ヲ持ツト云フコトニ相成レバ、世界ノ反對ノ側ニ居ル遠イ所ニアリマス國ニ於テモ、之ニ對シテ若干ノ影響ト云フモノハ持チ得ルノデアリマス、海軍ト云フモノト、陸軍、空軍ト云フモノトハ、移動性ニ付テ自ラ異ル所ガアルガ爲メ、兩方必シモ一緒デナケレバナラヌト云フ理窟モアルマイト思フ、一緒ニ議シタ方ガ宜カラウト云フノハ、是ハ一ノ御議論デアラウト思ヒマスガ、必シモ分ツコトヲ得ナイト云フ理窟モアルマイト思フノデアリマス、ソレカラ米國提案ノ内容如何ト云フコトニ付テ御話ガアリマシテ、今回米國ノ提案ナルモノハ「華盛頓」會議決定致シタ比率問題ヲ、其儘補助艦艇ニ付テ適用セントスルモノデアアル、斯ウ云フ風ナ御話ガアリマシタ、是ハ若干誤解ガオアリニナルヤウデアリマス、今回ノ米國提案ハ新聞ニ既ニ公表サレテ居リマスガ、之ヲ御讀ミニナレバ明ニナリマスガ、今回ハ比率問題ニ付テ米國ハ一ノ確定セル不變ノ提案ヲ致ス精神ハナイ、斯様ニ言テ居ルノデアリマス、一定ノ五、五、三ナラバ五、五、三デ、一ノ確定セル不變ノ提案ヲスル趣意デハナイ、米國ノ關スル限リハ、日、英、米ノ三國ノ間ニ於テハ五、五、三ノ比率ヲ承諾スルノ自分デハ用意ヲ致シテ居ル、斯様ニ書イテ居ルノデアリマス、佛蘭西、伊太利ノ主力艦ニ付テハ、英米ノ五ニ對スル一割七五ト云フモノデアラタノデアリマスガ、今回ハ米國提案ノ中ニ主張致シテ居ル佛、伊兩國ニ付テハ特殊ノ事情、必要ト云フモノガアルコトモ考慮ニ加

ヘテ、別ニ此比率ヲ協定シタイ、斯ウ云フ風ニ言テ居ルノデアリマス、即チ華盛頓條約ニ於テ規定サレタル比率ヲ、補助艦艇ニ付テ其儘五國ノ間ニ割當テ、協定シヤウト云フコトヲ主張致シテ居ル次第デアリマセヌ、ソレカラ軍備會議ノ性質如何、之ガ聯盟ニ對スル何カ干涉ニナリハシナイカト云フ御話デアリマシタ、今回ノ米國ノ提案ハ今日軍備縮小準備委員會ト云フモノガアリマシテ、是ハ昨年ノ五月以來事業ニ著手致シテ居ルノデアリマス、今日ハマダ小委員會ノ報告ヲ聽テ居ラナイノデアリマス、來月即チ三月二十一日ニ此委員會ヲ總會ヲ開クコトニ相成テ居ル、此委員會ヲ開キマスル一此委員會ニハ固ヨリ亞米利加モ加入致シテ居ルノデアリマシテ、此三月二十一日ノ軍備縮小準備委員會ノ開會ヲ機ト致シテ、其時機ニ於テ會議ニ參集致シテ居ル五箇國ノ委員ガ其會議ト分レテ、或ハ會議ノ直後ニ、別ニ海軍ノ問題ニ付テ協議ヲ致シテハドウカト云フ提議デアリマス、固ヨリ此聯盟ノ主權ノ下ニ開イテ居リマスル所ノ軍備縮小準備委員會、及ビ追テ開カントスル軍備縮小會議、此二ツノモノニ對シテハ亞米利加ハ決シテ協力ヲ否ムト云フ譯デハナイ、此事業ノ成功ハ如何ニモ亞米利加ノ希望スル所デアラテ、此爲ニ引續イテ協力ヲスル積リデアルト云フコトヲ此提案ノ中ニ掲ゲテ居リマス、隨テ此米國ノ提案ガ國際聯盟ノ行動ニ對スル、別ニ干渉ト云フヤウニナルモノトハ私ハ諒解致シテ居リセマス

臣カラ既ニ政府ノ今日ノ立場ニ於キマシテ、申上ゲ得ル範圍ノコトハ、可ナリ精シク申上ゲタヤウニ考ヘマス、故ニ此上ニ私カラ申上ゲルコトモゴイマセヌガ、唯、今日ノ我海軍ノ此補助艦艇ノ兵力ナルモノハ、如何ナル程度ノモノデアルカ、之ヲ縮減シ得ルモノデアルカ、得テレナイモノデアルカト云フ意味ノ事ガアツタト考ヘマス、是ハ豫メテ此昭和二年度ノ豫算ニ計上致シテアリマスル所ノ、艦艇製造費ノ追加豫算ノ提出ノ趣意ヲ申上ゲマシタ時分ニモ、再三申上ゲタト考ヘテ居リマスルガ、我國ノ目下保有シテ居リマスル所ノ、所謂現有勢力ハ、是ハ國防上ノ見地カラ最小限度ノモノデアル事ハ、是ハ今更線返ヌマデモナイ次第デアリマス、サウシテ昭和二年度ノ豫算ニ更ニ要求致シテ居リマスル所ノモノハ、此最小限度ノ兵力ヲ維持スル爲メ必要ナモノデアリマスルカラ、之ヲ今日如何ニシ得ルト云フ餘裕ノアルモノデハナイト云フコトハ、御分リ下サルデアラウト考ヘマス、然ラバ斯ク申セバ、我海軍ハ今回ノ米國ノ提案ニ付テハ、既ニ之ニ應ズルノ餘地ガナイデナイカト云フ御議論ガ起リハセヌカト思ヒマスガ、ソレハ一應左様デモアリマスルケレドモ、果シテ米國邊リノ考ガ五、五、三ト云フコトニナツテモ、米國ノ關スル限リニ於テハ、是ハ異存ハナイト云フコトハ分ツテ居リマスガ、其五ト云フモノハ何ヲ示シテ言フテ居ルノデアルカ、物指ニ當テ基礎ガ何處ニアルカト云フ事モ分ラヌノデアリマス、故ニ若シ其五ナルモノヲ非常ニ大キナ數ノ百万噸ナリ一百万噸ト云フト少シキ過ギルカモ知レマセヌガ、七十万噸ト云フテ、甚ニ數字ヲ以テ来マシテ、サウシテ之ヲ基トシテ、五、五、三デハドウカト云フコトガ起リマスレバ、

ソレハ日本ノ意見ノ立テヤウノナイコトハナカラウト考ヘマス、併シソコラ邊ノコトハ分ラヌノデアリマス、故ニ絶對ニ日本ハ今回ノ此提議ニ應ズルノ餘地ガアリヤ否ヤハ、ソレハ實際彼我ノ代表者ガ出會シテ見マセヌケレバ、今日ノ所ハ分ラヌグラウト考ヘマス、ソレカラ尙ホ此機會ニ於テ然ラバドシナ事ヲ考ヘテ居ルカ、海軍當局者ハドシナ事ヲ此提議ニ付テ考ヘテ居ルカト云フ、御疑問ガアルダラウト考ヘマスガ、補助艦ノ制限比率ノ協定ト云フガ如キハ、頗ル困難デアルト考ヘテ居リマス、困難デアアルガ、困難デアアルカヲ協議ニ應ゼヌカト云ヘバ、喜ンデ應ズルノ覺悟ハ持テ居リマスルケレドモ、頗ル困難ト考ヘマス、短ク詰メテ申シマスレバ、之ヲ五、五、四、四、四、四トカ、五、五、三、三、三、三ト云フヤウナ場合ニ、サウ簡單ニイカヌト思ヒマス、其理由ヲ簡單ニ申上ダテ見レバ、主力艦ハ海軍ノ兵力ノ主幹トナルモノデ、最も重要ナモノデハアリマスルケレドモ、其任務タルヤ簡單デアリマス、是ハ海上ノ戰鬪ニ於キマシテ格闘ニ任ズルノガ主デアリマス、然ルニ巡洋艦其他ノ補助艦ニナリマスルト云フト、單ニ洋上ノ彼我ノ格闘ニ參加スルダケガ目的デアリマセヌノデアリマス、戰時ニ於キマシテハ商船ノ保護、敵ノ交通路ノ破壞、我が交通路ノ保護ト云フヤウナ事モゴザイマス、又平時ニ於キマシテハ外國在留民ノ保護、警備ト云フガ如キ任務モゴザイマス、其他海軍ノ教育、訓練上ノ任務モアルノデゴザイマス、サウシテ其戰時ノ交通路ノ保護トカ、商船ノ保護ト云フガ如キ、又平時ノ警備任務ノ如キハ、各其國ノ事情ヲ異ニスルノデアリマス、地理上ノ位置ノ關係、或ハ貿易關係其他色マナ事ガゴザイマスカラ、唯、主力艦ノ如キ戰鬪ノミノ目的カ

ラ、之ヲ決メル譯ニハイカヌト思フノデアリマス、是等ノ關係ハ昨年來國際聯盟ノ軍備制限——軍備縮小準備委員會ニ於テ既ニ根本的ノ研究ガ進メラレテ居リマス、而シテ其結論ハ得ラレテ居ナイヤウデアリマスケレドモ、其研究セラレテ居ル所ノモノハ、頗ル傾聴ニ價スルモノモアルヤウニ考ヘマス、是等ノ事ハ今回ノ會議ニハ必ズ參考トシテ大ニ考ヘナクテハナラヌ事デアラウト考ヘマス、米國政府ガ國際聯盟ノ軍備準備委員會ヲ開カレル、其會合ト駢行シテ今回ノ補助艦ノ縮減ノ會議ヲ開カントスルノ提案ハ、或ハ其邊ノ考モアルモノデハナカラウト考ヘマス、以上申上ダマシタヤウナ次第ゴザイマスカラ、今日彼我ノ比率トカ何トカ云フヤウナ點ニ付テハ、具體的ノモノハ勿論、又具體的ニ近イモノモ申上ダレルコトハ出來ヌ位地ニアル次第ゴザイマスカラ、其邊ハドウソ御諒承下サルコトヲ御願致シマス(拍手)

○三善清之君 只今各大臣ノ詳細ナル御意見ニ付キマシテハ、尙ホ私トシテハ……

○副議長(小泉又次郎君) 三善君——三善君

○三善清之君(續) 尙ホ申上ダレルコトモアリマスルガ……

○副議長(小泉又次郎君) 三善君——三善君——登壇ヲ願ヒマス——登壇ヲ願ヒマス

(三善清之君登壇)

○三善清之君 只今各大臣ノ詳細ナル御意見ヲ拜聴致シマシテ、之ニ對シマシテ私ノ意見モアリマス、更ニ御等申上ダタイ事モアリマスルケレドモ、本件ハ國際上ノ重大問題デアリマスカラ、私ノ質疑ハ是デ打切リマスガ、ドウカ政府ハ十分ノ御研究ヲ以テ、國防ノ爲ニ不安ノナイ事ニ御盡力ヲ願

ヒタイモノデアリマス、此一言ヲ以テ質問ヲ打切りマス

○副議長(小泉又次郎君) 三善君ノ緊急質問ニ對シ、國務大臣ノ答辯ニ關聯致シテ田明君、田淵豐吉君ノ兩君カラ質問ノ通告ガアリマス、是ハ先例ニ依ッテ許可スルコトニ致シマス、順次其發言ヲ許シマス、田明君

(田明君登壇)

○田明君 只今若槻首相ハ三善君ノ質問ニ對スル御答辯中ニ、若シ公正且ツ實際行ハレル軍備制限ノ方法ガアルナラバ、之ニ同意スルト云フ御言葉ガアッタノデアリマス、其前段ニ於キマシテハ大ニ賛成ヲ表セラレテ居ル、所ガ只今ノ御話ニ行キマシテ、首相ノ御意思ガ覺テ、私ノ心ニ映ジタノデアリマス、私ハ首相ヨリ此公正且ツ實際行ハレル軍備制限ノ標準ト云フモノハ何デアルカヲ、ハッキリ伺ヒタイノデアリマス、第二ハ幣原外相ヨリ米國ノ提案ハ五、五、三、三、三、三、其標準トスル所ハ分ラヌ、私ノ聽達ヒカ分ラヌガ、サウ云フ風ニ私ニハ聽エタノデアリマス、是ハ常識カラ考ヘマスト云フト、第一ニ華盛頓會議ノ制限ノ如クニ、噸數ノ比率ノヤウニ思ハレルノデアリマス、若シ噸數デ五、五、三ノ比率ヲ提言シタナラバ、日本ハ之ニ應ジテ宜シイノデアルカ、如何デアリマス、ソレカラ第三ニ伺ヒタイコトハ、一昨日財部海相ハ飽迄現在ノ海軍勢力ヲ維持シナケレバナラヌト云フコトヲ、新聞記者ニ向ッテ聲明セラレタサウデアアル、ソレハ其通りデアリマスカ、如何デアリマスカ、ソレカラ只今財部海相ハ現在ノ日本ノ海軍ハ最小限度デアルト云フヤウニ御話ニナッタノデアリマス、所ガ私ノ漏聞イテ居ル所ニ依リマス、十三日海相官邸ニ於キマシテ、海軍ノ首腦者ノ會

議ガアッタ、其會議ニ於テ此用兵運用上ニ支障ノナイ最低限ノ標準ハ、後日ノ考慮ニ讓ルト云フコトニ申合セタ、斯ウ私承ッテ居ルノデアリマス、サウ致シマス其私ノ漏聞イタコトガ事實ト致シマスレバ、只今財部海相ガ日本ノ現在ノ海軍ハ最小限度デアルト云フコトハ、海軍首腦部ノ會議ニ於テ之ヲ否定シテ居ルコトニナリマス、以上ノ四ツノ點ニ付キマシテ、當局ノ御説明ヲ御願ヒ致シマス

(國務大臣若槻禮次郎君登壇)

○國務大臣(若槻禮次郎君) 三善君ニ先程答ヘマシタノハ斯ウ申シタノデアリマス、公正ニシテ且ツ實際的ナル軍備制限ノ方法ガアルナラバ、之ヲ發見スルガ爲ニ、會議ヲ開イテ意見ノ交換ヲスルト云フコトハ、私ハ固ヨリ不同意ノアルベキコトデナイ、而シテ之ニ付テハ重要ナルコトデアル故ニ、政府デハ目下ノ研究中デアリマス、專門的其他の事ニ付テ考究中デアアル、斯ウ申上ダタノデアリマス、適當ナル方法アリヤ否ヤ、意見ヲ交換シテ、其處デ公正ニシテ且ツ實際的ナル軍備制限ノ方法ガアリトシテ、此處ニ到達スレバ海ニ結構デアリマスル故ニ、ソレガ爲ニ會議ヲ開クト云フコトハ、固ヨリ不同意ヲ申スベキコトデナイ、併シ其方法ハ何デアアルカト云フコトハ、是ハ考究中デアアル、而已ナラズ尙ホ意見ヲ交換シマセヌケレバ、此處デ是ガ即チ公正的ニシテ、且ツ實際的デアルト云フコトヲ申スコトハ出來ヌノデアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 田淵君ニ發言ヲ許ス前ニ一寸御注意致シマス

○中野實吉君 議長、私ハ議員ノ體面ニ關スルコトデ申上ダマス、田淵豐吉氏ハ編ノ羽織ヲ以テ議場ニ……

○副議長(小泉又次郎君) 只今注意スル所デアリマスカラ、暫時御控へ下サイ

○中野寅吉君 ソレナラ宜シイ

○副議長(小泉又次郎君) 發言ニ先立テ御注意致シマス、貴方ハ自ラ省ミラレテ、服装ヲ御取替へ下サルナラバ注意ハ致シマセヌ

○田淵豊吉君 ソレデハ後デ替へマセウ(「後デハイカヌ」ト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 重ネテ御注意致シマス、貴方ガ發言ノ順序デアリマスカラ、議長ガ麾イテ直ニ之ニ應ジナイト致シマスレバ、先例ニ依ッテ發言ヲ取消シタモノト認メマス

○田淵豊吉君 ソレデハドウシマセウ、分ラヌデス、私ハ取消サナイノデスガ、議長議長長……

○副議長(小泉又次郎君) 田淵君、田淵君、田淵君、——田淵君、先例ガアリマスカラ御退席ヲ願ヒマス、——苟且ニモ羽織ナクシテ議場ニ居ルコトハ許シマセヌ、御退席ヲ願ヒマス(田淵豊吉君「議長々々ドウ云フ譯デス」ト呼ヒ「退場々々」ト呼フ者アリ)

○砂田重政君 殘餘ノ日程ニ對シ延期ノ動議ヲ提出致シマス

(「賛成々々」ノ聲起ル)

○副議長(小泉又次郎君) 砂田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」「異議ナシ」ノ聲起リ「議長答辯ガアリマセヌ」ト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ延期ニ決シマシタ、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時三十分散會

衆議院議事速記録第十二號中正誤

頁	段	行	誤	正
一九八	二	四〇	從來	僅カ
同	同	四一	「日子ヲ以テ」ノ下	「此事業ヲ完成スルコトガ出來ルカ、從來」ヲ加フ
同	三	六	デアッテ	トアッテ
同	同	七	當ッテ	互ッテ
同	同	七八	修正	補修
一九九	二	一八	定マラナイ	定マラナイ
同	同	二三	敢テ	敢テ爲
同	同	二六	行カヌ	行カヌ即チ
同	同	二八	居ラナイ	居ラナイノ
二〇〇	三	四一	云フコト	合ハナイ
				云フコト

